



# Resiliency & Responsibility

## 2024 ESGレポート

12-month period ending November 2, 2024  
Publication date: June 2025

## カバー画像クレジット

本レポートに掲載されている写真は、世界中のアナログ・デバイスの従業員から寄せられたものです。カバー画像は、ワシントン州キャマス事業所に勤務するメンテナンス技術者、Scott B. から提供されました。Scottは2008年のアナログ・デバイス入社以来、メンテナンス技術者として30年以上半導体業界に勤務しています。彼はアウトドア愛好家で、自然の中での岩石収集を趣味にしています。この写真は、このような岩石収集旅行の一環でオレゴン州東部を訪れた際に夏の嵐に見舞われたときのもので、嵐が過ぎた後の雲間に沈む夕日を捉えた1枚です。

## このレポートについて

このレポートは年次で発行され、主にその会計年度における活動内容に焦点を当てています。「暦年」(CY)と明記されている場合を除き、このレポートに示されている年はすべてアナログ・デバイスの会計年度を指します。このレポートは、アナログ・デバイスの事業全体における環境、社会、ガバナンス(ESG)に関連する影響と活動を対象としています。

アナログ・デバイスは、温室効果ガス(GHG)排出量などの重要業績評価指標を含むESGレポートの報告期間を、暦年から会計年度へと移行しています。この戦略的な転換は、当社の情報開示を会計報告サイクルとより適切に整合させることを目的としており、今後施行される規制当局による要求への対応を可能にすると共に、ステークホルダーに対して情報開示の適時性、妥当性、包括性を確保するものです。

12ヵ月という報告期間を考慮すると、傾向が劇的に変化することは考えにくいため、過去のデータの再集計は行いません。当社は、報告期間を揃えることで、当社のESGおよび財務実績についてより包括的な視点を提供し、それによって透明性とサステナビリティへの取り組みを強化することを目指しています。アナログ・デバイスは、この大きな変化を進めるにあたり、ステークホルダーの皆様からの継続的なご支援に感謝しています。



## 将来予想に関する記述

このレポートには、1933年の証券法およびその改訂、ならびに1934年の証券取引所法およびその改訂に基づいて作成されたセーフ・ハーバーの対象となる将来予想に関する記述が含まれています。歴史的事実を除くすべての記述は、将来予想に関する記述と見なし得る記述です。これらの記述は、当社が事業を行っている業界に関する現在の期待、推定、予想、予測、および、当社の経営上の信念および仮定に基づいています。「期待する」、「予期する」、「狙う」、「目標とする」、「予測する」、「意図する」、「計画する」、「信じる」、「機運」、「求める」、「見積もる」、「継続する」、「可能性」、「努力する」、「努める」、「場合がある」、「かも知れない」、「予定する」などの言葉、およびこれらの言葉の変形および類似表現は、そのような将来予想に関する記述であることを示すものです。更に、以下の項目に言及した記述、すなわち、ネット・ゼロ、カーボン・ニュートラル、再生可能エネルギーの使用、温室効果ガスの排出量、取水量、廃棄物の削減、多様性など、環境サステナビリティおよび多様性、公平性、受容性に関する当社の目標と取り組み；当社の戦略；業界、市場、事業における当社の成長見通しや動向；ソフトウェア技術または人工知能技術を組み込んだ、あるいはそれらを基盤とする製品ソリューション、提供物、技術、能力、およびアプリケーション；研究開発への今後の投資；当社のハイブリッド製造戦略；事業、経済、政治、法令、規制などの影響や対立が当社の世界的事業展開にもたらす結果；当社の主要人材の採用と確保；当社の将来的な市場での地位、市場において予想される競争の変化、当社製品に対する需要と供給；当社の顧客に対する製品提供と技術の重要性；将来の出来事や状況に関する

その他の特性評価についての記述は、すべて将来予想に関する記述です。これらの将来予想に関する記述は単なる予測にすぎず、予測困難なリスク、不確実性、および仮定の影響を受けるため、実際の結果は将来予想に関する記述で説明されている内容と大きく異なる可能性があることにご注意ください。特に、以下に示すような重要な要因や不確実性の影響により、実際の結果がこれらの将来予想に関する記述と大きく異なる可能性があります。これらの要因や不確実性とは、関税、輸出規制、その他の貿易制限や米国大統領府、米国政府の行政機関、米国議会、米国内または国際的な金融政策、政治／地政学／貿易／その他の問題によって講じられた措置または講じられ得る措置、ならびにロシアとウクライナ間およびイスラエルと中東諸国間で現在進行中の紛争などに関連して増大する不確実性と変動性を含む、経済、政治、法令、および規制に関わる不確実性や対立；半導体製品に対する需要の変化；製造の遅延、製品および原材料の入手性、およびサプライチェーンの混乱；当社製品の正規流通経路からの逸脱；輸出区分、輸出入規制、または関税の変更；当社の技術開発および研究開発投資；当社の将来の流動性、資本ニーズ、および資本支出；当社が事業を展開する市場における競争力；重要な人材を採用して確保する能力；買収またはその他の戦略的取引に関連するリスク；セキュリティ侵害またはその他のサイバー・インシデント；当社の事業活動、製品、およびサービスに人工知能を使用することに関連するリスク；訴訟問題における不利な結果；企業イメージの悪化；現行税法に基づく当社予想税率に関する見積りの変化；当社債務に関係するリスク；配当の発表に関する当社取締役会の判断と当社の将来的な配当支払い能力；当社の株式買い戻

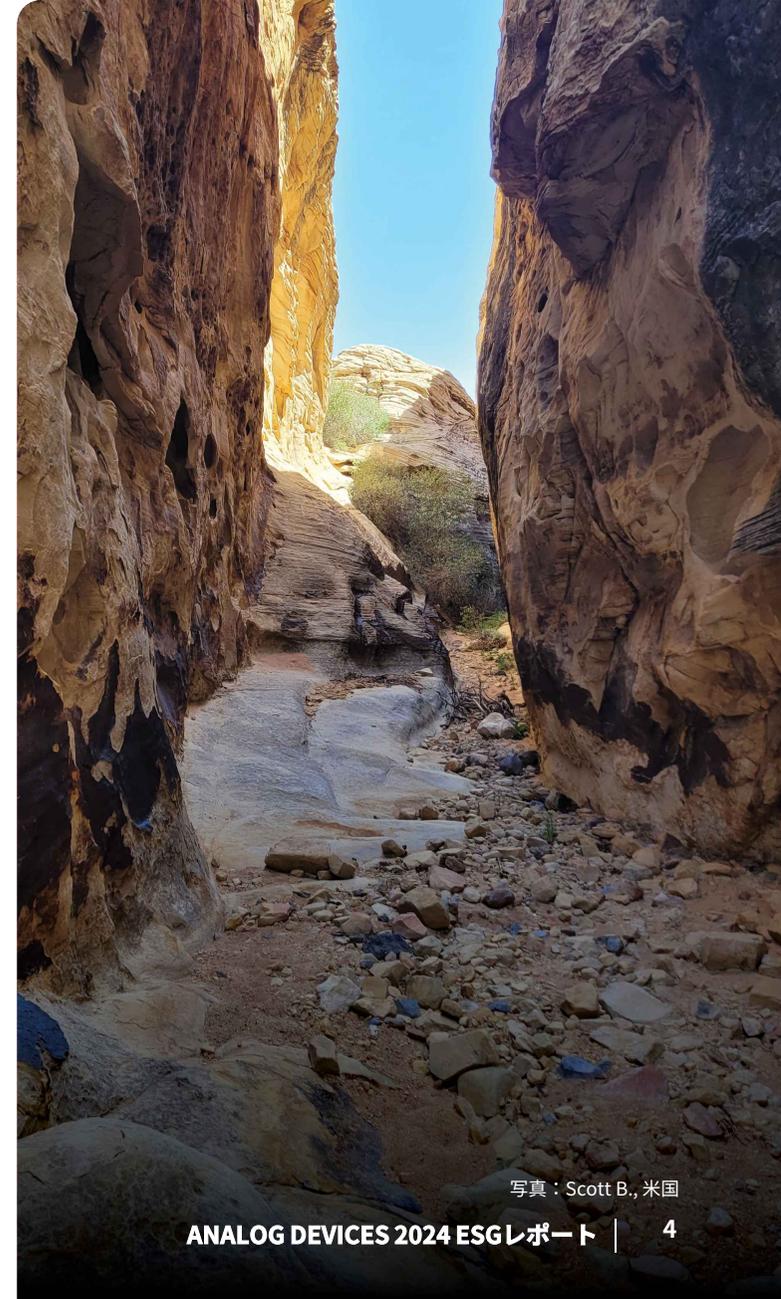
し能力に影響する要因；当社普通株式の長期的価値に関する不確実性です。実際の結果を、将来予想に関する記述の内容と大きく異なるものにし得る要素の詳細については、最新の年次報告書（Form 10-K）に記載されたリスク要素を含め、アナログ・デバイスが米証券取引委員会に提出した書類を参照してください。将来予想に関する記述は現時点における経営者の予想を示すものであり、本質的に不確実なものです。アナログ・デバイスは、法律により求められる場合を除き、今後の事象や状況を反映するためにこれらの将来予想に関する記述を更新または訂正する義務を負いません。



写真：Shannon H., 米国

# 目次

<b>CEO兼取締役会会長からのメッセージ</b>	<b>5</b>	<b>人々とコミュニティ</b>	<b>46</b>
		アナログ・デバイセズの目標、文化、優先度	47
		人材	52
		アナログ・デバイセズ基金	58
<b>アナログ・デバイセズについて</b>	<b>7</b>	<b>ガバナンス</b>	<b>65</b>
企業紹介	8	リスク・マネージメント	66
アナログ・デバイセズのソリューション	10	人権	69
ガバナンスと監督へのアプローチ	16	企業倫理	71
		倫理的サプライ・チェーン	73
<b>ADI Horizon</b>	<b>19</b>	安全衛生	76
ESG責任者からのメッセージ	20	取引に関わるコンプライアンスと納税	78
ESGへのアプローチ	21	プライバシーと情報のセキュリティ	80
ステークホルダーへの対応	25	製品保護	82
ESGの優先事項と目標	27	公共政策	83
2024年のESGの成果	30		
		<b>付録</b>	<b>I</b>
<b>環境サステナビリティ</b>	<b>34</b>	TCFD	II
業務の最適化	35	SASB	III
環境目標の2024年における進捗状況	36	GRIインデックス	V
気候とエネルギー	37	GAAP指標と非GAAP指標との対比	XXII
水	40		
廃棄物	43		
生物の多様性	45		



写真：Scott B., 米国

このレポートはあらゆる読者層を考慮に入れて作成されており、支援技術にも対応しています。

# CEO兼取締役会会長からのメッセージ

2025年、当社は創立60周年を迎えます。このような節目を迎えることのできる公開企業は全体の1%にも満たないと言われています。当社がこれほど長い歴史を築くことができたのは、多くの要因によるものですが、なかでも特筆すべきは、変化する環境の中にあっても、自らの在り方、取り組むべきこと、そしてその実行方法に常に忠実であろうとしてきた姿勢です。本年のResiliency & Responsibility (レジリエンスと責任) ESGレポートでは、従業員、顧客、投資家、パートナー、政府、およびコミュニティといったすべてのステークホルダーに最大限の価値をもたらす事業において、当社がどのように集中と適応性のバランスを保っているかが示されています。

当社の根底にあるのは、人類と世界をより良くする技術の力を信じる姿勢であり、その可能性を信じて行動する楽観主義です。私たちの社会と私たちが暮らす生物圏は、人口動態や社会の変化、地政学的な緊張、人類の存在を脅かす気候変動など様々な課題に直面しています。一見すると克服が困難なこれらの課題に対して、当社は積極的に取り組む道を選びました。そして、自律化、予防的ヘルスケア、エネルギー移行

とサステナビリティ、没入型デジタル環境、AI駆動型コンピューティングとコネクティビティという5つの重要な分野に変革をもたらすソリューションを提供しています。当社のチームは、人類の生活環境と地球のサステナビリティを改善させる技術的ブレークスルーを見出して提供すべく、比類のない情熱と好奇心、そして集中力を持って日々の業務に取り組んでいます。

アナログ・デバイセズは、高性能のセンシング・システム、オーディオ・システム、コネクティビティ・システム、およびバッテリー管理システムを通じて、今日の効率的かつ自律的で安全な車両や、より快適な車内環境の実現を可能にしています。当社が提供する医療グレードのバイタル・サイン・モニタリング、光子ビット・イメージング、遺伝子マッピング、糖尿病治療などのソリューションは、対症療法的なヘルスケアから予防的かつ先制的なヘルスケアへの転換に貢献しています。また、アナログ・デバイセズのセンシング、エッジ・コンピューティング、コネクティビティ、およびエネルギー・マネジメント用ソリューションの統合は、デジタル・ファクトリの現場において、固定式のアーム・ロボットや移動式ロボット、更にはヒューマノイドなどの様々なロボットと人間が協力し、安全に作業することを可能にしています。当社のエネルギー・ソリューションは、老朽化が進み、ますます脆弱化する電力網を再生可能エネルギーの導入と統合、スマート・グリッド・インフラストラクチャやEV充電ステーションを含む効率的なエネルギーの蓄電と分配によって再活性化しています。こうした課題がアナログ・デバイセズにインスピレーションを与え、情熱をかき立てています。

今日では、アナログ・デバイセズのソリューションの多くが人工知能(AI)を利用するようになっており、それが新たなイノベーションと変革の時代を切り開いています。このAI時代は、これまでのすべての技術革新の時代を凌駕し、市場、経済、そして社会の形態を劇的に変える可能性を秘めています。実際、ほぼすべての産業が、製品やサービスにAIを組み込む方法、そしてAIを利用してそれらの開発および提供方法を改善する手段を模索しています。

しかし、AIの急速な発展と驚くべき性能には、莫大なエネルギー・コストが伴っています。アナログ・デバイセズは、この課題に対処するために自動車や工場、ヘルスケア・デバイスなど、ネットワークのインテリジェント・エッジにおいてAI機能やアルゴリズムを展開し、アーキテクチャ上の効率性を活用しています。これにより、低消費電力と低コストで、レイテンシの短縮、帯域幅効率の向上、セキュリティの強化といったAIの利点を実現しています。

しかし、アナログ・デバイセズがこれらのイノベーションをどのように提供するかは、何を提供するかと同じくらい重要です。当社の顧客は、最先端の製品やソリューションを信頼できる方法で提供することを期待すると共に、責任ある持続可能な方法での提供も求めています。

アナログ・デバイセズは、ハイブリッド製造戦略の実現に数十億ドルを投資し、地政学的かつマクロ経済的な混乱や自然災害の発生に対応可能な選択肢とレジリエンスを備えた、顧客へのサプライ・ネットワークを構築してきました。

“アナログ・デバイセズは、人類の生活環境と地球のサステナビリティを向上させる技術的ブレークスルーを発見し提供すべく、情熱と好奇心、そして集中力とを持って日々の業務に取り組んでいます。”

Vincent Roche  
CEO兼会長

アナログ・デバイセズは、顧客ニーズに応えるために行ったこれらの重要な投資においても、リソースの効率を向上させ、環境への影響を最小限に抑えることに配慮してきました。当社は製造施設における再生可能エネルギー源の使用を引き続き拡大しており、現在の目標は、2025年末までに世界の製造施設での再生可能エネルギー使用率を100%にし、2026年までに工場からのスコープ1温室効果ガス（GHG）の排出量を5%削減すること（2022年比）です。これらの投資は当社の責任ある事業への取り組みを強調するものであり、顧客やコミュニティからの当社の信頼をより一層高めるものです。

自社の製品と事業を通じて地球を守るというアナログ・デバイセズの目標は、人類に対する同様の取り組みとも結びついています。アナログ・デバイセズにとって、どのようにイノベーションを提供するかは、何を提供するかと同じくらい重要なことです。世界のどこであっても、当社の価値感に従って倫理的に事業を展開するという事は、これまで常に当社の中核となる基本理念であり、この先も変わることはありません。当社は人権の尊重に真摯に取り組んでおり、製品の市場投入を支える個人やコミュニティが、エンドtoエンドのサプライ・チェーン全体で尊重されるよう、引き続き取り組んでいます。

また、当社製品が、本来の設計や許可された用途以外の最終顧客やアプリケーションに不正に流用されないよう努めています。そのために、世界各地で厳格な監視プログラムを実施し、自社の価値感と現実との整合性を確保しています。

アナログ・デバイセズ社内では、安全や報酬といった基本的な要件を大きく上回る、より良い職場環境づくりを進めています。従業員が創造性、才能、個性、情熱といった自分らしさのすべてを業務に発揮できる時、当社のビジネスは最大の成果を上げることができます。当社は、私たちを取り巻く世界と同様の多様性と刺激を備えた環境を形成し、人類と地球が今日直面している最も重要な課題に従業員が真摯に取り組みながら学び、成長し、それらの課題に対する独創的なソリューションを発見、開発、提供できるような学習文化の構築に取り組んでいます。

将来を見据えると、私たちの未来には希望がありますが、この希望は保証されているわけではありません。しかし、アナログ・デバイセズは、従業員、顧客、パートナー、投資家、そしてコミュニティからなる活力に満ちたエコシステムとの積極的な関わりを通じて、成功の可能性を高めています。この協力関係が、アナログ・デバイセズが毎年成し遂げている驚くべき技術革新と財務成果への道を切り開いています。このように、私たちは、当社の使命に共に取り組み、現在、そして今後何十年にもわたって当社の成功にそれぞれの役割を果たして下さるすべてのステークホルダーの皆さまに深く感謝しています。



Vincent Roche  
CEO兼会長



# アナログ・ デバイスについて

アナログ・デバイスは、人生と世界を豊かにする人間的なブレークスルーを加速するためのテクノロジーを生み出します。

- 8 企業紹介
- 10 アナログ・デバイスのソリューション
- 16 ガバナンスと監督へのアプローチ

# 企業紹介

アナログ・デバイセズは、アナログ技術、デジタル技術、ソフトウェア技術を活用することで、様々な分野に変革をもたらすソリューションを提供し、デジタル化された工場、モビリティ、デジタル・ヘルスケアにおける発展を加速しています。当社は、最も優秀な頭脳が価値を追及するために目指す目的地として、地球と社会のために「Engineer Good」を標榜する、飽くなき探究心と深い技術的知識を備えた多様な人材が集まる場所となっています。

## 事業内容

アナログ・デバイセズは、60年近くにわたりパイオニアであり続けてきました。私たちは物理的世界とデジタル世界の架け橋となり、エッジにインテリジェンスをもたらします。当社のソリューションは、顧客が生データを実用的な情報に変換し、接続されたデバイスをよりスマートでより応答性の高いものにすることを支援します。また、AIと機械学習（ML）の持つ力をエッジで活用することで複雑さを大幅に軽減すると共に、125,000社に及ぶ世界中の顧客に対しインパクトとイノベーションを高められるよう努めています。

次のブレークスルーがどのようなものであっても、アナログ・デバイセズは想像を超える可能性を提供し続けます。

## アナログ・デバイセズの使命

より良いサービスと結果をもたらす  
デジタル・ヘルスケアの変革

安全なファクトリ・オートメーションと自動輸送による人間の可能性拡大

電子化、エネルギー・マネジメント、産業オートメーションを通じた気候変動への取り組み

知識、理解、コミュニティを育む  
人と人のつながり



写真：Conrad C., アイルランド

# アナログ・デバイセズの エンド・マーケット<sup>1</sup>

## 46% 産業用機器

- ファクトリ・オートメーション
- 持続可能エネルギー
- 計測とテスト
- デジタル・ヘルスケア
- 航空宇宙 & 防衛

## 13% コンシューマ

- プロシューマ
- ヒアラブル & ウェラブル・デバイス
- ハイエンド・ポータブル・エレクトロニクス

## 11% 通信

- 高度なコネクティビティ (ワイヤラインとワイヤレス)
- 高性能なコンピューティング

## 30% オートモーティブ

- 電気化
- キャビン・エクスペリエンス
- 自律型モビリティ

2024  
会計年度の  
主な実績

## 2024会計年度の主な実績

<b>\$94億</b> 収益	<b>57.1%</b> 粗利益	<b>21.6%</b> 営業利益	<b>\$3.28</b> 希薄化後一株当たり利益	<b>\$39億</b> 営業キャッシュ・フロー
<b>約87%</b> 企業間取引収益	<b>67.9%</b> 調整後の粗利益 <sup>2</sup>	<b>40.9%</b> 調整後の営業利益 <sup>2</sup>	<b>\$6.38</b> 調整後の希薄化後一株当たり利益 <sup>2</sup>	<b>\$31億</b> フリー・キャッシュ・フロー <sup>2</sup>

<sup>1</sup> 当社の年間収益のエンド・マーケット別内訳は、[2024年の年次報告書](#)に記載されています。

<sup>2</sup> 非GAAP財務指標の詳細、および非GAAP財務指標とほぼそのまま比較できるGAAP財務指標の対比については、[こちら](#)を参照してください。

# アナログ・デバイセズのソリューション

世界のエネルギー消費の54%が産業用ビルや工場によるものであり、地球規模のエネルギー・エコシステムにおいて、これらのエネルギー効率是非常に重要となっています<sup>1</sup>。エネルギー消費量が増加し、工場に求められる技術的要求もますます高まる昨今、私たちが直面している課題は明らかです。つまり、顧客のビジネス・ニーズを満たしながら、エネルギー効率の目標達成を支援するにはどうすればよいかということです。

工場管理者がこの課題を解決するには、どのような投資をすればエネルギー効率を向上させ、予定外のダウンタイムを減らして競争力を高めることができるのかを理解する必要があります。多くの場合、工場の製造現場からの新しいデータ・ストリームや判断材料を活用し、リアルタイムで製造を最適化して、工程の状態をより深く理解できるようにすることがソリューションとなります。

## エッジのデータでデジタル・ファクトリを強化

最終的に、ネットワークに接続されたデジタル・ファクトリの成功は、メーカーとエコシステム・プロバイダの強い結びつきにかかっています。エコシステム・プロバイダは、インテリジェント・エッジからの信頼できる確実なデータを得るための先進技術をメーカーに提供します。

アナログ・デバイスと産業界の世界的リーダーとの協力は、持続可能で効率的な産業活動へ向けた取り組みを大きく前進させます。アナログ・デバイスは、エネルギー・マネージメントに精通した産業系企業の専門知識と自社の最先端技術を組み合わせることで、データを工場管理者にとって実用的な知見へと変換するソリューションを開発しています。

## データ活用によるエネルギー効率の向上

アナログ・デバイスの技術は、産業用ビルや工場のエネルギー効率向上に重要な役割を果たします。当社は、先進的なセンサー技術とコネクティビティ・ソリューションを活用し、工場の製造現場からの信頼性の高い包括的なデータの収集を支援しています。このデータを処理・解析することで、製造工程の最適化、エネルギー消費の削減、および排出量の最小化に欠くことのできない実用的な情報をリアルタイムで得ることができます。

### 主な技術的貢献

アナログ・デバイスがこの協力関係に貢献できる項目には以下が含まれます。

- 先進的センサー・ソリューション：アナログ・デバイスのセンサーは高精度の測定機能とモニタリング機能を備えており、工場の運用におけるあらゆる側面を的確に把握することができます。
- コネクティビティとデータ管理：アナログ・デバイスは、シームレスなデータの転送と統合を促進する信頼性の高いコネクティビティ・ソリューションを提供し、工場のエネルギー使用状況と操業実績に関する実態を一元的に把握できるようにします。
- インテリジェント・エッジ処理：アナログ・デバイスのエッジ処理技術を使用すれば、データ・ソースに近い位置でデータを分析して、より迅速な意思決定と効率的なリソース使用を実現できます。
- これらの技術を組み合わせることで、アナログ・デバイスは、メーカーが十分な情報に基づく意思決定によってエネルギーと業務の効率を向上させることを可能にし、最終的には、よりレジリエントな産業エコシステムの実現を促進します。



<sup>1</sup>U1 米国エネルギー情報局（2016年）。産業分野のエネルギー消費量。

## イノベーションを通じた自動車産業の変革

世界の自動車産業では、より高効率なエネルギー効率・ソリューションへのニーズと、没入感のあるユーザ中心の車内体験に対する消費者の期待を背景に、大きな変革が進んでいます。

電気自動車やソフトウェア定義自動車は、自動車業界に変革をもたらすと共に、人類と地球の両方に恩恵をもたらすことが期待されています。

### 人類と地球に貢献するスマート・モビリティ

この変化の中核をなすのは、スマート機能を備えた電動モビリティの推進です。アナログ・デバイスと主要自動車メーカーおよび自動車部品サプライヤとのパートナーシップは、この進化を加速しています。

世界の自動車メーカーは、アナログ・デバイスの革新的技術を活用し、ドライビング体験を再定義すると共に、車両の効率を大幅に向上させています。

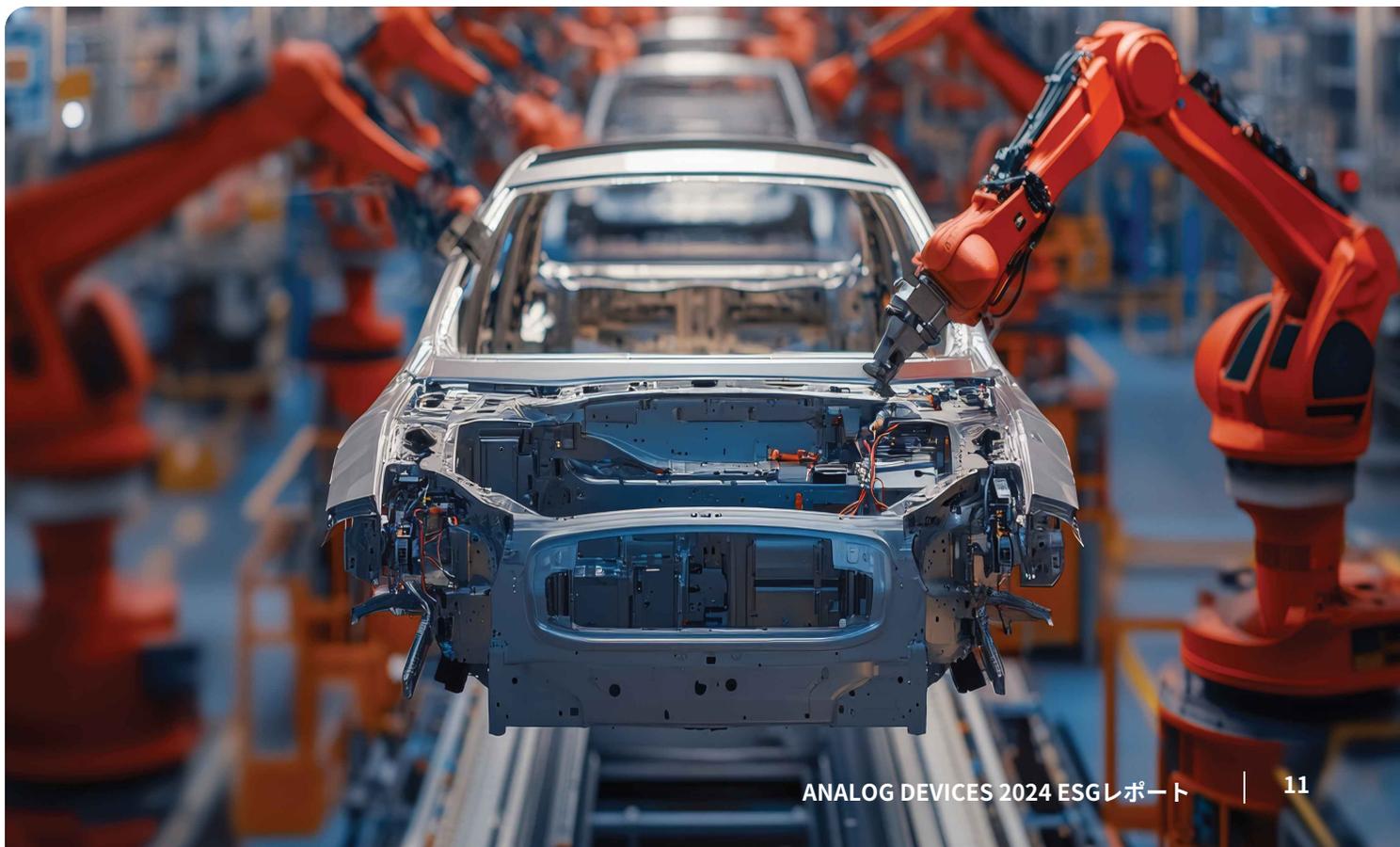
### エッジでのイノベーション

これらのソリューションは、スマートでインパクトのある電気自動車への移行の中核を担っており、複雑さを軽減し、ドライバーの体験と環境への影響の両面で改善を実現します。

継続的なイノベーションと、環境スチュワードシップに対する共通のコミットメントを通じて、私たちは、運転のあり方を変革し、当社の事業と顧客に対して前向きな影響をもたらしています。

### イノベーションを推進する主な技術

- **ワイヤレス・バッテリー管理システム (wBMS) :** アナログ・デバイスのwBMSは、電気自動車 (EV) の効率を最大限に高める上で非常に重要な要素です。wBMSは、重量のかさむ配線をなくすことによって、車両重量の軽減、エネルギー効率の向上、バッテリー駆動時間の延長、配電の最適化、安全性の向上を実現します。
- **車体寿命終了後の利点:** アナログ・デバイスのwBMSはセカンドライフ・アプリケーションを可能にすることで、車両のライフサイクル全体を通してサステナビリティを考慮できるようにします。この技術は、バッテリーを貯蔵用途などに再利用可能にすることで、電気/電子廃棄物の削減に貢献し、よりレジリエントなエネルギー・エコシステムの構築を促進します。
- **GMSL: ギガビット・マルチメディア・シリアル・リンク (GMSL) は、**高速かつ信頼性の高いコネクティビティを提供することで、先進運転支援システム (ADAS) を強化し、より安全で直感的な運転を実現します。GMSLは、ケーブルの使用を削減することで原材料の使用量を減らし、車両重量を軽減して全体的な効率を向上させます。
- **自動車用オーディオ・ソリューション:** オートモーティブ・オーディオ・バス (A2B) とデジタル・シグナル・プロセッサ (DSP) は、互いに連携して遅延の少ない高品質なオーディオを実現し、ドライバーと同乗者に、より没入感のある快適なキャビン・エクスペリエンスを提供します。これらのシステムは車体の配線を簡略化し、原材料の使用量と重量を削減することでエネルギー効率を改善します。



## Sensinel by Analog Devices

ヘルスケア産業は、ヘルスケア・コストの上昇、労働力の確保、技術革新など大きな課題に直面しています。2023年における世界のヘルスケア市場の規模は21兆ドル（USD）を超えると評価されており、更に2032年までにはほぼ倍増し、44兆ドル（USD）に達すると見込まれています<sup>1</sup>。ヘルスケア産業の成長に伴って、関連するコストの増大がシステムにとって負担となっています。

アナログ・デバイセズはヘルスケア分野における技術革新をリードしており、その専門知識を活かして、患者とヘルスケア・プロバイダの両方に好影響をもたらすソリューションを開発しています。アナログ・デバイセズは、Sensinel™ 心肺管理（CPM）システム<sup>2</sup>を発表しました。これは、心不全などの慢性疾患を管理する臨床医を支援するために、心肺機能測定値を収集する非侵襲型のウェアラブル・デバイスです。このシステムはFDAの510(k)承認を受けており、これはアナログ・デバイセズにとって画期的な初の事例となります。

現在でも600万人を超える米国民が心臓疾患を抱えています。しかも、この数は2030年までに800万人を超えると見込まれています。慢性疾患が米国の年間ヘルスケア費用4.5兆ドルに占める割合は、約90%に達しています。

## 主な機能と利点

患者の健康指標をリモートで収集することは、特定の臨床状態の発症や悪化を臨床チームがより効果的に管理する際に重要な役割を果たします。この種のヘルス・モニタリング機能（特に経時的なモニタリング）の最終的な目標は、患者とヘルスケア・システム双方に対し、入院やヘルスケアに関連するコストの削減に貢献することです。

- Sensinel CPMは容易に装着できる非侵襲型のウェアラブル・デバイスで、データ収集機能を備えています。
- このデバイスは、心拍数、S2およびS3心音、呼吸数、心膜液量といった心肺機能に関する9つの指標を収集します。
- このウェアラブル・デバイス加えて、Sensinelエコシステムには、傾向を把握することができるインテリジェントなアルゴリズムも含まれています。

## 患者ケアの改善

Sensinel CPMシステムは、臨床ケア・チームの負担を軽減すると同時に、医療ケアをより利用しやすくできる可能性も持っています。



1. 「Healthcare Market By Type, Share & Growth Report 2032.」 (2023, October). SNSInsider.

2. **使用目的:** Sensinel™ 心肺管理（CPM）システムは、ヘルスケアの専門家の使用を目的としたワイヤレス・リモート・モニタリング・システムであり、自宅や医療施設で生理学的データのスポット・チェックを行うために使用されます。対象となるデータには以下が含まれます：ECG、心音、皮膚温度（左胸部で測定）、胸郭インピーダンス（胸郭インピーダンスの変化を含む）、呼吸数と一回換気量の相対的变化、心拍数、拡張期心音強度、身体姿勢（傾斜角度を含む）。

# 会社の概要<sup>1</sup>

## アナログ・デバイセズの主要データ

設立 <b>1965</b>	本社 <b>マサチューセッツ州 ウィルミントン</b>	従業員 <b>約24,000</b>	顧客 <b>125,000+</b>	製品SKUs <b>約75,000+</b>	アナログ・デバイセズの 開発拠点数 <b>70+</b>	上場企業名 <b>ADI (NASDAQ)</b>
-------------------	------------------------------------	-----------------------	-----------------------	---------------------------	------------------------------------	------------------------------

## 世界各地のアナログ・デバイス事業所

世界中に広がるアナログ・デバイセズのハイブリッド製造施設とサプライ・チェーンのネットワーク

### 世界の製造拠点

米国（マサチューセッツ、オレゴン、ワシントン） | アイルランド | フィリピン | マレーシア | タイ

### 事業所所在地

## 31カ国

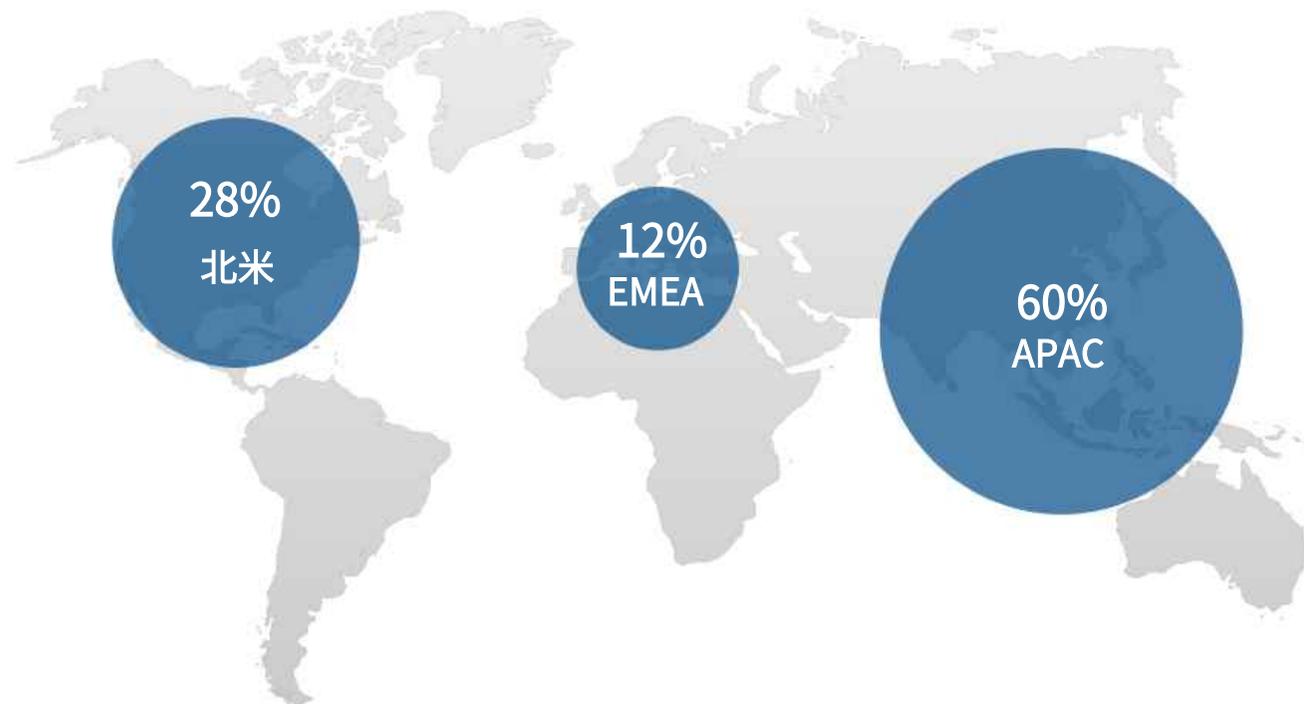
ワールドワイド・セールス、フィールド・アプリケーション、製品開発、設計、サービス、テクニカル・サポート



<sup>1</sup> 2024年11月1日現在

# 2024年度末時点の従業員データの概要

## 地域別従業員数



## 世界の管理職の性別 (%)

■ 女性 ■ 男性 ■ ノンバイナリ

### ピープル・マネージャ



### 上級管理職



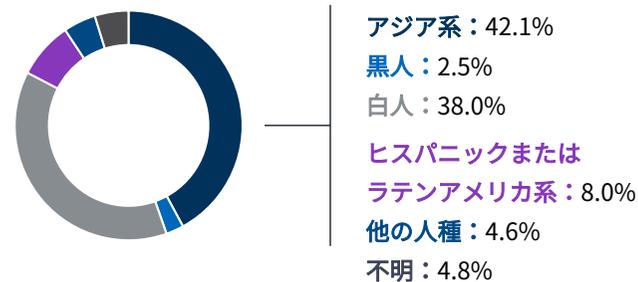
### 技術職



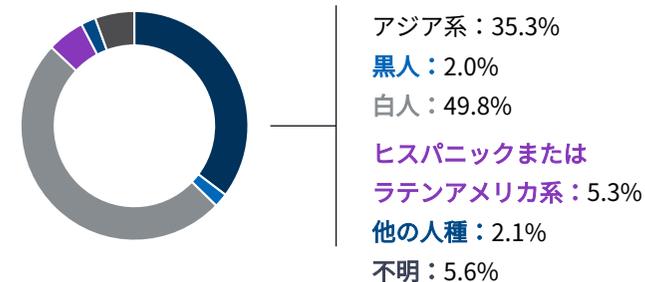
## 世界の性別新規雇用従業員



## 米国における人種および民族別新規雇用従業員



## 米国における人種および民族 (%)



## 賞と評価

### 100 Best Corporate Citizens 2024

アナログ・デバイセズは、ESGの透明性と実績を評価する3BLが発表する「2024年度ベスト企業市民100社」に選出されました。

### Boston Business Journal 2024 Top Charitable Contributors List

Boston Business Journalは、アナログ・デバイセズを2024年におけるマサチューセッツ州で最も慈善活動に貢献している企業の1つに認定しました。

### TIME - World's Most Sustainable Companies 2024

アナログ・デバイセズは、TIME誌がStatistaと共同で今回初めて作成した「世界で最もサステナブルな企業2024」リストに選出されました。このランキングでは、収益、時価総額、知名度などの要素を考慮しています。

### USA TODAY America's Climate Leaders 2024

このリストは、炭素排出量を独自に報告している、収益5,000万ドル以上の米国企業で構成されています。このリストに選ばれるためには、排出原単位（炭素排出量を収益で割った値）を前年から3%削減する必要があります。

### Forbes America's Best Employers For Diversity 2024

アナログ・デバイセズは、Forbesの「America's Best Employers For Diversity 2024」に選出されました。このランキングは、米国内の従業員1,000人以上の組織に勤務する17万人を対象に実施された調査結果などを基に作成されています。

### JUST Jobs Scorecard 2024

アナログ・デバイセズは、JUST CapitalのJUST Jobs Scorecardにおいて、従業員の健康と労働力構成のトップパーフォーマーに選出されました。

## 加盟している組織

国連グローバル・コンパクト

Business Ambition for 1.5°C

半導体気候関連コンソーシアム

米国半導体工業会

技術貿易規制アライアンス

2023年EcoVadisサステナビリティ評価（シルバー）

責任ある企業同盟

BSR®

CDP

WEF CEO気候リーダーズ同盟

半導体PFASコンソーシアム

グローバル・セミコンダクター・アライアンス

# ガバナンスと監督へのアプローチ

## ガバナンス・ハイライト

アナログ・デバイセズの取締役会は、アナログ・デバイセズの戦略を監督すること、アナログ・デバイセズの戦略を実行する際にマネージメントの指導および支援を行うこと、業績を監視すること、アナログ・デバイスに適したガバナンス活動を採用し、それをアナログ・デバイセズの戦略に沿ったものとするなど、株主の利益を代表する責任を負います。

その他の責務としては、取締役会はCEOおよびその他の執行役を指名すること、アナログ・デバイセズの業務執行のマネージメントに対する責任を委任すること、その業績を評価することが挙げられます。アナログ・デバイセズは、当社のステークホルダーの長期的な利益を実現するマネージメントが行われるためには、良い企業ガバナンスが重要であると確信しています。当社は、定期的にコーポレート・ガバナンス方針とその実践を評価し、コーポレート・ガバナンスに関する各種当局の提言や、他の上場企業の実践と比較しています。この評価および分析に基づき、アナログ・デバイスおよびステークホルダーに最も利益となると思われる方針と手順を採用しました。

アナログ・デバイセズのガバナンス方法へのアプローチの詳細については、[2025年株主総会招集通知](#)を参照してください。

### ガバナンス方針と報告

[コーポレート・ガバナンスのガイドライン](#)

[ビジネス行動と倫理に関する規範](#)

その他のガバナンス文書は、[こちら](#)のインベスター・リレーションズ・ウェブサイトにあるコーポレート・ガバナンスのセクションに記載されています。

ガバナンスに関する主な項目<sup>1</sup>は以下のとおりです：

### 効果的な取締役会の リーダーシップ、独立 した監督、強力なコー ポレート・ガバナンス

取締役の大部分は  
**独立取締役**

独立取締役の平均在任期は約  
**3.6年間**

独立取締役の  
**定期的会合**

CEOおよびその他の管理者の  
**クローバック・ポリシー**

取締役会による人材管理および長期的な  
後継者育成への  
**積極的な対応**

### 株主の権利と責任

取締役の  
**年次改選**

無競争取締役選挙における取締役の  
**多数決投票**

**プロキシ・アクセス**  
規則

取締役会と委員会の年次  
**自己評価**

デュアルクラス株式または支配株主の  
**該当なし**

<sup>1</sup> 2025年1月27日現在

## 取締役会による監督

取締役会は当社の全体的な業績を評価し、その第一の責任はアナログ・デバイセズの経営を監督することであり、監督を通じてアナログ・デバイスおよびその株主が最大限の利益を確保できるよう努めることにあります。取締役会および各種委員会は、それぞれの監督分野に関連するリスクの評価を行います。例えば監査委員会は、財務報告および関連事項に加えて、当社のサイバーセキュリティおよび情報セキュリティ・プログラム、運用状況、リスク軽減策を監督しています。指名およびコーポレート・ガバナンス委員会は、当社の環境、社会、ガバナンス（ESG）に関するプログラム、取り組み、報告を監督しています。これには、気候、サステナビリティ、社会的活動とガバナンス活動に関する重要項目も含まれます。報酬および人材委員会は、人材管理と多様性に関する企業全体の戦略とプログラムを監督しています。詳細については、アナログ・デバイセズの[2025年株主総会招集通知](#)を参照してください。

## 取締役会の構成

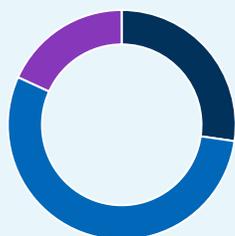
アナログ・デバイセズの取締役会と指名およびコーポレート・ガバナンス委員会は、高い能力を備えた取締役のグループで取締役会を構成する責務を担っています。取締役には、リーダーシップに関する広範かつ総合的なスキルを有していること、アナログ・デバイセズの戦略的展望、長期的目標、および業務活動に関する極めて豊富な経験、知識、能力を備えていること、そして株主の利害を効果的に代表して適格な判断を下し、健全性、誠実さ、高い倫理基準の遵守という企業価値を反映できることが求められます。

取締役の独立性、在任期間、取締役の経験および資格などを含む当社取締役会の構成および概要に関する詳細については、[2025年株主総会招集通知](#)を参照してください。

## 多様性に富む取締役会

アナログ・デバイセズの取締役会は、任期の異なる取締役が存在することで、経験豊富な取締役の持つ組織に関する知識を他の取締役に引き継ぐと同時に、多様で新鮮な視点をもたらすことができると考えています。当社の取締役会は、新たな取締役候補を選出する際、様々な経験、技能、業界経験に加え、性別、人種、民族、性的指向、地域などの多様性を反映した有資格者を候補に含めるよう努めています。アナログ・デバイセズの取締役交代の詳細については、[2025年株主総会招集通知](#)を参照してください。

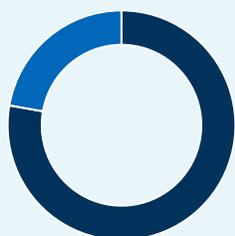
### 年齢<sup>1</sup>



51-60歳：27%(3)  
61-70歳：55%(6)  
71歳以上：18%(2)

平均年齢  
**66歳**  
年齢中央値  
**64歳**

### 独立取締役の在任期間<sup>1</sup>



0-5年間：78% (7)  
6-10年間：22% (2)

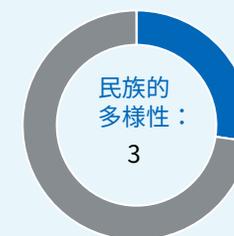
独立取締役の平均在任期間  
**3.6年間**

### 多様性



女性：  
5

女性取締役  
**45%**



民族的  
多様性：  
3

民族的に多様な取締役  
**27%**

<sup>1</sup> 2025年1月27日現在

## リスクの監視

下の表に、リスクのマネージメントと監視において管理者と取締役会が果たすべき役割の概要を示します。アナログ・デバイスの取締役会の各委員会は、表題部とその下の表に示す委員会ごとの担当監視分野に関するリスクの評価を行います。

### 取締役会

- アナログ・デバイスに重大なリスクをもたらし得る分野を担当する上級管理職のメンバーから、定期的な報告を受け取ります。具体的には、社内の企業リスク・マネージメント・プログラムを監督し、企業リスク・マネージメント委員会の長を務めるアナログ・デバイスの最高リスク管理責任者が、企業リスクと経営リスクのマネージメントおよび社内の企業リスクのマネージメント・プログラムについて、取締役会全員に対し定期的な報告を行うと共に、サイバーセキュリティなどの重点領域について定期的に更新を行います。
- 監査委員会、報酬および人材委員会、企業成長委員会、指名およびコーポレート・ガバナンス委員会から定期的な更新情報を受け取ります。これらの情報は、アナログ・デバイスがどのようなリスク・マネージメントを行うべきかについての詳細な判断材料を取締役に提供します。



### 監査委員会

- アナログ・デバイスのリスク・アセスメントおよびリスク・マネージメント・プログラム、特にアナログ・デバイス財務諸表の完全性、報告、および内部統制に適用される部分を監視します。
- 内部監査関連事項については内部監査担当のマネージング・ディレクタから、リスク・マネージメント関連事項についてはリスク管理責任者から定期的に報告を受けます。
- サイバーセキュリティおよび情報セキュリティ・プログラム、活動、リスク軽減の取り組みを確認します。
- 最高情報責任者および最高情報セキュリティ責任者から、主要なITプロジェクト、企業サイバーセキュリティ・プログラム、データ保護関連のリスク、およびそれらのリスクの軽減に関して、四半期ごとに更新報告を受けます。
- 債務証券および持分証券発行の可能性、与信契約、その他の金融商品、投資方針、配当、株式分割、株式買い戻しを含め、資本の配分および構造について評価を行います。



### 報酬および人材委員会

- アナログ・デバイスの役員報酬プログラムと社外取締役の報酬実務を監督します。
- 人材管理に関するアナログ・デバイスの方針、戦略、プログラムを監督します。
- 役員の評価、後継者育成計画、および開発プログラムを監督します。



### 指名およびコーポレート・ガバナンス委員会

- アナログ・デバイスのガバナンス構造の妥当性、および取締役会の後継者育成計画作成過程の妥当性に関して取締役会を主導します。
- アナログ・デバイスのESGプログラム、およびその実行と報告を監督します。これには、アナログ・デバイスの持続可能性イニシアチブとその目標の確認、およびそれらの目標達成に向けた進捗の確認も含まれます。
- 政府関係、公共政策、関連支出に関する方針および活動を監督し、定期的に確認します。



### 企業成長委員会

- 合併、買収、売却を含む重要な戦略的計画、取引、および投資の評価を行います。



### リーダーシップ・チームとマネージメント

- アナログ・デバイスのリーダーシップ・チームとCEO兼会長はリスク・マネージメントについて責任を有し、リスク・ガバナンスは管理者主導による機能横断型委員会である企業リスク・マネージメント委員会によって管理されます。同委員会は最高リスク管理責任者が委員長を務めます。
- アナログ・デバイスの企業リスク・マネージメント委員会は、CEO兼会長を含むリーダーシップ・チームと密接に協力してリスクを特定し、特定されたリスクの軽減を図ります。
- アナログ・デバイスの最高リスク管理責任者およびその他の管理メンバーは、リスクの特定、マネージメント、およびその軽減戦略について取締役会（該当する委員会が設定されている場合はその委員会）に報告を行います。

# ADI Horizon

ADI Horizonは、アナログ・デバイセズのESGプログラムに対する統一されたアプローチであり、社内と、より広いエコシステム全体の両面でESG活動を促進し、人々、地球、進歩に対するアナログ・デバイセズの取り組みを支援しています。

- 20 ESG責任者からのメッセージ
- 21 ESGへのアプローチ
- 25 ステークホルダーへの対応
- 27 ESGの優先事項と目標
- 30 2024年のESGの成果



写真：Elizabeth R.,米国

# ESG責任者からのメッセージ

## レジリエンス

逆境や変化から立ち直り、適応する能力。

物理学におけるレジリエンスとは、ゴムやポリマーなどの弾性体がエネルギーを吸収し、元の状態に戻る際にそのエネルギーを放出する能力を指します。つまり「跳ね返る」ことで、その語源は「飛び退く」あるいは「急に後退する」ことを意味するラテン語の動詞*resilire*です。

では、元の状態に戻らなかった場合や、飛び退かずに前へジャンプした場合はどうなるのでしょうか。あるいは異なる状態になった場合はどうでしょうか。良い結果が得られるのでしょうか。

サステナビリティとESGの専門家は基本的に予測の専門家です。私たちは、何年も先を見据えて計画を立て、落とし穴や機会を見極め、無数の可能性に備えながら、まだ存在しない未来の世界で成果をあげようとしています。

私たちは、このように起こり得る未来の最前線とも言えるような驚くべき場所で活動をしています。まるで片足を未来に、もう片足を現在に置いているような状態です。

**未来を予測する最良の方法は未来を創ることだ。**

-Peter Drucker

アナログ・デバイセズも、このような驚くべき場所で事業を行っています。アナログ・デバイセズは過去60年間にわたり、顧客とパートナー関係を築きながら、私たちの人生と世界を改善するテクノロジー・ソリューションを開発してきました。工場や家庭、自動車や病院、更には送電網、宇宙空間、通信インフラストラクチャなど様々な分野で、アナログ・デバイセズの洗練されたソリューションは、健康への貢献、エネルギー転換、地球規模のコネクティビティ、そして多様な環境における安全を実現するために役立っています。私がアナログ・デバイセズに加わったのは、その取り組みのためであり、その約束を果たすために努力を続けています。

そして、これからの60年においてもステークホルダーに価値を提供し続けていくにあたり、当社は、自社の環境や人々への影響を適切に管理する責任があることを改めて認識しています。当社はこのことを肝に銘じ、排出量の削減、水資源消費の管理、埋め立てによる廃棄物処理からの転換、一体感と受容性を感じられる職場の実現、当社のために働く人々の保護、そして次世代にとって最高の職場であり続けるために、世界中のエンジニアとスタッフを動員してきました。

私たちの課題への取り組み方をご紹介します。

アナログ・デバイセズの製造拡大を利用し、将来を予測して対応策を立てることによって、最先端設備の導入や水資源計画の見直しが可能になり、PFASや化学薬品使用の最適化といった困難な課題に従業員の知恵を結集させることができるようになりました。しかし常に答えが得られるわけではありません。私たちは、常にそのプログラムにおけるギャップや機会を見つけ出し、解決策と改善に重点を置いて取り組んでいます。技術が世界の大きな問題の解決に貢献するのであれば、私たちはまず自分たちから始める必要があります。私は、世界中の多くの専門チームと一緒に仕事ができることを幸運に感じると共に、誇りにも感じています。

広がり続ける未来において進歩を実現するには、総合的かつ包括的に考えることが求められます。アナログ・デバイセズの顧客、投資家、従業員、そしてステークホルダーは、飛躍的な前進を促すエコシステムを作り出し、レジリエンスを実現するより良い変化をもたらします。私たちはバリュー・チェーン、エコシステム、世界において自分たちの果たす役割を非常に重要なものと捉えており、今後のイノベーションと進歩の60年を楽しみにしています。



Mary Farris  
ESG責任者

“これからの60年においてもステークホルダーに価値を提供し続けていくにあたり、当社は、自社の環境や人々への影響を適切に管理する責任があることを改めて認識しています。”

Mary Farris  
ESG責任者

# ESGへのアプローチ

環境、社会、ガバナンス（ESG）という方針は、私たちの業務の中心になっています。誠実な企業活動、環境保護、気候変動の緩和と対策、そして多様性、公平性、受容性の推進など、経営陣と従業員の双方によるアナログ・デバイセズの取り組みは、長期的な成長と収益の鍵となります。この革新的なソリューションは、世界に対して有益で実際に証明できる影響を世界に与えています。

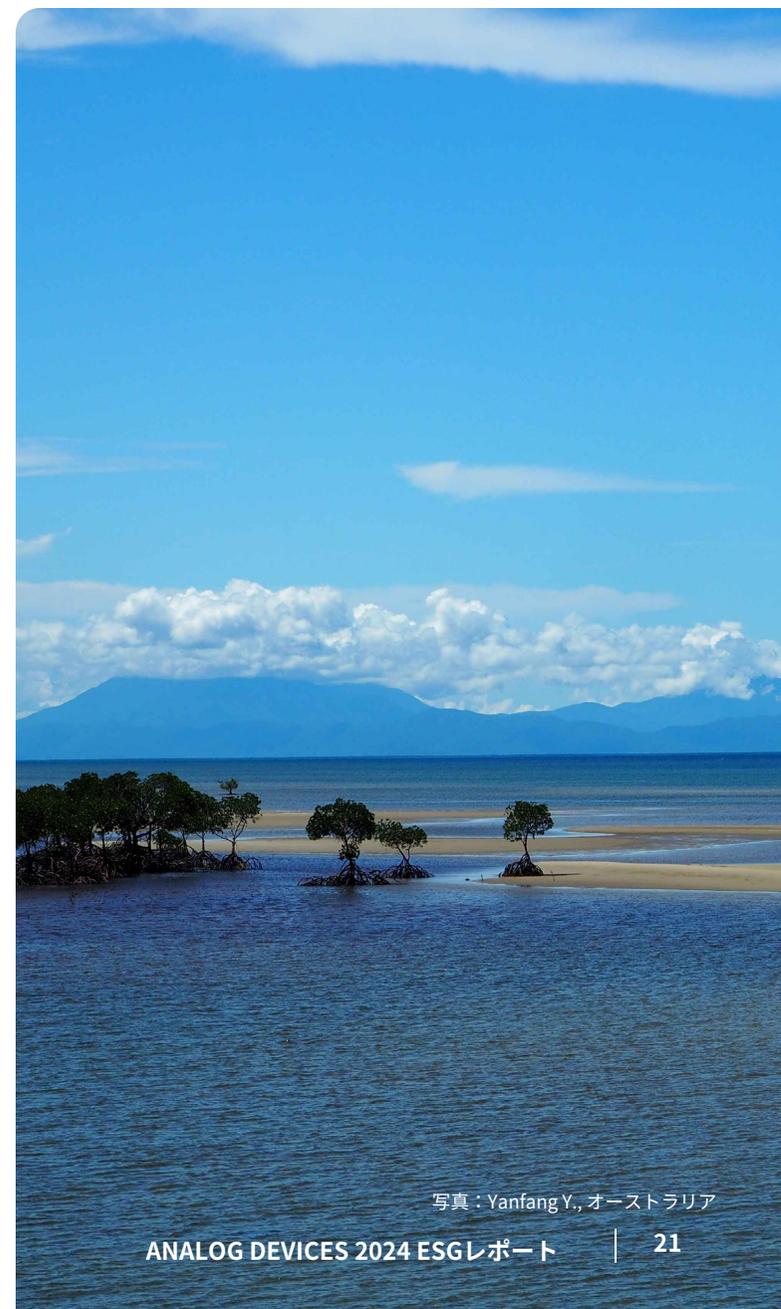
アナログ・デバイセズはESGに関わる努力とその影響について総合的に考えており、その対象には、当社の事業活動、私たちが生活し業務を行うコミュニティ、そして人生と世界を豊かにする当社のソリューションも含まれています。世界的な半導体のハイブリッド・メーカーとして、環境フットプリントの削減と課題の誠実な履行へ向けたアナログ・デバイセズの取り組みは、その存在の中核をなすものです。アナログ・デバイセズは、社内における行動と努力が、当社のステークホルダーからの信頼と信用の基礎をなすと考えています。これらの行動は、アナログ・デバイセズのサプライヤ、請負業者、販売代理店、顧客、そして私たちが生活し業務を行うコミュニティを含むバリュー・チェーンとの間の壁を越えて広がっています。

アナログ・デバイセズが地球に与える好影響のうちで最大のものは、そのソリューションを通じて提供されます。アナログ・デバイセズの製品は持続可能性への取り組みとネット・ゼロ社会への移行の推進を支援しています。これらは、人々の体験価値とその結果を向上させることを目的としています。また、強固なデータ・プライバシーとセキュリティ・コントロールの実現を促進します。アナログ・デバイセズの技術ソリューションが人生と世界を改善する方法の詳細については、[アナログ・デバイセズのソリューション](#)を参照してください。

最後に、卓越性、信頼性、透明性はアナログ・デバイセズのESGプログラムと文化の中心をなすものです。ステークホルダー、つまり顧客や投資家、規制当局、様々な人材、そしてコミュニティとの対話は、アナログ・デバイセズをより良くする助けとなります。また、このような方法での業務は受容性、理解、発見の文化を推進します。ステークホルダーとの関わりは、共有された課題について話し合い、ベスト・プラクティスを見つけ出す機会を提供します。この誠実さと透明性に基づく考え方がアナログ・デバイセズの存在の基礎となるものであり、パートナーおよびソリューション・プロバイダとしての存在を差別化するものでもあります。

**卓越性、信頼性、透明性**に対するアナログ・デバイセズの取り組みは、このレポート全体に織り込まれています。

アナログ・デバイセズは、そのプログラム、進捗、そして課題の現実を共有すること、自社の内部監査チームと外部の様々なステークホルダーを利用して報告に含まれるデータと主張を確認し、検証することに努めています。アナログ・デバイセズの検証プロセスの詳細については、[ここをクリック](#)してください。



## ESGの取締役会による監督

指名およびコーポレート・ガバナンス委員会は、アナログ・デバイスのESG方針、目標、プログラム、およびその実行と報告の監督と定期的な見直し、持続可能性イニシアチブとその目標の確認、およびそれらの目標達成に向けた進捗状況の評価を行います。指名およびコーポレート・ガバナンス委員会は、掲げた目標の達成に向けた進捗状況に関するESG責任者からの四半期ごとの報告と、ステークホルダー価値、リスクと機会、規制への対応、ESG格付け、ESGの主な焦点分野などのトピックに関する更新報告を受け取ります。

## ESGの管理職による監督

アナログ・デバイスのESG方針は、CEO、リーダーシップ・チーム、およびESG関連事項専従担当者によって主導されます。管理職は、ESGトピックに関する取締役会への報告を定期的に行い、重要な指標や進捗について最新情報を提供します。これらのESGの報告には教育的な要素も含まれており、変化の速いESG規制環境を始めとして、徐々に変化する実務的内容、リスク監視、緩和戦略、その他の関連するESGトピックについて、取締役会が常に最新の情報を得られるようにしています。

アナログ・デバイスのESGエグゼクティブ・カウンスル（人事、調達、環境、安全衛生、法務、リスク、コンプライアンス、倫理を含む各分野の社内エキスパートで構成）はセントラルESGチームによって主導されています。このカウンスルは定期的に会合を持ち、プログラムを更新しています。これらの活動では進捗状況、規制内容の更新、リスクなどに重点が置かれ、これがアナログ・デバイスのリーダーシップ・チームと取締役会への情報更新の基礎となります。



# アナログ・デバイセズのレジリエンスと責任

## レジリエンス

アナログ・デバイセズの顧客中心主義の製造組織はワールドクラスの高品質製品を提供し、顧客が最も困難な技術的問題を解決できるよう支援します。アナログ・デバイセズのハイブリッド製造戦略は、当社の全体的なレジリエンス戦略の基盤となっています。アナログ・デバイスまたはアナログ・デバイセズの信頼できるパートナーが所有するウェハ製造プラント、ファウンドリ、アッセンブリ工場および試験工場の強力なネットワークに基づく製造体制は、外部的な問題要因からの影響を緩和しつつ、生産能力の拡大や顧客ニーズへの迅速な対応を可能にします。

レジリエントなハイブリッド製造方法により、アナログ・デバイセズは自社およびパートナーの製造プラントにおいて、従来型プロセス技術と新しいプロセス技術を使って製造を行っています。アナログ・デバイセズは、当社のサプライチェーン内に存在する様々な技術を迅速に比較検討できるため、複数の場所で顧客の需要に柔軟に対応することが可能で、7ナノメートルから7ミクロンまでの革新的ソリューションを作り出すために必要な技術とパッケージングの広範な組み合わせを供給しています。この戦略的な取り組みにより、工場を柔軟に選択して顧客の需要に応え、潜在的な混乱に対処することができます。レジリエントなハイブリッド製造モデルにとって重要な2つの要素は、アナログ・デバイセズが技術を共有している信頼できるパートナーと、そのパートナーの持つ確立したインフラストラクチャをアナログ・デバイスが活用できることです。これは、迅速に製造を開始して、顧客がそのビジネス目標を達成することにつながります。また、天候や地政学的な問題など、私たちがコントロールできない外部的な問題に起因する計画外のダウンタイムを回避または削減することができます。アナログ・デバイセズのレジリエントなハイブリッド製造モデルは、アナログ・デバイスが顧客と株主に価値を提供することを可能にします。

このレジリエンス戦略の一環として、アナログ・デバイセズは社内および社外の製造工場の能力を強化し、社内では米国およびヨーロッパにおけるウェハ生産量を2025年末までに倍増させるという目標に向けた投資を行いました。

- 米国オレゴン州ビーバートンではクリーンルームを25,000平方フィート拡張させて能力を倍増させると共に、より多品種の製品に対応できるようにしました。
- アイルランドのリムリックでは、15,000平方フィートの施設面積拡張によって能力を3倍に拡大しました。
- 2022年には、ワシントン州キャマスにあるサイトの能力を2027年までに倍増させるための努力と投資を開始しました。

アナログ・デバイセズは、こうした拡張を活用することで、気候、水、廃棄物に関する目標を達成します。当社は効率を改善する新しい最先端の製造ツールや、より環境に優しい化学薬品類を使用することにより、工場の近代化を図っています。また、水の消費量を最適化し、より正確な水のリサイクル活動を実現するために、センシング技術を活用しています。アナログ・デバイセズは、資源消費量を管理して排出量プロファイルを削減することが、当社のレジリエンス戦略の重要な部分であると認識しています。これらの取り組みは、当社の設備と事業への多大な投資、そしてアナログ・デバイセズの事業を最高クラスのものにしようとするエンジニアリング・チームのイノベーション、熱意、コミットメントによって実現されます。

アナログ・デバイセズは、ほとんどの試験業務をフィリピン、マレーシア、およびタイにある自社工場で行っていますが、アセンブリの大半は信頼できるパートナーに外注しています。アナログ・デバイセズはフィリピンの広範な業務のレジリエンスを強化するために、タイの施設を拡張すると共に、数年をかけてフィリピンの施設を拡張し、将来的に増強が見込まれるエンジニアリング機能やその他の技術力に対応できるよう、オフィス・スペースを広げています。更に、社内サイトだけでなく社外のパートナーともテスト・プロセスの相互検証を行うことで、必要に応じて二重調達ができるようにしています。

## 責任

アナログ・デバイセズは、世界に良い影響を及ぼす有益な力となる責任を心に刻んでいます。当社の従業員、顧客、株主、そしてコミュニティは責任ある行動を望んでおり、それは、当社の取り組みにおける差別化要因であり続けています。

当社のESGへの取り組みは企業戦略に組み込まれており、これには、世界中どこにいても当社の強い倫理基準に従って活動すること、当社のステークホルダーのためのプログラムと情報開示を継続的に改善すること、そしてスマートで多様かつ革新的な人材を引きつけ、維持するための世界クラスの企業文化を推進することなどが含まれています。

アナログ・デバイセズの全体的なESG戦略は、CEO戦略室内の専門家チームによって導かれています。このチームは、当社のプログラムを監督し、組織全体で連携を図り、必要に応じて変革を促します。また、ESG開示、株主および顧客エンゲージメントを主導し、報告書や規制要件の変更、およびこれらの要件がアナログ・デバイセズの事業や戦略に与える影響を監視します。アナログ・デバイセズにはESG展開のために実用化されたモデルがあり、重要なリーダーシップが関与し、対象分野の専門家が世界中でそれぞれのプログラムを推進しています。透明性、説明責任、継続的な改善に重点を置く企業文化こそが、成功の基盤となっているのです。当社のセントラルESGチームは、少なくとも四半期に一度、対象分野の専門家と会合を持ち、規制の進展およびプログラムの課題と成功について話し合い、改善のためのステークホルダーのフィードバックを共有しています。実用化されたこのモデルは、作業が発生する部門内で説明責任を果たすのに役立ちます。

## ADI Horizon目標へ向けたアナログ・デバイセズの歩みの進展

2024年、アナログ・デバイセズは、世界中の業務とバリュー・チェーンにおける物理的リスク、移行リスク、および機会を評価するために、気候シナリオ分析（CSA）を実施しました。CSAは、将来を見据えた調査と評価を基に、地球温暖化のシナリオと気候関連の財政的リスクや機会に寄与する社会経済学的問題に関連する複数のシナリオを比較し、様々な時間枠におけるビジネス戦略に関する情報を提供します。これは、気候変動に関する検討事項をコーポレート・ガバナンス、リスク・マネージメント、および戦略に組み込むための、最良の方法と考えられています。

### アナログ・デバイセズのCSAプロセス

アナログ・デバイセズは、顧問会社の知識と経験を活用し、社内のあらゆるステークホルダーと連携して、以下の気候移行シナリオの影響を検討しました。

- ネット・ゼロ2050 (1.5°C)：低い物理的リスクと、中程度をやや下回る移行リスク
- 移行遅延 (2.0°C)：中程度の物理的リスクと中程度をやや上回る移行リスク
- 現状維持 (3.0°C)：低い移行リスクと高い物理的リスク

これらのシナリオの影響が、短期的、中期的、および長期的な時間枠で検討されました。

アナログ・デバイセズの保険会社や業界に関するその他の調査結果、更に自社のグローバル・ビジネス・レジリエンス、エンタープライズ・リスク・マネージメント、ESG担当組織からの意見を取り入れることで、アナログ・デバイスおよびその将来的な運用条件に関する情報を提供する、様々な物理的リスクと移行リスク、そして機会が特定されました。

アナログ・デバイスズ全社のステークホルダーが、各種シナリオや推進力となる要素、物理的な気候リスク、移行に関わる気候リスク、気候関連の機会を分析するインタビューやディスカッションに参加しました。また、アナログ・デバイセズの業務、供給ベース、顧客ベース、従業員および潜在的な人材、業務方法に与える影響について、アナログ・デバイ

セズの全社的リスク・マネージメント（ERM）スコアリング規則を使用して、可能性と影響の両方が評価され、採点とランク付けが行われました。この活動は気候に関連して特定されたリスクと機会の優先順位付けを可能にしましたが、その多くは既に特定され、アナログ・デバイセズのレジリエンス活動や戦略的見直しを通じて緩和されています。その他の項目については、世界や事業の変化に合わせて監視と評価を行う必要があります。対応が必要な兆候も確認されましたが、戦略がない場合は、必要に応じ、該当するチームに合わせて策定することができます。

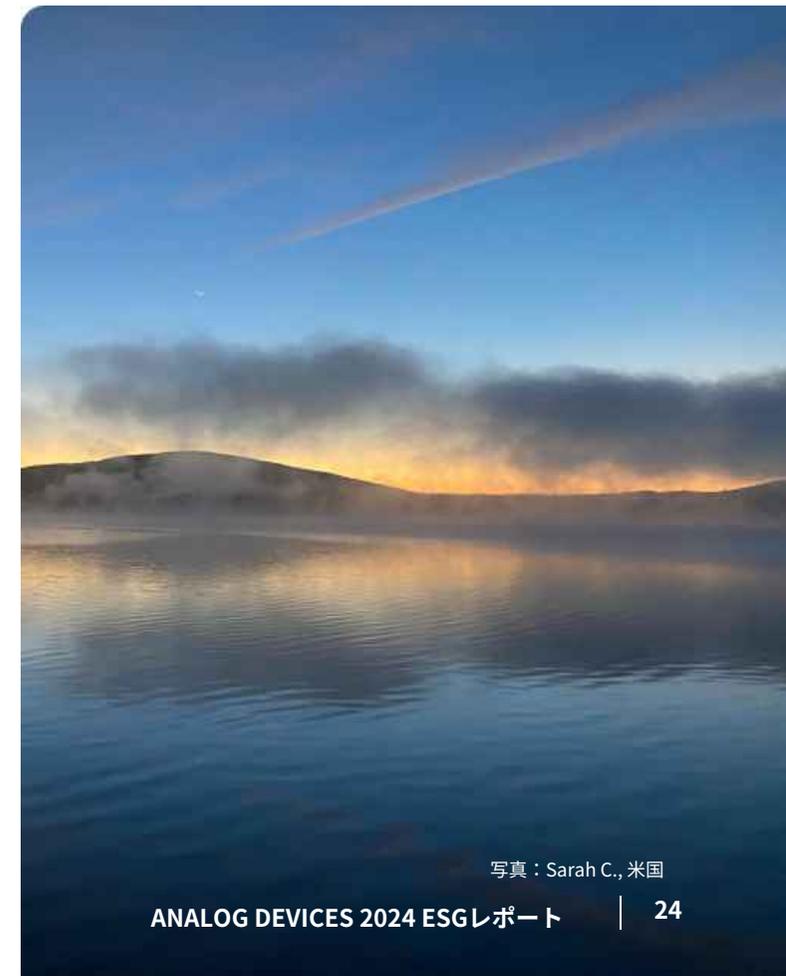
### CSAから得られた情報の組込み

CSAで行った作業により、戦略策定プロセスとリスク・マネージメント・プロセスの判断材料となる情報が改善されました。CSAを通じて特定されたリスクと機会は、グローバル・ビジネス・レジリエンスおよびERMのアプローチに組み込まれます。気候シナリオ分析から得られた情報は、ネット・ゼロの目標達成に向けた気候移行計画の策定の基礎となります。

### 気候移行計画

気候シナリオ分析の結果は、ネット・ゼロの目標を達成するための気候移行計画の基礎となります。アナログ・デバイセズの気候移行計画は2025年中に完成する予定ですが、これはネット・ゼロへのロードマップを定め、実現に向けた戦略を確立するものです。また、そのネット・ゼロ戦略は、排出量削減に向けた特別な戦略的手段の特定を可能にし、新しい情報や外部要因に柔軟に対応できるようになります。

気候移行計画は、アナログ・デバイセズの組織が気候に関連するリスクを管理し、新たな機会を効果的に捉えるための方向性を示すものであり、自社のビジネス・モデルと企業戦略において重要な役割を果たすと考えています。これにより、気候に関連する今後のリスクと機会に向けたすべての事業活動の可視化が向上し、施設や新技術への投資を支援することができます。アナログ・デバイセズは、この気候移行計画がより広範なビジネス・リスク戦略の一環として位置付けられると考えています。この計画は、当社のERMチームやグローバル・レジリエンス・チームが策定したアプローチを基に、グローバル・オペレーション・レジリエンス・プログラムなどの方法を取り入れ、気候変動の影響に直面した際に当社のリスクを低減することを可能にします。



写真：Sarah C., 米国

# ステークホルダーへの対応

アナログ・デバイセズは、ステークホルダーへの対応がESGへの取り組みにおける重要な要素であると考えています。アナログ・デバイセズは株主との関わりに加えて、従業員、顧客、株主メンバーシップ組織、地域のコミュニティ、サプライヤを含む様々なステークホルダーと関わっています。私たちはこうしたやり取りを重視し、当社の戦略立案に役立てるために情報を活用しています。

当社では継続して透明性の高いやり取りに取り組んでおり、当社のステークホルダーにとって極めて重要性の高い諸問題に継続的に焦点を置いています。トピックには、炭素含有量、規制へのコンプライアンス、倫理的サプライ・チェーン、レジリエンス、資源および化学物質管理、EHSプログラム、気候目標実現へ向けた進捗などが含まれています。

アナログ・デバイセズは透明性の確保に取り組み、グローバル・レポーティング・イニシアチブ（GRI）、サステナビリティ会計基準審議会（SASB）、および気候関連財務情報開示タスク・フォース（TCFD）によって開発されたフレームワークを活用して、ステークホルダーのニーズに応えるESG開示の骨格を作ることに努めています。



# アナログ・デバイスズによるステークホルダーへの対応方法



## 従業員

- 上級管理職からの全社的または事業部別の定期的なメールやビデオ
- 質疑応答の機会のある、管理職による対話型集会、討論、ウェビナー
- パルス・エンゲージメント調査



## 顧客

- すべての業界にわたるESGに関する取り組み
- ビジネス・レベルおよびコーポレート・レベルでの役員との対話
- 業界に応じたビジネス・リーダーシップによって推進される対応戦略



## 加盟している組織

- 国連グローバル・コンパクトへの署名
- レスポンシブル・ビジネス・アライアンス (RBA)、責任ある鉱物イニシアチブ (RMI)、責任ある労働イニシアチブ (RLI) のメンバー
- 米国半導体工業会 (SIA) のメンバーで、当社CEO兼取締役会会長のVincent Rocheが理事を務める
- 国際半導体製造装置材料協会 (SEMI) のメンバー



## コミュニティ

- 地域コミュニティのニーズに基づいて慈善団体を支援する権利を与えられた各地のアナログ・デバイスズ事業所
- アナログ・デバイスズの従業員が居住し勤務するコミュニティに貢献するアナログ・デバイスズのボランティア
- 環境保護、教育機会の向上、社会変革の促進を使命として、コミュニティの変容に取り組むアナログ・デバイスズ基金
- 地域機関や必要に応じたアウトリーチ活動を通じた、コミュニティや地域のステークホルダーへの関与



## サプライヤ

- RBAの強力なガイダンスに基づく倫理的サプライ・チェーン・プログラムおよびサプライヤに向けた[企業の社会的責任規範](#)への取り組み
- [サプライヤ倫理合意](#)
- RBAオンライン・ツールを通じたサプライヤの評価



## 規制当局／政府機関

- 政府関係者との「オネスト・ブローカ」の関係を追求し、協力的なウィン・ウィンの結果を追求
- 規制への適合と良好な業績への取り組み
- 気候変動や脱炭素化を含む持続可能性目標に関わる意思決定を支援するための積極的な関与



## 投資家／株主

- 四半期収支報告を投資家に提供。当社ウェブサイトで見聴可能
- 年1回の株主総会
- インベスター・リレーションズ・ウェブサイト
- 機関投資家およびその他の株主への定期的な対応。ガバナンス、役員報酬、ESGなど様々なトピックをカバー

株主への対応に関する情報は、[2025年株主総会招集通知](#)を参照してください。

# ESGの優先事項と 目標

## ESGに関する優先事項の設定

ESGは、当社の組織とビジネス戦略のあらゆる側面に深く組み込まれています。アナログ・デバイセズの包括的ESGプログラムは、当社の戦略に幅広い情報や意見を反映できるように、CEOの戦略オフィスに属し、社内全域に関与する中核的な集中型の専門家チームに主導されています。アナログ・デバイセズのESG戦略と優先事項の設定は、ステークホルダーへの対応、世界的な規制状況、アナログ・デバイセズの企業リスク・マネジメントの評価プロセスと結果、そして自社の願望と目標に基づいて行われます。また、第三者機関によるESG評価を考慮すると共に、開示のベスト・プラクティスをベンチマーク評価しています。このレポートは、これらのステークホルダーのニーズに対応することを目的としています。アナログ・デバイセズのESGに関する優先事項は以下の通りです。

- 将来的なネット・ゼロ実現を可能にし、人々の経験と成果を改善する製品の開発を含むビジネス・イノベーション
- リスクの監視
- サーバー・セキュリティ、データ・プライバシー、および保護
- 環境サステナビリティ
- 人権
- サプライ・チェーンのレジリエンス
- 企業文化
- 採用、離職防止、受容性イニシアチブ、従業員の安全衛生などの人材管理

2024年、アナログ・デバイセズは、第三者機関の支援の下にダブル・マテリアリティ・アセスメントを実施しました。この取り組みは、優先すべき重点領域を確認、または追加する上で役立ちました。



# アナログ・デバイセズのESG目標



## ネット・ゼロ

2050年またはそれ以前に達成

## カーボン・ニュートラル

遅くとも2030年までに、スコープ1およびスコープ2温室効果ガスの絶対排出量を50%以上削減

## 100%

アナログ・デバイス製造施設<sup>1</sup>での再生可能エネルギー使用率 - 2025年までに達成

## 75%

アナログ・デバイセズの工場からのスコープ1の温室効果ガス排出量を2026年までに削減



## 50%

生産実績に対して正規化した取水量を2027年までに50%削減<sup>2</sup>



## 100%

アナログ・デバイセズの製造施設<sup>1</sup>から生じる廃棄物を2030年までに埋め立て処理から他の処理方法に転換



### 2024年のESG目標

- ESGに関わる新たな規制要求の出現や増大に対応できる体制を整備
- ステークホルダーに対する透明性の確保を維持
- 人権、製品カーボン・フットプリント、サステナビリティへの取り組みなど、複数のESG課題について顧客と連携
- アナログ・デバイセズのESG活動を支える各種認証、および第三者機関との関係の維持

### ▶ 2025年のESG目標

- グローバルなESG規制の変化に対する監視と準備を継続
- 自社の各種プログラム全体で継続的な改善を推進
- ステークホルダーへの透明性と情報提供の取り組みを維持
- 認証の維持と第三者機関との関係を継続

<sup>1</sup> 製造施設には、加工、組み立て、現地での試験を行う場所が含まれます。

<sup>2</sup> 取水量は、2022年のベースラインを基準として計算された工場の生産実績に合わせて正規化されています。その基準と計算方法についての説明は[こちら](#)を参照してください。

## 持続可能な開発目標

### アナログ・デバイセズの戦略および持続可能性に関する優先順位とUN SDGsとの整合性

国連の持続可能な開発目標（SDGs）は、気候変動への対策、ヘルスケアの普及、不平等の緩和など、世界が直面している喫緊の課題に対処するグローバルな行動計画です。当社は、このグローバル・イニシアチブの重要性と緊急性を認識しており、アナログ・デバイスがインフラストラクチャを拡大し、生活の質を向上してグローバルな開発を持続可能な形で推し進める上で重要な役割を担っていることを確信しています。

アナログ・デバイセズは、2020年以降、国連グローバル・コンパクトの加盟企業であり、以下のUN SDGsおよび当社の戦略と持続可能性に関する優先順位との間で緊密な整合性を確保しています。



#### 良好な健康と福祉

当社の技術は、バイタル・サイン・モニタリング、医療用画像処理、医療用計測器、疾病管理、および健康維持を通じて、個人の健康と福祉に影響を及ぼしています。



#### 手頃な価格のクリーン・エネルギー

当社は、エネルギー効率を向上するプログラムを展開し、2025年までに全製造サイトで100%再生可能エネルギーを達成することに関連した野心的な目標を設定しています。

当社の技術は、電気自動車、エネルギー貯蔵システム、データ・センター、5Gネットワーク、産業用オートメーションなど、幅広いアプリケーションで進歩を可能にします。



#### ディーセント・ワークと経済成長

当社は、すべての人に対して安全な職場環境を提供することに取り組んでいます。

アナログ・デバイセズは、すべての人の人権を保護し、従業員が敬意と品位を持って扱われ、人間らしい作業環境で働けるようにすることに取り組んでいます。



#### 産業、イノベーション、インフラストラクチャ

当社の技術は、ファクトリ・オートメーション、安全、効率などを含むインダストリー4.0の適用と拡大に影響を及ぼします。



#### 持続可能な都市やコミュニティ

輸送とスマート・ビルディングは、都市やコミュニティを受容的かつ安全で回復力があり、持続可能なものにするための2つの重要な手段です。当社の技術は、自動車の電化を可能にすることで人の移動方法に影響し、また、電気をつなぐ電力グリッドの最新化に影響します。更に、インテリジェントなビル管理システムを可能にすることで人の働き方にも影響します。



#### 気候変動への対処

アナログ・デバイセズは、持続可能性をすべての活動に組み込むよう努めています。当社は、環境への影響を最小限に抑えるために、気候とエネルギー、水、廃棄物の3つの領域に焦点を当てています。

# 2024年のESGの成果

ステークホルダーに対する正確かつ透明性を備えた情報開示への取り組みの一環として、以下のページでは、一般に公開されているアナログ・デバイスのESG指標と重要業績評価指標（KPI）を項目別に示します。2024年、アナログ・デバイスは、KPIを会計年度に合わせて変更しました。多くの数値については、2023年の値を再計算していません。その場合は脚注で示されています。

KPIと定義	2023年の値	2024年の値	対応するUN SDG
<b>多様性、公平性、受容性</b>			
世界の女性技術者 <sup>1</sup> FY	22%	22%	  
世界の女性管理職 FY	25%	25%	
米国における黒人、ヒスパニック、ラテン系従業員 FY	7%	7%	
<b>従業員データ</b>			
合計従業員数 暦年（CY）、アナログ・デバイスの総従業員数	~26,000	~24,000	  
世界の総従業員数に占める女性従業員のパーセンテージ CY - 世界の総従業員数に占める女性従業員のパーセンテージ	39.5%	37.9%	
<b>安全衛生</b>			
記録可能な怪我と疾病の率 FY - 傷病の年間件数、OSHAの記録基準に従って記録された就労時間数が年間200,000時間になる従業員100名を基本に計算	0.16	0.19	  
労働損失日数率 FY - 傷病によって就労できなかった日数、OSHAの記録基準に従って記録された就労時間数が年間200,000時間になる従業員100名を基本に計算	0.12	0.12	
重大な影響をもたらす怪我 FY - 業務に関連する怪我で死亡に至ったケース、または怪我をする前の健康状態に6ヵ月以内で回復できない、または回復しない、あるいは回復が望めないケース	4	3	
死亡 FY - 1年間に業務関連で死亡した従業員と臨時雇用従業員の数	0	0	
ISO 14001適合事業所 FY - ISO 14001の認証を受けた製造施設の数	9/9	9/9	
ISO 45001適合事業所 FY - ISO 45001の認証を受けた製造施設の数	9/9	9/9	
罰金を伴う違反の通知 FY - 環境、健康、安全に関わる違反行為のために規制当局から発行された罰金を伴う書面の違反通知件数	1	0	

1. この数値には、総合職としての女性技術者数確認方法に対する調整が反映されています。この計算と将来的な計算における人数の確認には、総合職に関する国別の定義ではなく、内部的な職級分類が使われます。この調整により一貫性と正確性が向上します。

KPIと定義	2023年の値	2024年の値	対応するUN SDG
<b>排出量<sup>4</sup></b>			
<b>スコープ1 GHG排出量</b> アナログ・デバイスズの業務により直接排出されたGHGの量	138 (1000トン CO <sub>2</sub> e単位)	99 (1000トン CO <sub>2</sub> e単位)	  
<b>スコープ2 GHG排出量</b> 電気の使用による間接的なGHG排出量、市場ベース	140 (1000トン CO <sub>2</sub> e単位)	117 (1000トン CO <sub>2</sub> e単位)	 
<b>スコープ3 GHG排出量<sup>1</sup></b> アナログ・デバイスズのスコープ1およびスコープ2分類に含まれていないその他の間接GHG排出量	2,343 (1000トン CO <sub>2</sub> e単位)	1,692 (1000トン CO <sub>2</sub> e単位)	
<b>エネルギー<sup>2,4</sup></b>			
<b>天然ガス暖房消費量</b> 熱を発生させるための燃料の消費量	104 GWh	109 GWh	  
<b>合計使用電力量</b> 合計使用電力量	604 GWh	615 GWh	
<b>非再生可能電力</b> 購入した非再生可能電力	252 GWh	254 GWh	
<b>再生可能電力 - 直接</b> 直接調達による再生可能電力 (現場発電、PPA、グリーン・タリフ等)	225 GWh	342 GWh	
<b>再生可能電力 (EAC)</b> 分離型環境属性証明書の購入による再生可能電力	126 GWh	18 GWh	
<b>水<sup>2,4</sup></b>			
<b>取水量 (生産量基準)<sup>3</sup></b> 任意の目的に使用するために地表水、地下水、海水、または第三者から年間を通じて調達した水の合計量を生産量で正規化した値	0.27米ガロン/cm <sup>2</sup> Si/ML	0.36米ガロン/cm <sup>2</sup> Si/ML	 
<b>取水量 (収益基準)</b> 任意の目的に使用するために地表水、地下水、海水、または第三者から年間を通じて調達した水の合計量を収益で正規化した値	0.07米ガロン/USD	0.10米ガロン/USD	
<b>取水量 (地表水)</b> 氷床、氷冠、氷河、氷山、湿地、沼、湖、川、水路などの形で地球表面上に自然に存在する水の取水量	0万米ガロン	10万米ガロン	
<b>取水量 (地下水)</b> 地下に形成された空間に存在する水の取水量	260万米ガロン	50万米ガロン	
<b>取水量 (海水)</b> 近海または遠海からの取水量	0米ガロン	0米ガロン	
<b>第三者からの調達水量</b> 複数の水供給業者からの調達水量	9億1,800万米ガロン	9億600万米ガロン	

1. 温室効果ガス・プロトコルに定義されたカテゴリ1から8までを含みます。アナログ・デバイスズの製品は中間製品であり、多くの下流側アプリケーションに使われる可能性があるため下流側カテゴリ10~12は除いています。2022年のスコープ3の数値は、2024年に方法論の改善を反映して調整されました。詳細は[こちら](#)を参照してください。

2. アナログ・デバイスズの製造施設向け (加工、組み立て、試験など)。

3. 取水量は工場の生産実績に合わせて正規化されます。その基準と計算方法についての説明は[こちら](#)を参照してください。

4. 2023年の値は暦年で報告されています。

KPIと定義	2023年の値	2024年の値	対応するUN SDG
<b>水<sup>1,2</sup></b>			
<b>水リサイクル量</b> 追加の取水が必要な状況を回避するためにリサイクルまたは再利用した水の合計量	10億9,800万 米ガロン	10億7,300万 米ガロン	
<b>排水量</b> 将来使用する予定がなく、地表、地下、海に放出するか、第三者に委託した廃水、使用済みの水、および未使用の水の量	7億100万 米ガロン	6億9,400万 米ガロン	
<b>水消費量</b> 取水されて製品に組み込まれた水、廃水となった水、蒸発または何らかの形で放出された水、もしくは他の用途に供せない程度まで汚染された水の合計量。したがって、これらの水が地表、地下、海に放出されたり、第三者に委託されたりしたことはない	2億2,000万 米ガロン	2億1,300万 米ガロン	
<b>廃棄物<sup>1,2</sup></b>			
<b>合計廃棄物量</b> 発生した廃棄物の量。ここで、廃棄物の定義は発生時点における当該国の法律に従う	5,745トン	4,817トン	  
<b>合計非有害廃棄物量</b> 当該国の法律によって有害とは見なされない廃棄物の合計量	4,265トン	3,523トン	
<b>非有害廃棄物の合計リサイクル量</b> リサイクル、再利用、または再生された非有害廃棄物の合計量	2,214トン	1,676トン	
<b>非有害廃棄物の合計埋め立て量</b> 埋め立て処理された非有害廃棄物の合計量	242トン	219トン	
<b>合計有害廃棄物量</b> 当該国の法律によって有害と見なされる廃棄物の合計量	1,480トン	1,293トン	
<b>有害廃棄物の合計リサイクル量</b> リサイクル、再利用、または再生された有害廃棄物の合計量	223トン	284トン	
<b>埋め立て処理された有害廃棄物の合計量</b> 埋め立て処理された有害廃棄物の総量	9トン	10トン	

<sup>1</sup> アナログ・デバイセズの製造施設向け（加工、組み立て、および／または試験を含む）。

<sup>2</sup> 2023年の値は暦年で報告されています。

KPI と定義	2023年の値	2024年の値	対応するUN SDG
<b>慈善活動</b>			
<b>コミュニティ助成金</b> FY - 基金から慈善団体に提供された助成金	\$510,000	\$710,000	
<b>従業員の寄付と基金からのマッチング・ギフト</b> FY - 従業員の寄付およびボランティア活動時間と、基金からのマッチング・ギフトの組合せ	\$2,300,000	\$2,200,000	
<b>従業員のボランティア活動時間</b> FY - 従業員から報告されたボランティア活動時間数	14,500時間以上	23,500時間以上	
<b>支援した組織の数</b> FY - 基金が支援を行った各種慈善団体の数	1,300以上	~1,400	
<b>影響を受けた地域</b> FY - 基金がコミュニティ助成金の提供、寄付、ボランティア活動を行った地域の数	18	25	
<b>決算の概要</b>			
<b>収益</b>	\$12,305,539,000	\$9,427,157,000	
<b>研究開発費</b>	\$1,660,194,000	\$1,487,863,000	
<b>収益に対する比率で表した設備投資額</b>	10.3%	7.7%	

# 環境サステナビリティ

環境サステナビリティは、アナログ・デバイスのビジネスの中核をなすものです。アナログ・デバイスは、その独創性と技術力を活かして、現実の世界とデジタルの世界を結び、それによって真に重要な問題を解決できるようにすることに努めています。気候危機は世界共通の課題であり、当社は、地球をより良くするというサービスにおいて、問題解決およびイノベーションの企業文化を活用したいと強く望んでいます。

- 35 業務の最適化
- 36 環境目標の2024年における進捗状況
- 37 気候とエネルギー
- 40 水
- 43 廃棄物
- 45 生物の多様性



写真：Steven F., 米国

# 業務の最適化

アナログ・デバイスは、2050年までにネット・ゼロを達成するという計画を進めるにあたり、信頼できる気候計画においては、最も削減困難な排出に対するオフセットを検討する前に、まず排出量を削減することが不可欠であると認識しています。当社は、水の利用や廃棄物量の実務においても同じアプローチを取ります。

アナログ・デバイスは、自社の環境サステナビリティへの取り組みをどのように実現するかを示す、複数年にわたる包括的ロードマップを作成しています。2025年までに温室効果ガス排出量の大幅削減を実現するためのツールの選択は完了していますが、それでも、オレゴン州ビーバートン、ワシントン州キャマス、アイルランドのリムリックにおける合計生産能力は倍増する予定です。

水の使用量削減、埋め立て廃棄物ゼロ、GHG排出量削減に関わるアナログ・デバイスの目標達成を支えるのに必要なロードマップを決定、改善、実行するために、サイトや組織の境界を越えたチームが稼働しています。これらのチームは、データ、戦略、およびベスト・プラクティスを共有して、アナログ・デバイスの環境フットプリントを削減する計画について協力するために、少なくとも月に1回ミーティングを行っています。また、これらのミーティングにはアナログ・デバイスの工場運営、施設、およびEHSチームのメンバーが参加してこれを主導し、その監督は、製造サステナビリティ・イニシアチブに責任を有する工場のリーダーが行います。



写真：Kooi Tien C., マレーシア

# 環境目標の2024年における進捗状況

目標

進捗状況



2025年までに<sup>2</sup>アナログ・デバイス製造施設<sup>1</sup>での再生可能エネルギー使用率**100%**



59%の再生可能エネルギー使用率



遅くとも2030年までにスコープ1およびスコープ2温室効果ガスの絶対排出量を、2019年比で**50%以上削減**



38%削減



アナログ・デバイスの工場からのスコープ1の温室効果ガス排出量を2022年から2026年までに**75%削減**



43%削減



生産実績で正規化した取水量<sup>3</sup>を、2022年から2027年までに**50%削減**



28%増加<sup>4</sup>



アナログ・デバイスの製造施設<sup>1</sup>から生じる埋め立て地へ送られる廃棄物を2030年までに**100%削減**（他の処理方法に転換）



95%削減（転換）

1. 製造施設には、加工、組み立て、現地での試験を行う場所が含まれます。  
 2. すべての環境目標は、実現の期限として示された年の年末を達成基準としています。  
 3. 取水量は工場の生産実績に合わせて正規化されます。その基準と計算方法についての説明は[こちら](#)を参照してください。  
 4. 2024年には生産量が減少し、生産実績で正規化した取水量が増加しました。詳細については、レポートの[水](#)のセクションを参照してください。



写真：Mohamed K., アイルランド

# 気候とエネルギー

## アプローチ

世界的な環境上の課題は極めて大きく、あらゆる産業のあらゆる規模のステークホルダーが気候変動に対応するための役割を持っています。アナログ・デバイスも例外ではありません。アナログ・デバイスは、2050年までにネット・ゼロを実現するという目標に取り組んでいます。アナログ・デバイスの製造施設からのGHG排出量は、当社のスコープ1およびスコープ2の排出量の大部分（89%）を占めています。したがって、短期的にはスコープ1およびスコープ2の排出量を削減することに的を絞っています。そのために、以下に示す、最大の影響をもたらすコスト効率の高いイニシアチブに焦点を置いています。

- プロセスと機器の最適化
- アナログ・デバイスの世界中の製造活動を通じて再生可能エネルギーの使用量を増やす
- エネルギーの効率と保護
- 製造施設のスマート・モニタリングと制御
- 従来からの製造廃棄物の流れで循環型経済を実現

アナログ・デバイスは、下流でのアプリケーションとなる可能性のある中間的な製品を製造しており、それぞれが異なるGHG排出プロファイルを持っています。アナログ・デバイスの行動計画の重要な要素は、温室効果ガス・プロトコル

のガイダンスに合わせて、該当するスコープ3カテゴリのインベントリを作成し、計算と報告を行うことです。当社のスコープ3データは、インベントリ化されて検証されています。更に、2021年より、当社のスコープ3データは第三者による保証を受けています。スコープ3排出量を計算するため、アナログ・デバイスは、排出カテゴリに応じて1次データと2次データを組み合わせ、更に利用可能なデータに応じて複数の方法論を組み合わせで使用しています。購入物品およびサービス、資本財については、CDPの1次データとCEDAの排出係数を使用して排出量を算出しています。支出データや消費データを排出量に換算する際には、世界的に入手可能な最新の代表的な排出係数を使用しています。

2024年12月、アナログ・デバイスは、グローバル・オペレーション&テクノロジー組織による監督の下で新しい**エネルギー方針**を発表しました。この方針は、エネルギー効率の向上、省エネルギー、再生可能エネルギーの統合を通じて、当社の活動が当社施設のエネルギー性能に与える重大な影響の軽減を促進します。この方針は、すべての従業員、ならびにアナログ・デバイスのために現場で作業するすべてのサプライヤに適用されます。

### 戦略的エネルギー・マネージメント・プログラム

FY2024、ビーバートンのサイトは、Energy Trust of Oregonとのパートナーシップの下で、戦略的エネルギー・マネージメント・プログラム（SEM）の最初の年を終了しました。基本となるこの年に、担当チームは同サイト全体のエネルギー使用状況を更に深く理解し、施設拡張と6インチから8インチへのウェハ製造の移行がエネルギー使用に与える影響を評価しました。エネルギー意識と継続的改善の文化を育成することで、同サイトは一連の低コストおよびゼロコスト・プロジェクトを成功させ、年間100万kWhを超える省エネルギーを実現しました。これらの節約の多くは、パーティクル数を仕様値内に保ちながら、クリーンルームの空気の交換率を最適化することで実現されました。同チームは将来に向けて、FY2025の省エネルギー・イニシアチブの堅実なパイプラインを特定しており、その多くは既に進行中です。

### アナログ・デバイスのPFASへのアプローチ

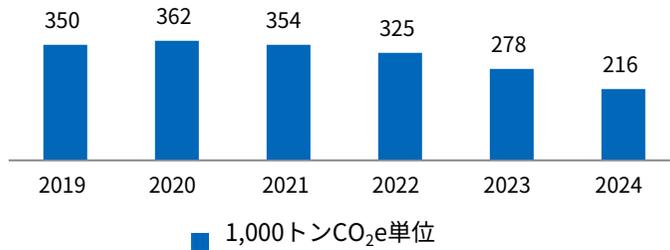
PFAS（有機フッ素化合物）は、熱、水、グリース、汚れなどに対する耐性を持つ製品を作るために広く使われている、約1,500種類の合成化学物質の総称です。産業用およびコンシューマ用アプリケーションに広く使われているPFASは、その耐久性とユニークな化学的特性から重宝されています。

半導体産業においてPFASは欠かすことのできない物質で、主に、シリコン・ウェハに複雑なパターンをプリントするフォトリソグラフィ・プロセスに使用されています。PFASを含む化学物質は、このような半導体基板へのスムーズなパターン転写を促進し、高精度で信頼できるチップ製造を実現します。残念なことに、製造プロセスにおいてPFASを貴重な存在にしている特性が、他の物質への代替を難しくしています。

アナログ・デバイスは、PFASの使用に代わる適切な代替物質を見つけるため、業界グループとの協力を続けています。アナログ・デバイスは、高い環境基準を重視する取り組みの一環として、PFASの使用、代替物質、および管理をより積極的に評価するため、2024年初頭に社内PFASワーキング・グループを設置しました。メンバーには、環境および安全衛生（EHS）、法務、運用、購買、品質、製造、およびESG部門の代表者が含まれています。このワーキング・グループの協力は生産的であり、アナログ・デバイスは講じるべき措置をいくつか確認しましたが、作業はまだ完了していません。業界およびアナログ・デバイスは、より安全でサステナブルな業務の推進に向けて取り組んでおり、そのため、各種研究機関、SIA、SEMIのFOA、および化学業界との継続的なパートナーシップは依然として非常に重要です。

# 目標達成状況<sup>1</sup>

## スコープ1+2（市場ベース）絶対排出量<sup>2</sup>



2024年、アナログ・デバイセズのスコープ1およびスコープ2絶対排出量は、2019年比で38%減少しました。これを収益で正規化すると、アナログ・デバイセズのGHG原単位は2019年比で46%減、2023年比で1.3%増となります。2024年、アナログ・デバイセズは、製造施設と製造施設以外のサイトの両方の自社排出量について、第三者保証を受けました。

アナログ・デバイセズの現在までの削減の大部分は再生可能エネルギーへの移行によるもので、これは認証済みのグリーン・エネルギーや容易に調達可能な再生可能エネルギー証書（REC）を利用できる製造施設によって促進されています。現場の太陽光パネル・アレイを利用することも、再生可能エネルギー使用率を向上すると共に、電力網への電力依存度を軽減するのに役立っています。2024年のアナログ・デバイセズの世界中の製造拠点における再生可能エネルギー使用率が59%に達し、RECを通じて18ギガワット時（GWh）の再生可能エネルギーを購入しました。

2024年、アナログ・デバイセズは、再生可能エネルギー建設プロジェクトへの投資のために、2つの再生可能エネルギー開発者との交渉を開始しました。これによりアナログ・デバイセズは、米国内での非再生可能電力消費を100%カバーするRECを取得することができ、2024年末、当社は、1つの開発者と太陽光エネルギー・プロジェクトへの資本投資に関する合意に達しました。このプロジェクトは2026年初頭に完成が見込まれており、完成後10年間にわたり、年間約150,000MWhのRECが当社に提供される予定です。

再生可能エネルギーへの移行に加えて、エネルギー効率および工程からの直接的な排出量削減に焦点を置いた排出量削減イニシアチブも、今日までの削減に寄与しています。こうしたイニシアチブには以下が含まれます。

## スコープ1および2排出原単位<sup>3</sup>（収益基準）

2024年と2023年の比較

↑ 1.3%

2024年と2019年の比較

↓ 46%

- 低排出ガス機器の使用などの製造プロセスの最適化、プロセスの改善、ガス消費量を削減するためのレシピの最適化。
- 化学蒸着（CVD）チャンバのクリーニング時に効率を改善し、洗浄時間を短縮することにより、高い地球温暖化係数（GWP）を持つフッ素系GHGをより効率的に活用するリモート・プラズマ・クリーニング（RPC）技術。2024年、アナログ・デバイセズは、CVDチャンバのインサイチュ・プラズマ・クリーニングを2026年末までにプリチャンバRPCシステムに置き換える作業を開始しました。
- 4箇所の自社ファブで、高GWPフッ素系GHGを破壊処理し、有害排出物を削減するための浄化システムを導入しました。2024年にはすべてのファブで浄化システムの設置が進み、アイルランドのリムリックとマサチューセッツ州ウィルミントンのサイトではほぼ完了しています。アナログ・デバイセズでは、2025年中にすべての浄化システムの設置を完了させることを目指しています。
- 装置のアップグレード、ビルディング・エネルギー・マネージメント・システム、エネルギー効率の高いLED照明のアップグレードなどの省エネルギー・イニシアチブ。
- 全社的なISO 50001認証（エネルギー・マネージメント・システムの国際標準）は2024年に取得しました。これにより、施設ごとに認証を取得していたこれまでのアプローチに比べ、アナログ・デバイセズのエネルギー・マネージメント・システムの効率が改善されます。2025年初頭の時点では、アナログ・デバイセズのすべての製造施設がISO 50001認証を取得しています。



## アナログ・デバイス製造施設における再生可能エネルギー・イニシアチブ

アナログ・デバイセズは、米国マサチューセッツ州、オレゴン州、ワシントン州、そしてアイルランド、マレーシア、タイ、フィリピンで自社製造施設を運営しています。当社施設における2024年の再生可能エネルギーの進捗のハイライトとしては、以下が挙げられます。

- ワシントン州キャマス、アイルランドのリムリック、およびマレーシアのパナンにある当社の工場では、100%再生可能エネルギーの使用を続けています。
- フィリピンにある当社キャンパスのすべてのビルが2024年8月までに再生可能エネルギーへ移行し、サイト全体の再生可能エネルギー利用率が100%に達しました。
- アナログ・デバイセズは、グリーン・タリフを通じて電力を購入し、タイ国内の施設を再生可能エネルギーで運用するというオプションを検討しています。

<sup>1</sup> スコープ1、2、3のGHG排出量の算出方法の詳細は[こちら](#)を参照してください。

<sup>2</sup> WRI/WBCSD GHGプロトコルによる：アナログ・デバイセズは、データ構成や計算方法の変化、排出係数や活動データの精度向上、および発見された誤差を反映するために、基準年である2019年のGHGデータとエネルギー・データを調整しています。ただし、著しい誤差が見つかった場合を除いて、過去のデータの調整は行っていません。

<sup>3</sup> レガシーADIとレガシーMaximの会計年度内総収入に基づく2019年～2021年の収益

## 将来的な削減計画

### スコープ1および2

アナログ・デバイスは、スコープ1および2の排出量を削減して、2030年の目標を達成するためのロードマップを作成しました。特に米国内における再生可能エネルギーの利用拡大への取り組みは、引き続き当社の重要な推進要因です。米国外では、既にほとんどの施設が再生可能エネルギー源やエネルギー利用契約から電力を調達しており、残りの施設についても同様の体制の整備を続けていきます。現在進行中のプロジェクトや、クリーン・エネルギー調達の推進に有効な機会を通じて、アナログ・デバイスは、自社製造サイトの使用電力を2025年末までに100%再生可能電力に切り替えるという目標を達成できるよう、努力を続けています。

更に、フッ素化GHGの直接排出量の削減は、当社のカーボン・フットプリントを削減する上で重要な役割を果たすと見込まれています。上記のとおり、フッ素系ガスの排出を削減のためにファブへの導入が進められているRPC技術に加えて、天然ガスを燃料とする浄化システムを電気駆動のシステムに置き換える取り組みも進行中です。これにより、フッ素系ガスの排出削減だけでなく、メタンの排出量も削減します。アナログ・デバイスは、将来の排出量削減に向けて、引き続き他の機会を探求してまいります。

将来の排出物削減に向けたアナログ・デバイスのロードマップは次のとおりです。

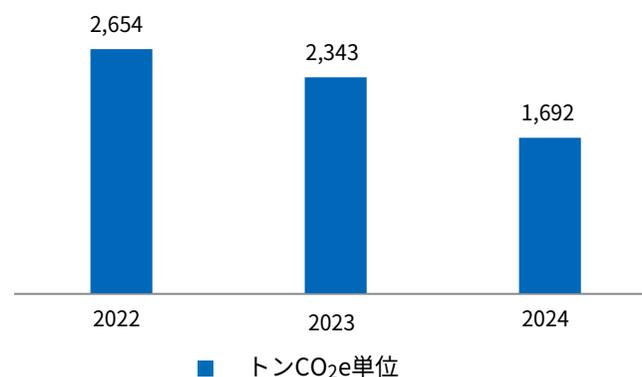
- サプライヤのグリーン・レートやグリーン・タリフを通じた再生可能エネルギー調達の継続。
- 電力購入契約（PPA）、直接投資、または再生可能エネルギー自社発電への資金供給のいずれかを通じた、新しい再生可能エネルギー建設プロジェクトの推進。

アナログ・デバイスは、当社のステークホルダーへの情報開示において、透明性と正確性を追求しています。この取り組みの一環として、2025年には、当社のビジネス・モデルが低炭素経済にどのように適応するかを示し、ネット・ゼロ目標をサポートする気候変動移行計画を公開する予定です。

### スコープ3

2024年会計年度には、アナログ・デバイスのスコープ3排出量が合計GHG排出量の約89%を占めていました。カテゴリ1の購入製品およびサービスとカテゴリ2の資本財の占める率がスコープ3排出量の85%と、前回レポートから7%減少しました。この減少は、産業およびサプライヤ別の排出係数の更新や支出総額の減少など複数の要因によるものです。FY24のレポート期間には、アナログ・デバイスが使用したスコープ3カテゴリ1および2の1次データ量が前回報告期間より増加しており、これが減少に貢献しています。

#### スコープ3排出量<sup>1</sup>



<sup>1</sup> 温室効果ガス・プロトコルに定義されたカテゴリ1から8までを含みます。アナログ・デバイスの製品は中間製品であり、多くの下流側アプリケーションに使われる可能性があるため下流側カテゴリ10~12は除いています。2022年のスコープ3の数値は、2024年に方法論の改善を反映して調整されました。詳細は、[こちら](#)を参照してください。

スコープ3排出原単位は収益ベースで0.179kgCO<sub>2</sub>e/\$でした。アナログ・デバイスは、成長環境下においても引き続き排出量の削減を重視する予定です。

アナログ・デバイスは、2050年以前のネット・ゼロ実現に向けた計画を策定するため、引き続きサプライヤと協力していく予定です。また、サプライヤ選定プロセスにおいて、より多くのESG要素を組み込む計画です。当社は、1次データのレポートや公表された目標の達成を実現できるよう、引き続きサプライヤに奨励していく予定です。

アナログ・デバイスは、サプライヤと共に二酸化炭素排出原単位の削減に取り組みながら、引き続き、信念を持って高品質かつ革新的な製品とサービスを顧客に提供し続けます。

## 非GHG排出

アナログ・デバイスの各サイトは、現地の要件に従い、非GHG排出を管理する排出許可の下で稼働しています。非GHG汚染の種類には、粒子状物質、窒素酸化物（NO<sub>x</sub>）、硫酸酸化物（SO<sub>x</sub>）、有害大気汚染物質（HAPs）、揮発性有機化合物（VOCs）が含まれます。すべてのサイトは、法律で義務付けられている場合、大気浄化システムを維持しています。更に、一部のサイトでは自主的に大気浄化システムを維持しています。浄化方法には、排気洗浄装置や揮発性有機化合物の分解などがあります。

アナログ・デバイスの各サイトでは、排出許可および現地の規制に従い、浄化システムのモニタリングを行っています。モニタリングには、排出モニタリングや浄化パラメータ（pH、流量、差圧など）が含まれます。

# 水

## アプローチ

水は半導体製造にとってなくてはならないものであり、アナログ・デバイスでは、水資源の保全と再利用の両方に真剣に取り組んでいます。自治体または地下水から供給される水量は、水質と合わせて継続的にモニタと測定が行われています。当社のコンプライアンス・プログラムの一環として、サイトの水収支によって水がどのように使用されているかを追跡し、排水の水質のモニタと測定が行われ、排水量が定量化されています。

2024年、アナログ・デバイスは、グローバル・オペレーション&テクノロジー部門が監督する全社的な[水に関する方針](#)を新たに公表しました。この方針は半導体製造活動が水資源に与え得る顕著な影響を認識し、アナログ・デバイスのUN SDG 6、すなわち「きれいな水とトイレ」、水質保全と汚染防止、取水量削減、そして世界保健機構の水・トイレ・衛生習慣（WASH）原則への取り組みを示すものです。

水の再利用と水の使用量削減のイニシアチブは、施設の組織と製造部門で指定と取りまとめが行われ、四半期ごとに上級管理職の確認を受けます。アナログ・デバイスは、水効率への取り組みの一環として、そのすべての製造サイトについてISO 46001水効率マネージメント・システムの認証を2024年に申請し、2025年初頭に認証を受けました。

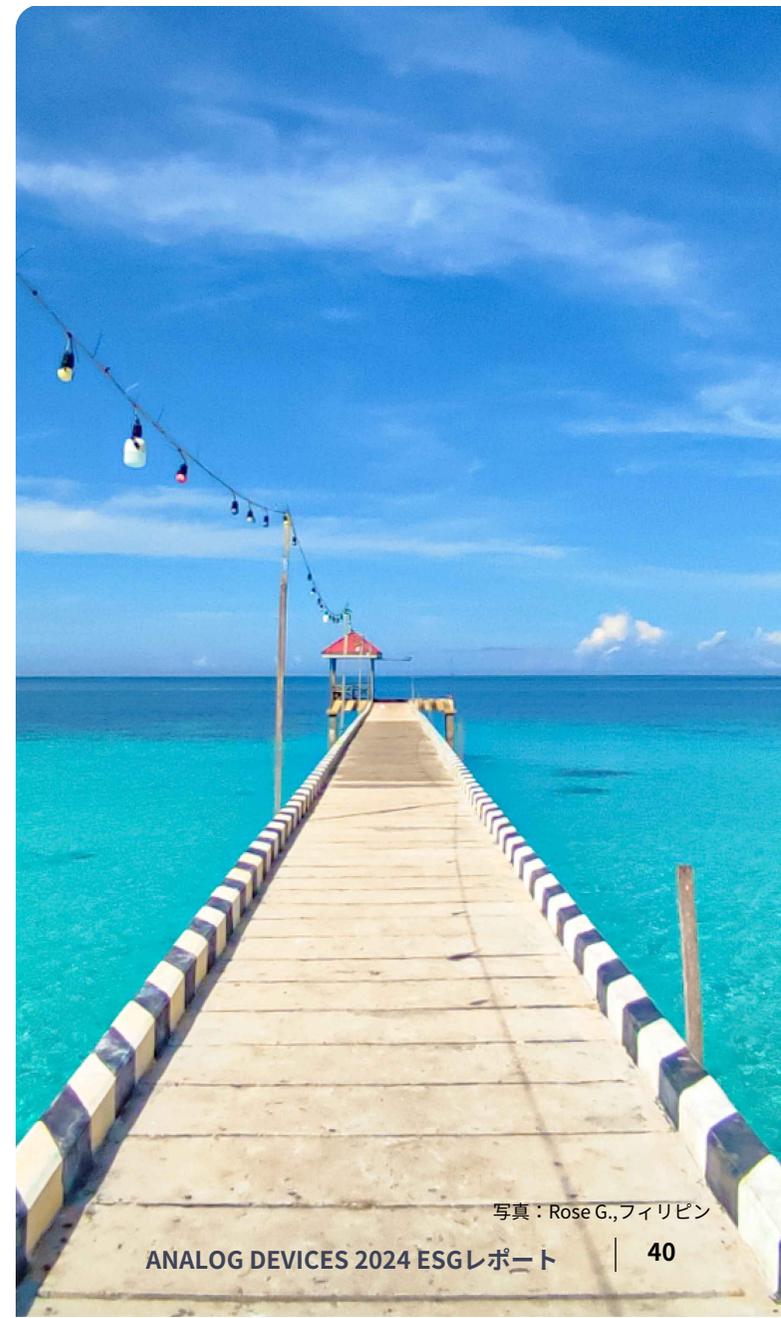
現在までのイニシアチブの多くは、施設のシステムにおける水の再利用に焦点が置かれ、排水や濃縮水は、スクラバ、冷却塔、濯水、その他水質がそれほど重要でない用途に使用されます。

また、当社の製造工程における水の使用も、水使用量削減の取り組みにおける重点項目となっています。アナログ・デバイスのグローバル事業全体にわたるプロセスおよび設備エンジニアは、製造ツールで使用される水の量を削減するプロジェクトを実施しています。特に、すすぎや洗浄に使用される水、および「アイドル・フロー」、すなわちツールの能動的な稼働とは関係のない水の使用の最適化に重点的に取り組んでいます。

更に、当社は米環境性能評価システム（LEED）のエネルギー規格やその他のビル規格に従ってビルや事業の設計を行うことを目指しています。そこには、長期にわたる水資源の保全および水資源の効率化（雨水貯留、節水器具、トイレや造園でのリサイクル水の使用など）の側面も含まれています。

排水については、当社のコンプライアンス・プログラムの一環として水量計およびサイトの水収支を使用して、排水のモニタと計測を行っています。量についても水資源の保全と効率化プログラムの一環として追跡しています。

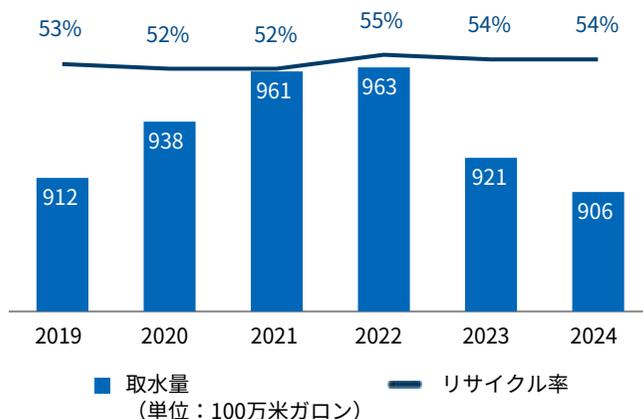
水は、地域の規制条件に従ってサイトで処理されています。ほとんどの水は、放出前にpHの中性化が行われ、その後自治体の污水处理場で処理されます。場合によっては水を分離して、フッ化物、金属、その他の排出物を別個に処理し、排水や集水の前にサンプリングを行って水質基準に合致していることを確認します。



写真：Rose G., フィリピン

# 目標達成状況

## 取水量とリサイクル率<sup>1</sup>



2024年のアナログ・デバイス製造サイトにおける水の再利用率は54%に達しました。これは10億7,300万ガロンに相当します。絶対取水量は2023年から2%減少し、当社の製造拠点全体で9億600万ガロンが使用されました。収益や生産量を基準に正規化すると、アナログ・デバイスの取水量原単位は2023年から増加しています。全体的な取水量は減少しましたが、収益と生産量の減少により、原単位は前年より増加しました。一方で、生活用水、保守、施設システムによる水の使用量は比較的一定を保っています。2024年は、新しい水プラントの試運転や新しいツールの設置が行われた過渡的な年でもありました。それでも、アナログ・デバイスは、2027年までに製造活動による正規化取水量を50%にするという目標に向けて順調に進んでいます。

次のページに示すように、2024年にはアナログ・デバイスのサイト間水削減チームとサイト別水削減チームが水削減プロジェクトの特定、共有、実行を継続しました。

2024年には、工場の各所に設置された超音波流量センサー式自動水量計が引き続きリアルタイムで水使用量のデータを提供しています。アナログ・デバイスは、リアルタイムの水流量の変化に基づいて装置を調整するなど、データを収集して分析し、更なる水使用量削減の機会を特定して優先度を定める取り組みを続けています。

水リスクを測定するために、アナログ・デバイスは、WRIの水リスク地図 (Aqueduct Water Risk Atlas) を使って水ストレスを評価しています。この評価によると、アナログ・デバイスの3箇所の製造サイトが水ストレス地域に位置しています。アナログ・デバイスは、これらのサイトを含むすべてのサイトで水の供給状況を詳しくモニタしています。

## 新たなLEED認証取得施設

2024年には、3つの施設が米国環境性能評価システム (LEED) 規格の認証を取得しました。

- フィリピン、タギッグのアナログ・デバイスのグローバル・ビジネス・サービス (ゴールド、ID+C)
- シンガポール、カランのアナログ・デバイスのシンガポール・オフィス (ゴールド、ID+C)
- ADGTビル5および6 (プラチナ、O+M) - フィリピンで既存ビルとして初めてプラチナ認証を取得した工場です。

### 取水量原単位

#### 収益基準<sup>2</sup>

2024年と2023年の比較

↑ 29%

2024年と2019年の比較

↓ 14%

#### 生産量基準

2024年と2023年の比較

↑ 35%

<sup>1</sup> 水リサイクル量に関する計算は、ISO 46001への準拠に伴い更新されました。水の再利用の定義と計算方法、および水使用量削減目標の詳細については、[こちら](#)を参照してください。

<sup>2</sup> レガシーADIとレガシーMaximの会計年度内総収入に基づく2019年～2021年の収益

## 水資源の保全

### フィリピン、カビテ

このサイトでは、ウェハ切断プロセスにおける流出水の100%をリサイクルし、処理した軟水を冷却塔で利用しています。水効率の良い蛇口も引き続き使われており、水使用の最適化に貢献しています。これらの改善により、取水量は2022年基準で19%減少しました。

### ワシントン州キャマス

アイドル・フローの削減または排除、ウェハのすすぎ回数の削減、すすぎタンクのリフレッシュ・サイクルの延長などを含め、UPW削減は引き続き実施されています。

### オレゴン州ビーバートン

このサイトでは、多くのウェット・ベンチを更新した結果、ツールあたりの水使用量が2023年より30%削減されました。

### タイ、チョンブリー

2024年、このサイトは、冷却塔にリサイクル水を使用し、エア・ハンドリング・ユニットに凝縮水を使用するなどの戦略を通じて、水使用量を削減しました。更に、冷却塔のブローダウン水はトイレや灌水に再利用されました。

### アイルランド、リムリック

このサイトではスクラバに使用する水の量を大幅に削減し、ツールのアイドル・フローも減らしました。その結果、1日あたり数千ガロンの水が節約されました。

## 将来的な削減計画

アナログ・デバイスでは水の総使用量を削減する機会の特定に取り組んでおり、特に削減に焦点を当て、再利用はその次に位置付けています。

2022年のベースラインと比較して、2027年までに取水量原単位を50%削減するという当社の目標を達成するために、製造工程における水使用量の更なる削減方法を継続的に調査していきます。当社各製造施設の水チームは引き続き水保全プロジェクトに関するコラボレーションやベンチマークを行い、サイト間チームは機会や知見を共有されるよう努めています。

水の使用量を更に管理するための取り組みには、以下が含まれます。

- ビーバートンにおける逆浸透膜およびスクラバ再利用システムの大幅な導入により、同サイトでの水再利用が拡大します。このシステムは、今後2年以内に稼働を開始する予定です。
- 放出廃水の処理およびリサイクル。
- 水再利用プロジェクトの継続的な実施。
- 当社の事業全体における水量測定の拡大。
- 最近設置されたツールの水使用効率機能の精密調整と向上。



写真：Dragan M., セルビア

# 廃棄物

## アプローチ

アナログ・デバイセズの廃棄物の大部分は、アナログ・デバイセズの製造活動や建設活動で発生していますが、化学薬品や資材の管理と廃棄は責任を持って行っています。当社から出る廃棄物の量は、調達物を制限し、廃棄物の流れを分別し、化学物質や材料をできる限り再利用、回収、リサイクルするよう努力することで削減できます。当社がリサイクルする廃棄物の例としては、ガラス、紙、金属、木材などがあります。特定の廃棄物は、エネルギー回収のために使用されます。リサイクルまたは再利用できないものは、現地の法令に基づいて廃棄しています。

各サイトのEHSチームは、重要な結果をもたらすこうした廃棄物削減またはリサイクルの活動を決定します。当社は、廃棄物の流れを更に分別し、廃棄物処理業者と連携して、廃棄物を埋め立てに送らないよう取り組んでいます。アナログ・デバイセズは、グリーン・チーム・ネットワークなどの活動を通じて従業員と共に問題に取り組み、廃棄物のリサイクルや削減の重要性についての教育を行っています。推進した活動には、適切なゴミ容器の使用、コンポストの利用、持ち帰り容器やプラスチック・ボトルの削減などがあります。

アナログ・デバイセズは、有害廃棄物の貯蔵、処理、廃棄については、現地のすべての法令に従っています。また、すべての廃棄物は適切に文書化や登録が行われています。有害廃棄物の量は追跡されており、廃棄物はリサイクルや回収が可能な場合には分別されています。有害廃棄物は、ライセンスを有する廃棄物業者によって管理され、アナログ・デバイスが監査を行っています。また、有害廃棄物の発生量を削減するため、化学的な還元の可能性を評価しています。

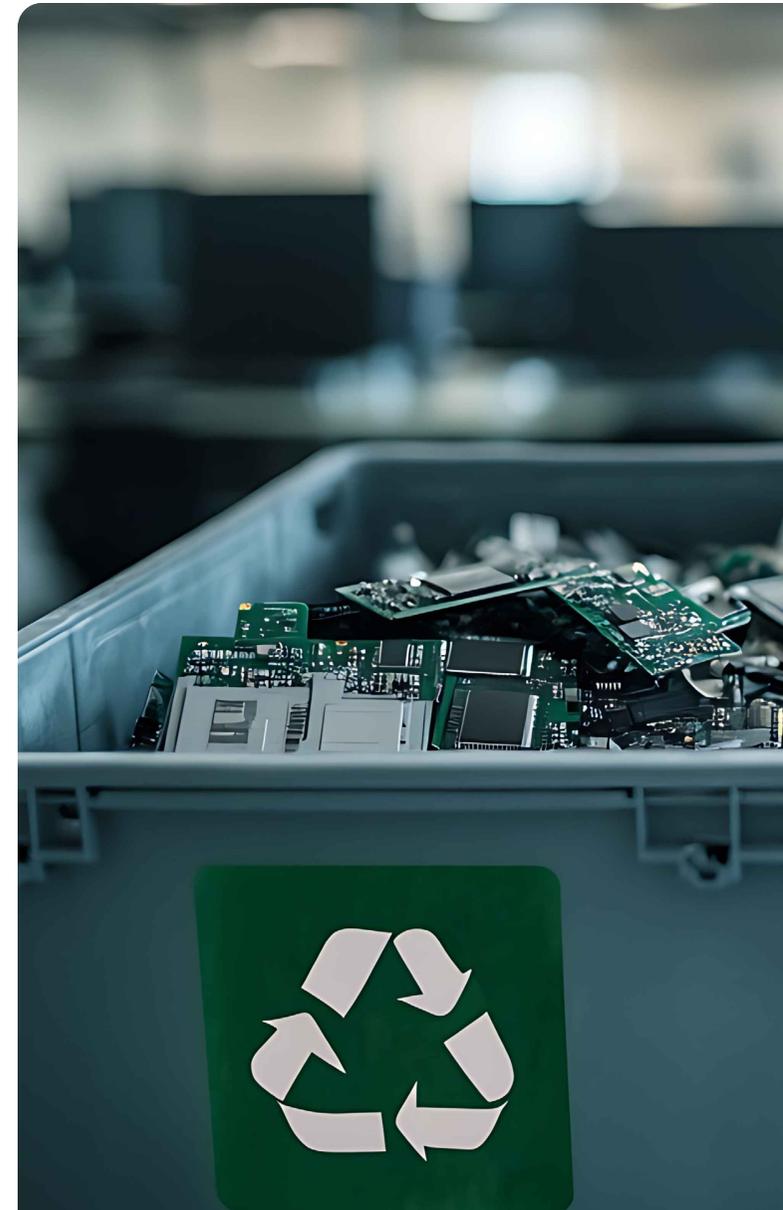
有害廃棄物は環境と公衆衛生にとって大きな懸念となります。半導体の製造には酸、溶剤、重金属などの危険な化学物質が使われますが、これらの物質は、適切に管理しないと人間の健康と環境の両方に害を及ぼすおそれがあります。

アナログ・デバイセズは、使用資源の削減、リサイクル、および適切な廃棄を含め、最善の方法で廃棄物管理を行うことによって製造活動から生じる廃棄物を最小限に抑えており、地域のすべての法令と規則に従うよう努めています。製造プロセスに使われている有毒化学物質の代替となる、より安全で環境にも優しい物質を見つけるには、継続的な研究とイノベーションが極めて重要です。

アナログ・デバイセズは、顧客が危険物質に関する制限（RoHS）指令に準拠できる製品を提供しています。

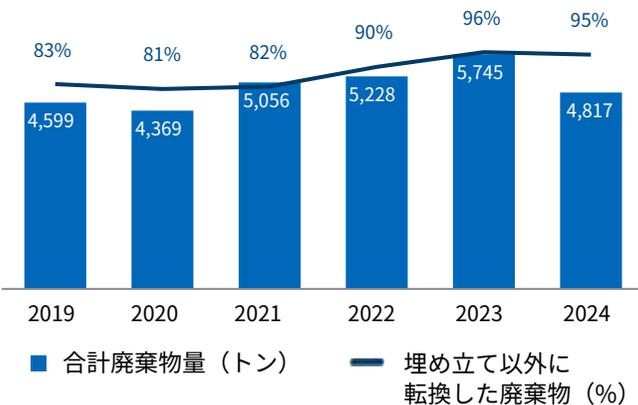
アナログ・デバイセズのRoHSコンプライアンス・プログラムの詳細については、以下を参照してください。

[RoHSコンプライアンス情報とポジション・ステートメント](#)



# 目標達成状況

## 発生廃棄物と移行率



### 廃棄物原単位

#### 収益基準<sup>1</sup>

2024年と2023年の比較  
**↑ 9%**

2024年と2019年の比較  
**↓ 9%**

2024年、アナログ・デバイスは引き続き、埋め立て廃棄物削減イニシアチブを推進し、廃棄物の分別と代替処理方法に焦点を当てました。埋め立て以外の処理方法に転換された廃棄物の割合は、2023年の96%に対して95%でした。2024年は収益が減少したものの、パッケージ、保守、オフィスなどから発生する一部の廃棄物は従来と同程度の水準で発生し続けたため、廃棄物原単位は9%増加しました。

<sup>1</sup> レガシーADIとレガシーMaximの会計年度内総収入に基づく2019年～2021年の収益

# 将来的な削減計画

マレーシアのペナンにおける食品廃棄物は、依然として埋め立て廃棄物の中で大きな割合を占めていますが、2024年も食品廃棄物を堆肥用に分別する計画、ならびに地域のサードパーティ堆肥化業者との提携を継続しています。アナログ・デバイスは埋め立て廃棄物の削減において大きな進展を遂げましたが、商業的に利用可能なリサイクル・ソリューションや処理ソリューションに課題を抱える廃棄物処理の流れについては、引き続き管理方法を模索していく必要があります。

今後実行されるプロジェクトでは、発生する廃棄物の量を最小限に抑えることに重点を置く予定です。これらの取り組みには、化学薬品の使用量削減、化学薬品の期限切れの回避、消耗部品の耐用年数の延長などが含まれます。



# 生物の多様性

生物多様性の喪失は、食物連鎖やヘルス・システムの崩壊からサプライ・チェーン全体の混乱まで、地球と人類に極めて重大な影響をもたらします。

私たちは、人間の活動が地域の動植物生息環境に影響を及ぼすことを理解しています。その影響は生物多様性を支えて強化することもあれば、阻害することもあります。アナログ・デバイスは生物多様性プログラムを開始したばかりですが、生物多様性のリスクと機会を戦略的に理解して対応するために、より多くの行動が必要であることを認識しています。アナログ・デバイスは、生物多様性を優先すべき主要項目と認識している当社のグリーン・チーム・ネットワークと協力していることを、誇りに感じています。このグループの活動は、種の識別や受粉媒介生物の増殖から、ゴミ拾い、侵略的外来種の駆除にまで及んでいます。

アナログ・デバイスは、自社の施設や活動が生物多様性に与える影響の評価を行いました。その目的は、必要に応じて各地域に適した対策を講じて影響を軽減することにあります。アナログ・デバイスは、欧州環境機関のNatura 2000保護地域ネットワーク、[ユネスコ世界遺産](#)のリスト、世界の保護および保全地域の[世界の保護地域データベース](#)などのリソースから得たデータを使用して、保護地域との近接度を追跡しました。その後、アナログ・デバイスは事業を展開する地域について、環境影響評価を実施しました。その評価に基づき、アナログ・デバイスは、生物多様性の影響を受けやすい地域またはその周辺に事業所を構えてはいるものの、当社の活動がそれらの地域に悪影響を及ぼす可能性は低いと判断しました。



## グリーン・チーム・ネットワーク

アナログ・デバイスのグリーン・チーム・ネットワーク (GTN) は、世界中の従業員を結び付け、持続可能性および環境について教育をすると共に、動機付けや能力向上を図るものです。各国および主要サイトごとのグリーン・チームには、それぞれにリーダーおよび各支部の重点分野を推進する従業員がいます。GTNは、アナログ・デバイスをより持続可能な職場にする活動と、メンバーが持続可能性を個人の生活に取り込む支援を行う活動の両方を推進しています。

以下に、2024年の活動のハイライトをいくつか紹介します。

- フィリピン：このサイトの森林公園は拡大を続けており、ボランティア・イベントの際には従業員によって新たに104本の木が植えられ、2018年の森林公園開設以来、同サイトの自生樹木や絶滅が危惧される樹木の総数は27種200本を超えました。
- アイルランドとフィリピン：2箇所のサイトで鳥類愛護活動が催されました。アイルランドでは、従業員に保護活動への支援を促すために、猛禽類に関するフォーラムが開催されました。

同様にフィリピンでは、アナログ・デバイスが自然な生息地となった鳥たちへの従業員の意識を高めるために、バードウォッチング・セッションが開催されました。

- カリフォルニアとフィリピン：アナログ・デバイスは、川と湿地帯の保護に重点を置いたコミュニティ主催のイニシアチブに参加しました。フィリピンでは、工業団地を流れるハラソ川のクリーンアップ・プロジェクトに従業員が参加し、地域組織や他業界からの参加者、コミュニティのメンバーと共に作業しました。更に、カリフォルニアのアナログ・デバイスの従業員は、次の植樹シーズンに向けた侵入植物の除去を目的とした、パロ・アルト市ベイランズ自然保護区のイベントでボランティア活動を行いました。
- フィリピン：「地球とプラスチック」をテーマとするアース・ウィーク2024が開催され、PETボトルのEcoSwapやバード・ウォッチング、写真コンテスト、Earth Race、Bike4Life、環境フォーラムなど、環境意識を高めるための様々な活動が行われました。

# 人々と コミュニティ

人々が未来を想像し、実際に形にできるような影響力ある文化を築き上げる、それが、顧客や私たちが活動するコミュニティに貢献するための取り組みです。

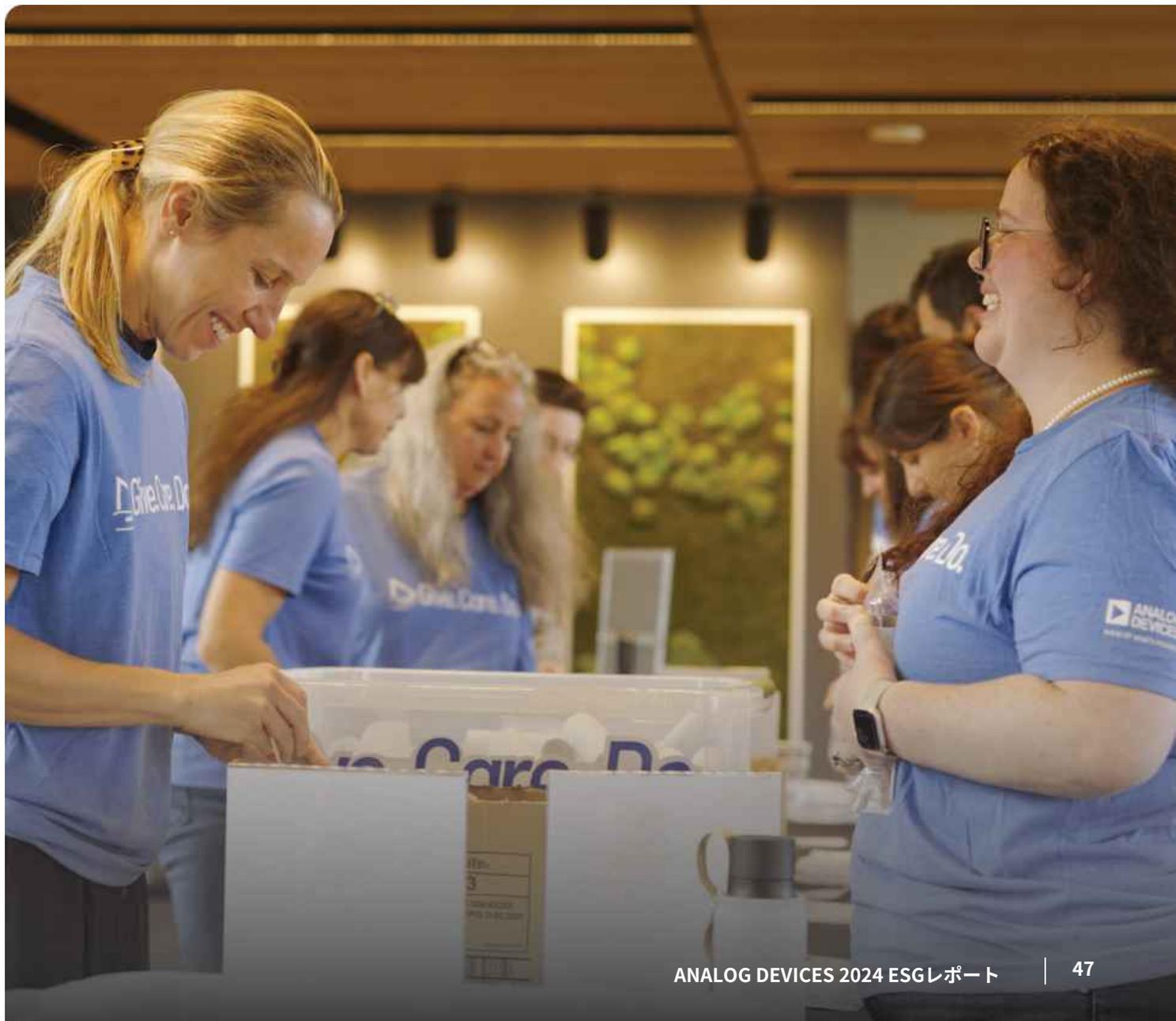
- 
- 47 アナログ・デバイセズの目標、文化、優先度
  - 52 人材
  - 58 アナログ・デバイス基金

# アナログ・デバイセズの目標、文化、優先度

アナログ・デバイセズの社内および顧客やエコシステム・パートナーとの協力的な企業文化は、当社が提供する画期的なソリューションの礎となっています。当社は、最も優秀な頭脳が価値を追及するために目指す目的地として、人類と地球、そして経済のために「Engineer Good」を標榜する、飽くなき探究心と技術力を備えた多様な人材が集まる場所となっています。

アナログ・デバイスには、イノベーション、帰属意識、学習が盛んな場所、つまり、人間が重視される場という確固たる伝統があります。連帯感、イノベーション、アジリティ、リーダーシップ、学習、コミュニティ、バランス、影響、尊重 - これらは私たちの共通言語となり、協働による行動を促すことで、世界中に広がる私たちの文化をひとつに結びつけています。

これらの価値は60年以上にわたり当社の事業の中核を成してきた理念を反映しており、次の60年に向けた成功への新たな道を切り開いています。



## アナログ・デバイスが優先する項目

### 学習文化の実現

#### 成長思考を育成し、目標達成を加速

私たちは、学習と開発の文化に対する当社の取り組みが、ビジネス成功の原動力となり、当社の大望の達成を加速させると信じています。アナログ・デバイスのイノベーションと発展を基盤に、ビジネスへの熱意を加速し、インテリジェント・エッジのリーダーとしての役割を果たします。アナログ・デバイスは、当社の価値感を従業員の経験に組み込み、メンターシップが活性化し、技術的な学びが常に最先端であり続けるようにしています。従業員は一貫して、学習をアナログ・デバイスの文化の非常に強力な要素の1つと位置付けています。

### 可能性の開発と 未来の労働力の 育成

#### 才能ある人材を引きつけ、能力を向上させ、世界で最も複雑な問題を解決する

当社は、最も優秀な頭脳が価値を追及するために目指す目的地として、人と地球のために「Engineer Good」を標榜する、飽くなき探究心と技術力を備えた多様な人材が集まる場所となっています。

アナログ・デバイスは、非常に競争の激しい人材獲得市場で優秀な人材を獲得できるよう努力を続けています。また、離職率にプラスの影響を与えるよう、離職防止と評価のための活動を展開し、市場全体よりも良い結果を維持しています。アナログ・デバイスは、すべてのレベルの従業員が自由と機会を享受し、指導を受けることで自分たちの可能性を開き、その影響力を強化できるような職場を作るために、技術者、リーダー、およびマネージャの能力開発への投資を行っています。

エンジニアリング精神、協力的な企業文化、そして世界で最も興味深く複雑な問題のいくつかに対処する能力は、卓越した技術的人材を採用し、雇用を維持するアナログ・デバイスの能力の中核を成しています。アナログ・デバイスは、社員がイノベーションと学習に必要なスキルを開発するために、あらゆるレベルと職種を通じて、時間、リソース、エネルギーを投入します。更に、将来的なスキルに対応するために、「ADI Talent Marketplace」というダイナミックなプラットフォームを継続して使用しています。このプラットフォームは、従業員が現在のスキルを確認し、習得したいスキルを識別し、学習、同僚とのつながり、就職の機会に関して、AIによる推奨を受けることを可能にするものです。管理上の必須事項、技術と業務に関するスキル開発、現在と将来の業務をリードできる従業員を育成するためのトレーニングをマネージャと従業員に提供しています。

### 受容性の醸成と 公平な機会の確保

#### 受容性への世界的なアプローチがイノベーションを推進

アナログ・デバイスには、様々な地域や背景を持つ従業員が集まっています。私たちは、アナログ・デバイスを、キャリアを築ける、暖かく居心地の良い場所とするために努力を続けています。私たちは、受容性がイノベーションをもたらすと信じています。あらゆる背景や経験を持つ最も優れた人材を集め、アナログ・デバイスに貢献することができれば、アナログ・デバイスは世界レベルの結果を実現できると考えています。

アナログ・デバイスの文化は、包括的な理解と受容性を通じて、様々な考え方や視点を持つ才能を活かし、創造性や問題解決、そしてより良いビジネス成果をもたらします。アナログ・デバイスのすべての人々に機会があるということは、傑出した人材を引きつけ、社内での人材移動や協力を促進すること意味します。

### 重要な局面での 従業員との対話

#### 従業員のフィードバックに耳を傾けて対応

アナログ・デバイスの事業は、従業員の意見に耳を傾け、そのニーズに合わせて従業員の経験を進化させることを基本としています。年間を通じ、アナログ・デバイスは従業員調査および聴取活動を行い、フィードバックを得て、職場としての会社の強みや向上の機会について理解しようと努めています。これにより、従業員のニーズを察知し、それを取り入れることで、従業員のアナログ・デバイスでの成長を支える分野に投資することができます。

## アナログ・デバイセズの エンゲージメント

過去60年間にわたって、アナログ・デバイセズはコンシューマ、工業、ヘルスケア、通信などの様々な産業分野と30を超える国々において、広範なプロブレム・ソルバーのコミュニティを形成してきました。当社は、従業員が潜在能力を最大限に発揮し、人々の生活の質と地球環境を改善するための画期的な進歩を加速させることができる、公平で受容的な環境を作り出すことを望んでいます。

企業文化とエンゲージメントが競争優位性の源となることで当社のイノベーションに勢いをつけ、成長を促進し、世界最高のプロブレム・ソルバーの獲得と雇用につながると信じています。この目標のために、アナログ・デバイス全体で有意義な繋がりを推し進め、健全で生産性の高いチームを育成することで、当社の目標、ビジョン、戦略、価値を従業員の日々の業務と一致させることを目指しています。当社が正しい方向に向かって進み、価値を体現していることを確認するため、従業員エンゲージメントを測定し、従業員の経験を向上させるための意見を求めています。

エンゲージメントとは、アナログ・デバイスに良い成果をもたらすために、従業員が個人の時間とエネルギーをどれだけ費やしているかを表すものと考えています。従業員が成長のために必要なものを確実に得られるよう、アナログ・デバイセズは毎年、アナログ・デバイセズのエンゲージメント調査を実施しています。また、短期間の調査、タウン・ミーティング、円卓会議などを活用して、重要なテーマを掘り下げ、主要な取り組みの進捗を確認しています。当社は、エンゲージメント、従業員がアナログ・デバイセズを推薦する意向、就業時の全体的な満足度などの指標を毎年測定しています。

2024年の調査では、従業員の93%以上が参加しました。従業員からは、従業員体験全体を向上させ、会社をより良い環境にするための主要な分野をより深く理解し、リーダーシップに助言を提供するためのコメントや提案が17,000件以上寄せられました。正直なフィードバックと匿名性を確保するために、当社のベンダーであるGlintのセキュリティおよび匿名性閾値を利用しているため、コメントから個人を特定することはできません。

このフィードバックの結果として、当社は、更にその価値と行動を従業員の経験に組み込むために、複数年にわたる全社的なプログラムを展開しています。これには、従業員が、パーソナライズされたスキルベースの学習推奨、職務機会、現在のスキルと習得したいスキルに基づいた同僚とのつながりを調べることのできるデジタル人材市場；マネージャが、アナログ・デバイセズの価値感と、マネージャ育成の最前線でリーダーとして最高レベルの行動を身に付けるための「Leading ADI Forward」ワークショップ；アナログ・デバイセズの期

待に基づくトレーニングを受けた能力開発コーチとして機能する新しいAIコーチング・アシスタント；ソフトウェア、デジタル、AIとコア・エンジニアリング、専門的能力の分野における重要なスキルアップを加速するための新しい学習プログラムとデジタル・プラットフォームへの投資が含まれます。



## 受容性によるイノベーションの推進

考え方の違いなど、あらゆる形態の多様性はビジネスを支える要素であり、技術系企業においては特に重要です。これが、アナログ・デバイスが最先端を維持し続けている理由です。私たちはあらゆる角度を考慮し、周囲の状況に目を向け、共に前進を続けています。

この分野におけるアナログ・デバイスの戦略は3つの原則によって定義されます。

1. **受容的な文化**：多様な視点を活用し、創造性、問題解決、より良いビジネス成果を推進する。
2. **すべての人に与えられる機会**：傑出した人材を引きつけ、全社にわたる内部的な人材移動と協力を促進し、組織全体において多様性がもたらす価値を最大化する。
3. **公平な手法**：従業員が目標に向かって努力し、可能性を最大限に発揮できるように、透明性と公平性を備えた人材管理プロセスを確立する。

私たちの目的は、人々の健康と地球の環境を改善することです。これは、アナログ・デバイスで働く私たちが所属するコミュニティにも利益をもたらす責任があることを意味します。当社は、STEM教育の機会を増やすための取り組みを行っている組織への支援を重視しています。

当社の業務は長期的な取り組みを必要とし、ノルマや、企業を本当に強くするための業務を避けた安易な解決策は採用していません。

アナログ・デバイスは、そのステークホルダーのために自分たちのアプローチと透明性への取り組みを続け、今後もこれまでどおり、進捗のレポートを続ける予定です。

### 着実な進歩

- アナログ・デバイスの女性管理職の割合は世界で25%に増加し、女性技術者の割合は22%に増加しました。
- 米国では、EEOCカテゴリに基づいて民族別の割合を算定しています。

	FY21 (実際の値)	FY22 (実際の値)	FY23 (実際の値)	FY24 (実際の値)
女性管理職	23%	25%	25%	25%
女性技術者	20%	21%	22%	22%
黒人、 ヒスパニック、 ラテン系従業員 (米国のみ)	6%	7%	7%	7%



## 従業員ネットワークを通じた従業員の参画

世界中で数千名のメンバーを擁するアナログ・デバイセズの従業員ネットワークは、コミュニティの育成、プロフェッショナルな成長の加速、組織の方針に影響を与えることに取り組んでいます。これらの従業員主導のグループは、すべての人に開かれており、職場でのつながりを助け、コミュニティの形成を促進しています。このように、私たちは共に学び、成長し、互いを尊重しています。

多くのネットワークには正式なリーダーシップ・チームがあり、アナログ・デバイセズはエグゼクティブ・スポンサーとしてそれらを支援しています。当社のネットワークは、職業的成長、つながり、創造性、そしてイノベーションを支えています。

当社では現在、多様性に関連して6つのネットワークが組織されています。

- Analog Veterans Network (アナログ退役軍人ネットワーク、AVN)
- Neurodiversity Network (ニューロダイバーシティ・ネットワーク)
- People of Color and Allies (有色人種と支援者のネットワーク)
- Pride Network (プライド・ネットワーク)
- Women's Leadership Network (女性リーダーシップ・ネットワーク)
- Young Professionals Network (ヤング・プロフェッショナル・ネットワーク)

## コミュニティ・アウトリーチとパートナーシップ

大学との密接なパートナーシップは、アナログ・デバイセズのアプローチの特徴です。次世代のイノベータによる研究開発を大学と協力することにより、アナログ・デバイセズは共に最先端技術に取り組んでいます。

これには、歴史的に黒人学生向けに設立された大学 (HBCU) との連携やノース・カロライナA&Tで行われている研究プロジェクトへの資金援助が含まれており、学生が研究とイノベーションに専念できる環境を提供しています。

2024年、アナログ・デバイセズは優秀な人材を探すため、全国規模で開催されるいくつかの大規模なプロフェッショナル・イベントに参加しました。その中にグレース・ホッパー・セレブレーション (Grace Hopper Celebration) があり、そこで当社は、「Be Our Guest at Grace」(グレースに参加しよう) と銘打って、60名の技術系女子学生をゲストとして迎え、Anita B.orgが主催する女性技術者向けの年次カンファレンスへの参加を支援しました。また、女性技術者協会やヒスパニック系専門技術者協会とも積極的に交流しています。

プライド月間を記念して、マサチューセッツ州の従業員は、同じ技術者仲間たちと集まり、互いのつながりとサポートを深め、今後の業務に向けて新たな活力を得ることができました。このOut in Techとの合同イベントは、LGBTQ+コミュニティのメンバーにとって安全な居場所を作ることを目的として企画されました。



# 人材

## 人材の獲得と離職防止

アナログ・デバイセズでは、人材に投資し、その人材がこの世界をより良い場所にするためのソリューションに貢献できるよう支援しています。その取り組みには、世界中から創造的な問題解決者を獲得し雇用することが含まれます。

### コミュニティにおける優れた人材の獲得

アナログ・デバイセズの人材獲得戦略は信頼性の高いデータ主導型の手法に基づいており、ダイナミックな労働市場を包括的に理解することを可能にしています。多様かつ競争の激しい環境における独自の課題を認識し、適応性があり、的を絞ったアプローチを洗練させてきました。当社の各地域の採用チームは、それぞれの地域市場の微妙な違いを深く理解することで、トップクラスの人材を引きつけるために、教育機関、業界団体、コミュニティ・ベースのプログラムとの生産的な関係性を構築することが可能となっています。こうしたパートナーシップは、非常に専門的な分野での求職者の獲得において重要な役割を果たしており、豊富な専門知識と見識を活用すると共に、当社が活動しているコミュニティを反映することを可能にしています。

### 新規採用への取り組み

アナログ・デバイセズは、次世代のイノベータを育成し、雇用することに積極的に取り組んでいます。FY2024に、アナログ・デバイセズは世界中で約673名のインターンと研修生を迎え入れ、実務経験を通じて多くの人材を育成し、雇用への道を開きました。これは、次世代の能力開発に対する当社の重視を反映しています。

### 働きがいのある企業づくり

アナログ・デバイセズは、光栄にも以下の賞および評価を受けました。

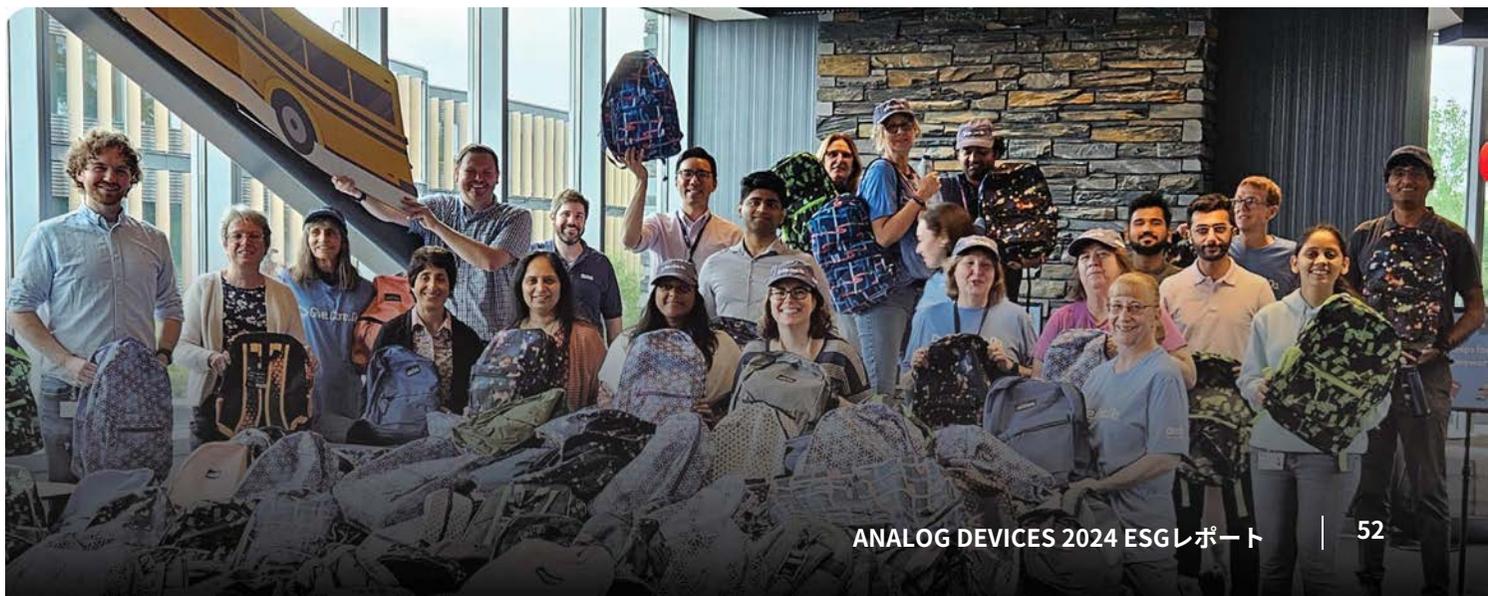
**Best Places to Work 2024**  
Glassdoor

**America's Best Large Employers List for 2024**  
Forbes

**Top Performer on Employee Wellness and Workforce Composition**  
JUST Capital's JUST Job's Scorecard

**Top Places to Work 2024**  
The Boston Globe

アナログ・デバイセズは、最高の人材が集まる場所となるべく取り組みを続け、従業員が成長できる環境の整備を進めています。当社の自主退職率は市場平均を下回っており、FY2024では、AI/ML、デジタルといった重要分野における人員増加を実現し、引き続き中核となるアナログ機能の強化に注力しています。新規雇用者の50%近くは若手専門職であり、これは次世代の人材育成に対する当社の取り組みを反映しています。



## 人材開発

アナログ・デバイセズの文化は、顧客の厳しい課題にイノベーションをもたらして解決する、生涯学習者と純粋な好奇心が原動力となっています。当社は、その好奇心を機会と連携させ、従業員にその学習意欲に合致する教育経験を提供し、能力を新たなレベルに発展させることができるようにすることに取り組んでいます。体験学習プログラム、協調学習プログラム、そして正式な学習プログラムの組み合わせを通じ、従業員は各自の興味を追求し、新たなスキルを習得できます。このスキルは現在必要なものを身に付けると共に、将来に備えるものでもあります。

### あらゆる人のための学習

アナログ・デバイスで学ぶ人には選択肢があります。エンジニアリング、営業、業務、および人事部門の育成チームが一体となり、迅速な研修の修了、能力の向上、管理スキルの習得、そしてより複雑な役割への備えを支援する取り組みを提供しています。

アナログ・デバイセズは、従業員に対して、特定の項目に関するトレーニングを要求するためのメカニズムと、その分野のエキスパートが提供できるトレーニングを提案するためのメカニズムの両方を備えています。

また、トレーニングのニーズを評価し、潜在的な受講者とその管理者について調査をするために、当社の人材に関わる世界中のビジネス・パートナーと定期的なやり取りをしています。更に、アナログ・デバイセズのイントラネットを通じてアクセスできる学習と開発のウェブサイトでは、従業員がデータベースにトレーニング要求を送ることができます。これらの要求は、需要と、自社の戦略的ロードマップに与える影響に基づいて優先順位付けされます。これらの要求と調査の結果に基づいてコースの内容を見直すことで、一連の学習プログラムが、従業員から要求の多いトピックに合うようにしています。

各種のコースは、対面での指導、自分のペースに合わせたデジタル・コンテンツ、あるいは新たなハイブリッド・アプローチなど、様々な形態で提供することができます。ハイブリッド・アプローチでは、カリキュラムに基づく教材の確認とデモで構成されるプログラムの全期間を通じて、インストラクターやメンターとの定期的なミーティングによってデジタル学習の補強が行われます。コースの所要時間は、数分から数ヶ月まで広い範囲にわたっています。そのため、従業員は自分のニーズに最適な内容を選ぶことができます。

アナログ・デバイセズは、充実した教育コンテンツを提供しています。当社の従業員は、各自のニーズに応じた複数の技術プログラムおよびソフト・スキル・プログラムを利用することができます。アナログ・デバイセズの学習者は、学習開発チームが提供する教育コンテンツに、合計で209,941時間を費やしました。

### 未来のエンジニアリング・スキルを築く

エンジニアリング・スキルのセットと、アプリケーション・スペースに関係する基本概念の両方についての理解を拡大するために、アナログ・デバイセズは、スキルベースの指導を行うと共に、実践のためのコミュニティを作ってきました。スキルベースの指導は、チーム・メンバーが習得したスキルを顧客から提示された問題に応用しながら、様々なグループで作業することを可能にするための基礎となります。

実践のためのコミュニティは、スキルを応用するアプリケーション・スペースに関する詳細な背景を提供します。産業用通信における組み込みプログラミングは、例えばオートモティブ・アプリケーション用の組み込みプログラミングと同じではありません。このコミュニティは、様々なアプリケーション・スペースにこれらの新しいスキルを適用する方法についてのメンタリングと例を提供する、その分野における上級レベルのエキスパートが主導します。更に、同様のスキルを持つチーム・メンバーの世界的なネットワークが、協力と連携の機会を生み出します。これらのネットワークは、その分野における上級レベルのエキスパートによって管理されます。このアプローチは、各人のプロセスや専門知識に基づいてトレーニングを設計し、提供する人々を力強くサポートします。

アナログ・デバイセズは、AI、ML、およびソフトウェアに関するスキルベースのトレーニングと並行して、ツールに関するトレーニングを組み込むことにより、トレーニング内容を強化しました。新しい技術を効果的に活用できるようにするため、アナログ・デバイセズはインストラクター主導による集中的なトレーニング・セッションと、自分のペースで学べる複数のeラーニング・プログラムを提供しています。この包括的なアプローチにより、チーム・メンバーはこれらの先進的ツールを完全に理解し、最大限に活用できるようになります。



## 学習と協力を通じた イノベーションの推進

アナログ・デバイセズのゼネラル・テクニカル・カンファレンス（GTC）は、40年以上にわたって当社の技術者をポストンに集結させてきました。現在ではハイブリッド型のバーチャル・プログラムを活用して、地理的な距離や経験レベル、技術分野の垣根を超えてアイデアの共有、学習、育成を行っています。この代表的な学習イベントは、イノベーションとスキル開発の原動力の中心となる中心的な役割を果たしており、数十カ国から約2000名の従業員が参加し、アナログ・デバイセズの歴史に残る深い学びの1年を支えています。数千名以上の従業員もオンラインで視聴することができました。

## モバイル・セールス従業員の ニーズへの対応

アナログ・デバイセズのセールス・チームも、学習と好奇心の文化から恩恵を得ています。世界中から毎年、1,000名以上のフィールド・アプリケーション・エンジニア、フィールド・セールス・エンジニア、およびカスタマ・サポート担当者が集まり、活気に満ちた集中トレーニング・カンファレンスが開催されます。このカンファレンスでは、110の個別トレーニング・セッション、36のワークショップ、そしてアナログ・デバイセズとパートナーによる95のハードウェア、ソフトウェア、ソリューションのデモが行われます。

## 卓越性の追求と問題の解決

人材を開発して改善を推進し、卓越性を通してより高い顧客価値を提供するというアナログ・デバイセズのグローバル・オペレーション&テクノロジー・チームの使命は、常に変わりません。クオリティ・カルチャー、分析、科学的な問題解決手法に関する従業員スキル開発プログラムの設計と提供を通じて、リーン・シックス・シグマおよびアジャイル手法、スマート・マニュファクチャリング、技術革新、システム設計、高い品質標準をベースとして、組織は成長を続けています。戦略展開、製造面のレジリエンス確立、生産の最適化といったトピックを含む「Enterprise Excellence at ADI」は、イノベーション、バランス、継続的改善からなる組織の文化を強化します。学習の例としては、科学的な問題解決、製品

開発プロセス、製造欠陥の排除、体系的な根本原因分析、顧客中心の体系的改善などが挙げられます。バーチャル、オンデマンド、対面を組み合わせた学習とコーチングを提供することにより、従業員はこれらの学習プログラムに都合の良い方法でアクセスできるようになり、各自の勤務スケジュールや地理的条件に合わせて利用できるようになりました。アナログ・デバイセズは、製造サイト向けに、職場の安全、監督スキル開発、データ分析、技術的な機能スキル開発に関する専門的な新入社員向けトレーニング・プログラムも提供しています。例として、故障分析、信頼性、品質マネージメント・システム、コンプライアンスおよび規制機関の認証、機器の操作、製品開発プラットフォーム、責任ある資源調達、材料検査、品質保証などがあります。

## キャリアのチャート化

アナログ・デバイセズでのキャリアには多くの経路があります。従業員が様々な機会の中を進む助けとなるよう、当社にはADIメンタリング・プログラム（AMP）があります。FY2024には823名のメンターが1,231名のメンティーをサポートしました。このプログラムは、専門性、個人の関心、経験レベル、およびいくつかの個人的性質に基づいて参加者を結び付けます。構造化されたプログラム設計により、参加者はガイド、マイルストーン・トラッカ、およびリマインダにアクセスできます。AMPは、従来の各種メンタリング・プログラムの成功を受け継ぎつつ、ヤング・プロフェッショナル・ネットワークおよび女性リーダーシップ育成プログラム向けに、よりターゲットを絞ったメンタリング・プログラムです。

アナログ・デバイセズが提供するトレーニングは、チーム・メンバーがその知識ベースを広げることと、アプリケーション・スペースと市場に関する理解を深めることの両方を可能にします。スキル・トレーニングは、問題を解決してソリューションを見つけるためのツールと能力があることを知らせ、チーム・メンバーに自信を持たせます。実践からなるコミュニティと、メンタリング・プログラムを組み合わせることで、チーム・メンバーは、会社、チーム、問題を解決するための新しい方法など、様々な部分を知ることができます。



## 企業リーダーの育成

2024年12月、アナログ・デバイセズはハーバード・ビジネス・スクールのStefan Thomke教授と協力し、リーディング・イノベーション・プログラムという3日間のイニシアチブを主催しました。このプログラムは、持続可能な成長を推進するためのツールを主要リーダーに提供することを目的としています。このプログラムでは、革新的な思考の育成、戦略的リーダーシップ、そしてアナログ・デバイセズのVision2030に沿った実行可能なプランに焦点を当てました。この分野の上級リーダーは、協力的なディスカッションとブルー・オーシャン思考を活用することによって、障壁を取り除き、成長のための新たな機会を切り開く力を得ることができました。この未来志向のアプローチは、AI、デジタル、アナログ、およびソフトウェアにおける当社の専門知識を活用し、絶え間なく進化する市場をアナログ・デバイセズがリードして、長期的な成功を確実にする上で非常に重要です。この共有経験から得た洞察は、次世代の革新的な製品や技術、そしてビジネス・モデルを形作る上で重要な役割を果たします。

## 報酬と福利厚生

アナログ・デバイスは、知識ベースの企業として、従業員のスキル、専門性、経験が会社全体の成功につながる唯一かつ重要な要素であると考えています。テクノロジー分野での人材獲得競争は世界中で熾烈を極めています。運営および財務の優れた実績を継続するために、当社の総合的な給与パッケージは、同業他社と競争力のある報酬パッケージと、世界中の従業員のニーズに応える福利厚生とを通じて、優秀な人材を引き付け、応募の動機付けとし、それらの人材が採用後も定着するように考えられています。

### 報酬

アナログ・デバイスのグローバルな業務構造は、人事プロセスとプログラムをより効果的に支援し、優秀な人材を引きつけて能力を開発し、意欲を喚起するだけでなく、様々なビジネス・ユニット、職種、地域間での人材異動が可能となるように考えられています。これは、キャリアの開発と進歩向上に関する透明性を高める助けにもなります。この枠組みは市場動向との整合性を提供し、当社が基本給に加え、コーポレート・ボーナス・プランやセールス・インセンティブ・プランなどの成果に基づく報酬を含む、市場競争力のある報酬パッケージを提供できるよう支援します。更に、専門家レベルの能力を有する一部従業員には、株式報酬を受ける資格があります。成果に応じた支払いは、当社の報酬に対する考え方の主要な要素となるものです。CEOから現場の作業者に至るまで、すべての従業員は、コーポレート・ボーナス・プランかセールス・インセンティブ・プランのどちらかに組み込まれます。アナログ・デバイスのコーポレート・ボーナス・プランとセールス・インセンティブ・プランは、当社の収益および業績上の目標に従った従業員の報酬とリンクしています。これは、すべての従業員が同じ目標の実現に向けて努力すれば、卓越した素晴らしい成果へ向けた共通の意欲が生まれると考えているからです。

当社は、報酬プログラムを少なくとも年に一度見直しており、この見直しには、事業を展開しているすべての地域の市場データとの詳細な分析が含まれています。これにより、当社の報酬プログラムが競争力を維持し、適切であることが確認されています。

株式購入資格のある従業員は、従業員株式購入プランを通じて、割引価格でアナログ・デバイスの株式を購入できるようになりました。このプログラムへの参加率は現在、世界で65%近くに達しており、社内のあらゆるレベルに、自社への帰属意識と、自社を所有しているという意識を生み出しています。

また、アナログ・デバイスの業績と成功に対する重要な貢献を行い、期待以上の成果を上げた従業員を評価するために、様々な認定プログラムが用意されています。これは当社の文化の一部であり、2024年には世界で19,000件以上の認定事例が記録されています。

### 平等な賃金

アナログ・デバイスは、性別、人種、民族に左右されない公平な報酬を提供できるよう尽力しています。目標は、役職、就業場所、経験、在職期間、能力などの要素を考慮した上で、同様の仕事をした従業員については100%平等な賃金を実現することです。アナログ・デバイスは、従業員が社内の新たな機会に加わり、離れ、異動するダイナミックな組織です。そのため、当社では、同様の業務を行っている世界中の従業員について賃金の平等性を定期的に評価し、必要に応じて調整を行っています。賃金の平等に関する社内的手段に

加え、サードパーティによる評価ツールを使用して、統計的見地からの評価も行っています。世界的に、アナログ・デバイスは賃金の平等性を維持し続けており、同様の職種における男女の賃金差は2%未満です。最近では、アナログ・デバイスは、アメリカにおいてマイノリティと非マイノリティ間の賃金差を1%未満に抑えました。当社では、基本給、ボーナス、株式報酬を含む総合的な報酬を考慮しています

### 生活賃金

アナログ・デバイスは、従業員への正当な報酬の支払いに取り組んでおり、すべての従業員に生活賃金を支払うよう努めています。この種の評価を行うために広く利用されているツールがいくつかあります。アナログ・デバイスは、WageIndicatorを活用しています。このツールは、年次評価を行う際に世界中で使用できる共通の基準を提供しています。

このフィードバックを基に、アナログ・デバイスは生活賃金の評価に関する継続的な方法論を採用し、市場の標準やベスト・プラクティスに従って、公正な賃金が支払われるようにしています。



## 福利厚生

アナログ・デバイセズは、従業員の身体的および精神的な健康と、財政的な健全性を実現する福利厚生プログラムによって従業員を支援し、より健康で幸福な生活の助けとなることを誇りに思っています。当社は、世界中の従業員に福利厚生を提供しています。福利厚生プログラムは国によって異なり、当該国の法令と規則に従いながら、世界中の従業員のニーズの変化に合わせて定期的に見直しが行われています。

アナログ・デバイセズは、包括的医療保障、短期的および長期的な就業障害給付、生命保険および事故保険、年金制度、有給休暇を始めとする様々なプログラムを世界中で提供しています。

更に、従業員が業務や生活の流れの中で、時には柔軟に対応する必要があることを理解しており、そのような状況に対応できるよう、様々な休暇プログラムを用意しています。例えば、アナログ・デバイセズは、誕生したばかりの子どもとの絆を深める時間を両親に提供することが重要であると確信しています。当社の育児休暇は国によって異なり、多くの場合は法的規制の対象となっています。

アナログ・デバイセズの柔軟な就業ポリシーは、流動的な就業環境に対応し、柔軟なオプションを提供することによって従業員を支援します。また、ハイブリッド・モデルは、出勤とリモート勤務を柔軟に組み合わせる働き方（3日出勤して2日リモート）、フレックスタイム制を選択したりすることによって、従業員の柔軟な勤務を実現します。対面での協力が不可欠であることに変わりはありませんが、モバイル技術、多くの作業活動の性質、炭素排出量削減に対する責任を踏まえ、仕事を行う場所と時期に関する柔軟なアプローチが必要であると考えています。

### 米国内における福利厚生の概要

アナログ・デバイセズは、医療保障と歯科および眼科への保険適用、401(k)の企業拠出とマッチング拠出、有給休暇、および従業員支援プログラムを含む福利厚生プログラムによって、米国内の従業員を支援しています。

当社の401(k)プランは他社と比較しても高い優位性を備えており、会社の基本拠出分は払込額の5%で、これに最大3%のマッチング拠出が加わるので、会社拠出分は最大で8%になります。経済的な健全性は、総合的な生活の質の維持に寄与するものと考え、当社の401(k)プランは従業員とのパートナーシップを促進し、従業員の将来に対する貯蓄を支援します。

### APACとEMEAにおける福利厚生の概要

アナログ・デバイセズは、法定福利厚生に加えて、広範な補足的福利厚生プログラムを提供することによってアジア太平洋 (APAC) および、欧州、中東、アフリカ (EMEA) 地域の従業員を支援しています。これらのプログラムには地域の市場慣行に従って、以下の項目が含まれています。

- 補足的な医療保障と歯科および眼科への保険適用
- 年次健康診断
- 補足的な定年退職金制度
- 収入保証保険
- 身体障害保険
- 生命保険
- 教育支援、学費補償
- 従業員支援プログラム
- 交通手当、食券、休日出勤手当などの給付と手当
- 追加年次有給休暇、病気休暇、育児休暇など
- 病気、出産、養子縁組、育児休業などの休業期間中の法定給付を超える補償給付
- ウェルネス活動、ファミリー・デー、ピクニック、毎年恒例のパーティなどの従業員クラブ活動。

## 米国内における追加的な福利厚生プログラムのハイライト

- 6週間の全額支給、性別に関係ない育児休業給付（出産、養子縁組、里親受託が対象）
- 出産により就業できない両親のための10週間の有給療養期間
- アナログ・デバイセズのUnitedHealthcare医療オプションを通じた手厚い不妊治療給付と、Kaiser HMOの製品を通じて追加した不妊治療給付
- ジェンダー・アファーマーニング・ケアへの医療保険適用
- 基本給があまり高くない従業員の健康保険負担を改善する年間基本給ベースの医療保険料
- 週当たり20時間以上の勤務を行うパートタイム従業員に対する医療保険などの福利厚生
- 医療訪問とメンタル・ヘルス訪問両方の仮想訪問
- 商品購入に対する補助、ギフト・カード、チャリティへの寄付を含む、より健康なライフスタイルのためのガイダンス、リソース、サポートを提供する福利厚生プログラム
- アナログ・デバイセズの従業員支援プログラムの下で問題ごとに行う6種類の秘密無料カウンセリング・セッション
- 養子縁組の資金援助（最大\$10,000）
- 10日間の育児および介護援助休暇、Bright Horizonsを通じた指導支援
- 従業員およびその家族が教育の継続を希望する場合の無料カレッジ・コーチング・サービス
- フィットネス費用補償と主要事業所の無料オンサイト・ジム施設
- 養子縁組、遺産相続、住宅および不動産、高齢者介護問題、ID盗難などに関する法的サービス

# 96%

の米国内従業員がアナログ・デバイセズの401(k)プランに参加

# アナログ・デバイスズ基金

## 地域とのつながり

私たちは、従業員エンゲージメントやコミュニティ投資などのイニシアチブを社会貢献の拡大へ向けるために、アナログ・デバイスズ基金を創設しました。これらの取り組みを通じ、アナログ・デバイスズは、事業を展開し従業員が生活する世界中の地域社会に対して一層の貢献をすることができます。



# アナログ・デバイスズ基金

## アウトリーチ活動

2020年に創設されたアナログ・デバイスズ基金は、アナログ・デバイセズの従業員が生活し働く、世界中のコミュニティを支援しています。国連の持続可能な開発目標に則り、当基金は環境保護、教育機会の向上、社会変革の促進という使命を推進する慈善団体を支援しています。この基金はマッチング・ギフトを通じて従業員と認定非営利団体の関わりを支援していますが、これは、従業員がボランティア活動に費やした時間と金銭的な貢献の両方が対象です。また、従業員には、以下の重点分野に沿ってアナログ・デバイセズの社会的影響を増大する可能性がある地域の慈善団体を提案することも奨励しています。

アナログ・デバイスズの使命 地球と人類のために、技術によって持続可能な未来を創造する

### 2024年度の財務および実績のハイライト

**\$710,000**

コミュニティ助成金

**\$220万**

従業員の寄付と基金からの  
マッチング・ギフト

**>23,500**

従業員のボランティア  
活動時間

**約1,400**

非営利団体の  
受益者

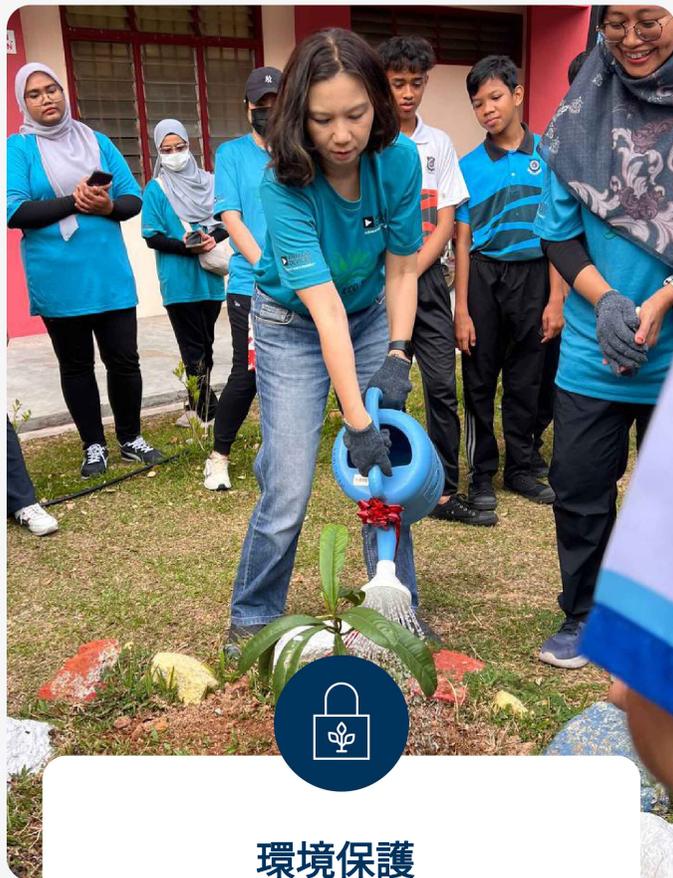
**25**

従業員からの寄付金を  
受け取った地域

### FY2024に寄付を行った地域



## 重点分野



### 環境保護

アナログ・デバイセズは、炭素排出量削減、水の保全と廃棄物削減、海洋保護、再生可能エネルギー源促進の助けとなるイニシアチブを支援しています。



### 教育の機会拡大

アナログ・デバイセズは、高品質のSTEM教育や就職の機会へのアクセスを広げる取り組みを支援すると共に、サービスが不十分なコミュニティが必要とする進歩と繁栄のためのツールを提供しています。



### 社会変革の促進

アナログ・デバイセズは、コミュニティの問題解決、貧困撲滅への取り組み支援、健康と福祉の促進に向けた革新的なソリューションを活用した取り組みを支援しています。

## 2024年助成利用者

2024年、アナログ・デバイスズ基金は、様々な慈善団体に対して100件を超える助成金を拠出しました。これらはそれぞれ、地球と人類のために技術によって持続可能な未来を創造する、というアナログ・デバイスの使命に貢献しています。これらの中でも、3件の助成金は、教育、環境、社会変化の分野における大きな影響が際立っています。これらの象徴的な助成金は、好ましい変化を促進して世界中のコミュニティを支援するというアナログ・デバイスの取り組みを強調しています。

### STEM教育への参加拡大

これまで75年以上にわたり、マサチューセッツ科学技術フェア（MSEF）は、大学入学前の学生を対象に優れた科学技術コンペを通じて、STEM教育推進の最前線に位置してきました。

現在、MSEFの影響はコンペ以外にも拡大し、中高生とその教育者に対して、独立したSTEM研究プログラムの開発と発表を支援する年間を通じたサポートを提供しています。このハンズオン・アプローチは、生徒を科学的プロセスに没入させて重要な問題解決スキルを身に付けさせることにより、問題解決への取り組みを促進します。

2024年、アナログ・デバイスズ基金は、MSEFの「Getting Science Fair Ready」（GSFR：サイエンス・フェア準備）プログラムの継続を支援するために、2万5,000ドルの助成金を拠出しました。このイニシアチブは、様々な背景を持つ中高生、000名以上が、独立した研究を通じてSTEM分野を探索できるようにすることを目的としています。これらの生徒の約70%が公立校に通っており、地方、都市部、郊外など、マサチューセッツ州全体の様々なコミュニティに所属しています。

GSFRを通じて、生徒達の好奇心は研究プロジェクトに形を変え、その学年度の多くを、本職の科学者やエンジニアと同様の反復的なプロセスで研究を進めることに費やします。これにより、生徒達は、以下のことを学びます。

- 有意義な研究課題の設定
- 有効な実験の計画と実施
- データの収集と分析
- サイエンス・フェアや発表会場での研究結果発表

MSEFのプロジェクトベースの学習モデルは、STEM教育をよりアクセスしやすく、影響力のあるものにし、生徒たちが知識、スキル、そして自信を身に付け、STEM分野での教育と就職の機会が得られるようにします。MSEFの卒業生の1人は次のように述べています。「サイエンス・フェアは私に刺激を与え、知識を深め、貴重な経験を積む機会を提供してくれました。フェアによって私の人生の軌跡は変わりました。」

これまで多くのアナログ・デバイスの従業員が、メンター、フェアのジャッジ、そしてワークショップ・リーダーとしてボランティア活動を行い、MSEFのGSFRプログラムを支援してきました。MSEFの実績の詳細については、[ここをクリックしてください](#)。



## 人と場所をつなげる

Burrenbeo Trustは非常に強い影響力のある賞を受賞した組織です。この組織は、地域ベースの学習とコミュニティ管理の有力な提唱者として、また環境のおよび社会的なサステナビリティのモデルとして認識されています。Burrenbeo Trustは、アイルランドのリムリックにあるアナログ・デバイセズの施設の近くに位置しています。

コミュニティとの関わりとコミュニティの強化に焦点を当て、地域住民が自らの生物多様性と文化的遺産の積極的な管理者となることを支援するBurrenbeoは、コミュニティと地域の農業従事者向けに学習プログラムを提供しています。また、種子の採取、植樹、池の造成などの保護プロジェクトを支援しており、これらはすべてボランティア活動を通じて実施しています。更に、Burrenbeoは「Burren in Bloom」や「Burren Winterage」などのイベントを通じて調査活動や保護活動の支援も行っています。

この地域のアナログ・デバイセズのグリーン・チーム・ネットワークは、種子の採取や自生樹木の植え付け、対話集会の開催などを支援しています。Burrenbeo Trustは、数百名のアナログ・デバイセズの従業員がリムリックの地域生態系における自身の役割を理解する助けとなりました。

アナログ・デバイセズ基金は、CAF Americaを通じ、Community Grant FundからBurrenbeo Trustに2万5,000ドルの助成金を提供しました。



## コミュニティの強化、生活の改善、緊急事態への対応

Rise Against Hunger (RAH) は、飢餓を終わらせるための世界的なムーブメントを広めています。学校給食プログラムを通じた食事の提供から、飢餓を克服するための包括的アプローチの実施によるコミュニティの強化まで、RAHプログラムは、飢餓との戦いの中で1回の食事を通じて命を支えています。

アナログ・デバイセズはRise Against Hungerとパートナーシップを結び、トレーニングを活用して食料安全保障を強化し、コミュニティが自立した経済を構築できるよう支援しています。アナログ・デバイセズ基金はCAF Americaを通じて、Community Grant FundからフィリピンのRise Against Hungerに2万5,000ドルの助成金を提供しました。

飢餓はすべてに影響します。世界中のコミュニティにとって、食料不安定はその生活を脅かす要因となります。

- **健康**：栄養の改善が希望も育むことによって、食料安全保障向上への取り組みの重要性が強調されています。
- **教育**：学習は安定によって向上します。適切な栄養がないと、脳が正しく発達せず、長期的には学習能力に影響を及ぼします。
- **経済**：自給自足は成長につながります。世界中で783万人もの人々が十分な栄養を摂ることができず、活発で健康的な生活を送ったり、自分自身や家族を養ったりすることができずにいますが、フィリピンの人々も日々同様の課題に直面しています。



## 従業員の寄付：コミュニティ活動委員会

他者を助け、何かを改善することに対するアナログ・デバイスの従業員の情熱と献身は、世界中のコミュニティに望ましい影響を与える上で、極めて重要な役割を果たしてきました。アナログ・デバイスの理念である「Give. Care. Do.」（寄付、ケア、行動）への揺るぎない取り組みは、使命実現の推進力となっています。この献身は、アナログ・デバイスの従業員が先頭に立って行う様々なイニシアチブやプロジェクトに現れています。これらの活動は、地域コミュニティへの奉仕活動から、世界的なアウトリーチ・プログラムに至るまで、多岐にわたっています。アナログ・デバイスの従業員は、自身の時間、スキル、リソースを奉仕活動に充てることで、社会の改善に寄与するだけでなく、アナログ・デバイスという組織の中核的価値も体現しています。このような従業員の努力は意義のある変化をもたらし、他者の共感を呼び、寄付、ケア、社会の改善に向けた行動というアナログ・デバイスの使命への参加を後押ししています。

コミュニティ活動委員会（CAB）は、アナログ・デバイスの各拠点がある地域において、レクリエーション、社会福祉の促進を目的とする従業員エンゲージメント・イニシアチブを支援する、世界的なネットワークです。

### アナログ・デバイスのグローバル・イニシアチブ：学用品支援プログラム

アナログ・デバイスは、地域社会に手を差し伸べ、次世代を支援することの重要性を信じています。コミュニティ活動委員会が主導するアナログ・デバイスのグローバル・イニシアチブ、学用品支援プログラムは、支援を必要とする子供たちに学校必需品を届ける取り組みです。

従業員は様々な機会を通じてこのグローバル・イニシアチブに参加することができました。必要な学用品を購入するため、オンラインで寄付金を送ることもできました。更に、学年に応じた必須学用品の入ったバックパックを発注することもできました。その際の調達や供給は、地域の組織団体が担当しました。他にも、バックパック・スタッフィング・パーティに参加する従業員もいました。このパーティは、学用品支援プログラムの一環として開催される、アナログ・デバイスの従業員から寄付された学用品を皆で協力してバックパックに詰めるイベントでした。これら様々な活動によって、従業員が自らの時間、スキル、リソースを提供し、地域コミュニティに具体的な影響をもたらすと共に、将来のエンジニアやリーダーを支援することができました。

### 世界中に与える影響

アナログ・デバイスの学用品支援プログラムは、世界各地の事業所で大きな成功を収めており、コミュニティや教育への貢献とその姿勢は年々強まっています。FY2024には、各地22カ所のオフィスがこの活動に参加し、2,000個以上のバックパックが地域コミュニティや学生に寄贈されました。



## 研究への投資

持続可能な未来を支える技術革新の最前線にとどまるために、アナログ・デバイスは、最先端の研究活動への投資を続けています。当社の投資は、基礎的な科学研究から将来の革新的製品を指向した応用研究まで、広い範囲に及んでいます。アナログ・デバイスの共同研究の例として、以下が挙げられます。

- UC Berkeley Sensor and Actuator Center (BSAC)
- UC Berkeley Wireless Research Center (BWRC)
- Stanford SystemX Alliance
- Center for Power Electronics Systems (CPES)
- NSF Power Management Integration Center (PMIC)
- MIT Medical Electronic Device Realization Center (MEDRC)
- MIT Center for Quantum Engineering
- NSF Center for Hardware and Embedded System Security and Trust (CHEST)
- MIT Center for Transportation and Logistics (CTL)
- MIT AI Hardware Program
- NSF Center for Design Analog-Digital Integrated Circuits (CDADIC)
- NYU WIRELESS
- Power America

センター・レベルの協力に加えて、アナログ・デバイスは、ジョージア工科大学 (GTech)、カリフォルニア大学サンディエゴ校 (UCSD)、コロンビア大学、ウースター工科大学 (WPI)、イリノイ大学、ミシガン大学、オレゴン州立大学、テキサス大学ダラス校に対しても、研究促進を目的とした寄付を行っています。

もう1つの重要な活動は、当社の国際的な研究の取り組みを拡大することです。例としては以下のようなものがあります。

- KU Leuven research collaboration, Belgium
- Microelectronics Circuit Center Ireland (MCCI)
- 東京大学システム・デザイン研究センター
- University of Pavia, Italy
- IIT Chennai, India
- University of Toronto, Canada
- Universidad Jaime I, Spain

当社の重要な取り組みの1つとして、Semiconductor Research Corporation (SRC) が主導する官民連携型の大学共同研究プログラムJUMP 2.0 (Joint University Microelectronics Program 2.0) に参加しています。SRCが主導するこのプログラムの目的は、情報および通信技術における米国の優位性確立を加速することにあります。

JUMP 2.0は、様々なエレクトロニクス・システムの性能、効率、および容量を大幅に向上させることを目指しています。新たな素材、デバイス、アーキテクチャ、アルゴリズム、設計、インテグレーション技術、その他のイノベーションは、情報および通信分野の課題に関わる問題を解決する際の中心となるものです。その目的に向かって、各センターはJUMP 2.0の7つの補足的な研究テーマに焦点を当てる予定です。これらのテーマは、以下に示す大学が運営するセンターによって主導されます。

- **認知**：次世代AIシステムおよびアーキテクチャ（認知システム共同設計センター、ジョージア工科大学）
- **通信とコネクティビティ**：ICTシステム用の効率的な通信技術（コロンビア大学ユビキタス・コネクティビティ・センター）

- **インテリジェントなセンシングとアクション**：迅速かつ効率的なアクションを可能にするセンシング能力と組み込みインテリジェンス（認知型マルチスペクトル・センサー・センター、ジョージア工科大学）
- **分散型コンピューティング用のシステムとアーキテクチャ**：エネルギー効率の良いコンピュータおよびアクセラレータ・ファブリックの分散型のコンピューティング・システムとアーキテクチャ（次世代分散型コンピュータ・システム用の進化型コンピューティング、イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校）
- **インテリジェント・メモリおよびストレージ**：インテリジェント・メモリ・システム用の新たなメモリ・デバイスとストレージ・アレイ（インテリジェント・ストレージおよびメモリによる処理センター、カリフォルニア大学サンディエゴ校）
- **先進的なモノリシックおよびヘテロジニアス・インテグレーション**：新たな電気および光相互接続ファブリックと先進的パッケージング（マイクロエレクトロニクス・システム・ヘテロジニアス・インテグレーション・センター、ペンシルバニア州立大学）
- **高性能でエネルギー効率の良いデバイス**：次世代デジタルおよびアナログ・アプリケーションを実現する新たな素材、デバイス、相互接続技術（優れたエネルギー効率の素材とデバイス (SUPeRior Energy-efficient Materials and dEvices: SUPREME)、コーネル大学)

JUMP 2.0に関する詳細は[SRCのウェブサイト](#)に掲載されています。

## STEM教育の機会

アナログ・デバイスは、技術スキルを育てるために必要な教育を受ける機会の拡大に取り組んでいます。私たちの生活と地球をこれまで改善してきたこのスキルは、今後もその改善を続けていでしょう。アナログ・デバイスは1965年の創立以来、K-12レベルの生徒、および学部レベルと院生レベルの大学生を対象に、化学、技術、エンジニアリング、数学（STEM）教育を支援するプログラムへの投資を続けてきました。当社は、世界各地のプログラムに対し、資金、技術、従業員の専門知識を通じてリソースを提供しています。これらの相手の多くは長期的なパートナーです。

アナログ・デバイスとアナログ・デバイス基金が提携するその他の組織は以下のとおりです。

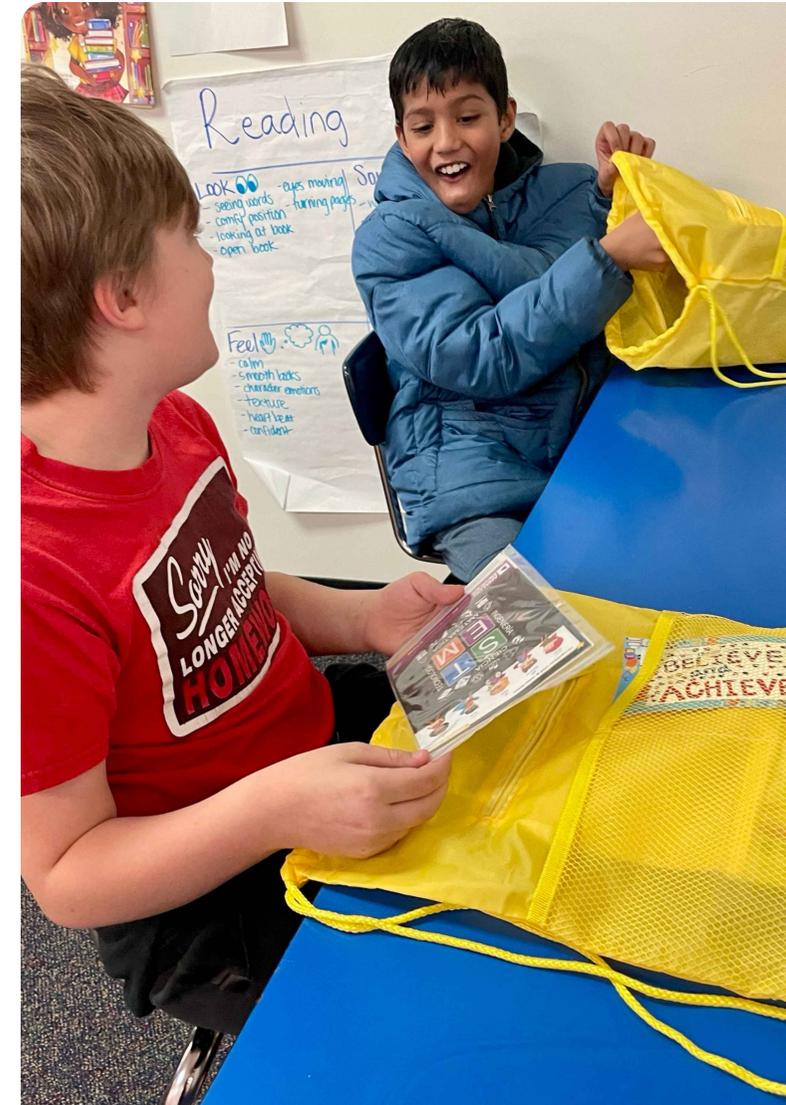
- Asha for Education
- Beaverton Public Schools
- Boston Partners in Education
- Boston Public Schools
- California Invention Convention
- Cork Carnival of Science
- FIRST Robotics
- Girls Inc NH
- iUrban Teen
- Latino STEM Alliance
- Boys and Girls Club of Boston
- Boys and Girls Club of Silicon Valley
- Wilmington Education Foundation

## オレゴンCHIPS基金： STEM教育の促進

2024年6月、オレゴン州は、アナログ・デバイスのビーバートン製造施設の近代化プロジェクトを支援するために、オレゴンCHIPS基金を通じて1,200万ドルを拠出すると発表しました。この助成金は、ビーバートンの設備改善のための資金提供に加えて、科学、技術、エンジニアリング、および数学（STEM）教育を促進するための重要な投資となります。この重要な資金提供の取り組みは、急速に進化する技術環境において、若い世代が成功するために必要なツールやリソースを供するという目標へ向けた、画期的な一歩となりました。

アナログ・デバイスはこのような努力の一環として、STEMキットを作成してオレゴン州内の小学校に配布することにより、大きな貢献を果たしてきました。具体的には、アナログ・デバイスの従業員が時間と労力をかけて1,000セットのSTEMキットを組み立て、チェハレム、エルモニカ、キナマン、ローリー・パークの4つの小学校に寄贈しました。これらのキットは、生徒が実際に手を動かしながら学べる体験を通じて、幼い頃からSTEM分野への好奇心と情熱を育めるよう設計されています。

STEMキットの取り組みは、アナログ・デバイスのような民間パートナーとオレゴン州との協力関係を象徴しています。このイニシアチブは、実践的な学習ツールをより広い教育体系に組み込むことで、次世代のイノベーターや問題解決者の意欲を引き出し、生徒が将来の課題にしっかり対応できるよう備えることを目的としています。



# ガバナンス

アナログ・デバイスは、アナログ・デバイスのステークホルダーの長期的な利益を実現するマネジメントが行われるためには、良い企業ガバナンスが重要であると確信しています。

- 66 リスク・マネジメント
- 69 人権
- 71 企業倫理
- 73 倫理的サプライ・チェーン
- 76 安全衛生
- 78 取引に関わるコンプライアンスと納税
- 80 プライバシーと情報のセキュリティ
- 82 製品保護
- 83 公共政策

# リスク・マネージメント

インテリジェント・エッジにおけるデジタル・トランスフォーメーション・ソリューションを牽引するプロバイダとして、アナログ・デバイスは、リスク・マネージメント・プログラムを活用して組織全体でリスクの識別、管理、統制を行っています。これにより、財務および業務目標の達成を促進すると共に、コンプライアンスに準拠しながら、長期的な事業およびESG戦略とソリューションの推進を図っています。

## 企業リスク・マネージメント

アナログ・デバイスは、企業リスク・マネージメントに関する[トレッドウェイ委員会支援組織委員会 \(COSO\)](#) のフレームワークを採用しています。このフレームワークは6段階のアプローチで構成されています。すなわち、リスクの特定、リスクの分類、リスクの定量化、リスクの管理と対応、リスクと管理のモニタリング、そしてリスクの報告と情報伝達です。このフレームワークに基づき、アナログ・デバイスは組織のリスクを4つのカテゴリ（戦略、事業、コンプライアンス、財務）に分類し、4つの基準（財務的影響、発生の可能性、速度と方向性、回復難度）を使ってそれぞれの影響を定量化しました。

当社のERMプログラムは、戦略的計画立案、戦術的実行、予算計上、およびリスクの結果を最適化して株主価値を保護するリスク監視を目的とした、組織の情報に基づく意思決定を支援することを目的としています。ERM機能は、リスク・マネージメント・フレームワークの提供と維持、および適切な緩和戦略の策定を通じて、組織全体のリスク・マネージメントをより効率的かつ効果的なものにします。

また、アナログ・デバイスは、優れたERMプログラムがコーポレート・ガバナンスを強化し、透明性、正直さ、誠実さ、および倫理的行動に対する経営陣のリーダーシップとコミットメントを明確にするのに役立つと確信しています。

アナログ・デバイスは、トップダウン・アプローチとボトムアップ・アプローチの両方を利用してリスク・マネージメントを行っています。その体制の中で、日常のリスク・マネージメント活動は事業の単位と機能ごとに管理されて取締役会とリーダーシップ・チームへの報告が行われ、リーダーシップによって基本的な戦略的目標と優先順位が各事業単位へ順次下達されます。

当社の専任ERMプログラム・マネージャはリスク研究拠点を創設します。この拠点は、リスクの担当者や責任者がその日常のリスク・マネージメント活動を継続的に改善するためのリソースとなります。加えてERMプログラム・マネージャは、マネージメント現場と取締役会の間でリスク情報を伝えるパイプの役割を果たします。



# ERMリスク委員会

## リスク管理責任者

エグゼクティブ・リスク委員会に報告を行うオペレーショナル・リスク管理の専門家が、リスク・マネジメント計画の現状について取締役委員会およびビジネス・ユニットを支援。

### ガバナンス（監督）

取締役会、該当委員会、およびCEOは、主要なリスク管理機能、ERMに関する問題、そしてビジネスに関連するリスクについて、監督を行うと共に、適切な透明性と可視性を確保しています。

取締役会、取締役会の各種委員会、取締役会会長、最高経営責任者

### エグゼクティブ・リスク委員会

戦略的な目標を設定して実施し、企業の正常な状態を確保。  
有効なリスク管理プログラムの設計、実施、維持を担当。

- SVP、最高顧客責任者
- SVP、最高人事責任者
- SVP、最高法務責任者、  
     シークレタリー
- SVP、垂直ビジネス・ユニット
- EVP、最高財務責任者
- SVP、ソフトウェアおよび  
     デジタル・プラットフォーム
- VP、戦略責任者
- VP、新興ビジネス・ユニット
- EVP、グローバル・オペレー  
     ションおよびテクノロジー

### ビジネス・ユニット およびエンタープライズ・ ファンクション (ERM委員会)

業務マネジメント、事業実績、事業に対するイベントやリスクの管理などを担当。

- 航空宇宙、防衛、通信
- オートモーティブ
- コンシューマ
- データ・センターおよびエネルギー
- 産業およびヘルスケア
- ソフトウェアおよびデジタル・  
     プラットフォーム
- グローバル・オペレーションおよび  
     テクノロジー
- エンタープライズ・ファンクション  
     （顧客ソリューション・グループ、  
     テクノロジー・オフィス、法務およ  
     びリスク最適化、人事、財務など）

### コンプライアンス およびリスク

#### コンプライアンス

全社にわたる情報共有およびコンプライアンス関連リスクの調整を可能にするガバナンス構造を構築。

#### 内部監査

統制のモニタリングおよびリスク軽減の取り組みとの整合を図ることで、ERMプログラムを支援。

## ビジネス・レジリエンス・マネージメント

ビジネス・レジリエンスには、緊急事態、危機、事業継続に関する計画策定に加え、危機時のコミュニケーション計画も含まれます。これにより、サイバー攻撃、自然災害、異常気象、地政学的問題、サプライ・チェーンの混乱など、予期せぬ状況下でも事業の継続性と強靭性を維持することができます。

アナログ・デバイセズは、異常事態などが発生した場合でもそれによる事業への影響を最小限に抑えることができるように、準備と計画を行っています。問題が発生した場合は、人事、法務、リスク、環境、安全衛生、グローバル・オペレーション、調達、広報、セキュリティなどの関係部門と適切に協力し、対応にあたります。アナログ・デバイセズのレジリエンス・プランには、すべての事業、活動、

事業所が含まれています。こうした努力は、リスクを緩和し、従業員の安全を守り、顧客からの信頼を維持できるように設計されたシステム、ポリシー、手順によって支えられています。アナログ・デバイセズのチームは常に状況を積極的にモニタし、問題発生時は直ちにその事象の特定、評価、対応を行えるよう体制を整えています。

アナログ・デバイセズでは、レジリエンスとモニタリングのための努力を支援するために、異常気象、自然災害、地政学的事象、その他事業に影響を与え得る領域での問題が発生した場合に通知される緊急アラート・システムに登録し、必要な対応をすぐに取りれるようにしています。このような事態が発生すると、チームにメールが送信され、速やかに状況を把握し、該当するレジリエンス・プランおよび手順を実行することができます。

緊急事態が発生した際には、その影響範囲にある製造拠点やサプライヤーに連絡を取り、供給の継続に影響が生じる可能性があれば、迅速に緩和策を講じます。

アナログ・デバイセズは、変化を続ける世界の状況に基づいてビジネス・レジリエンス・プログラムの継続的な強化に取り組んでいます。2024年は、あらゆる職種や世界中の事業所にわたるプログラムの調整に焦点を当ててきました。また、プログラムを継続的に改善するために、実務上で得られた経験からの教訓や世界中のステークホルダーからの意見を汲み入れることに加えて、レジリエンス・プランおよびプロセスのテストと監査を行います。



# 人権

人権の尊重は私たちの価値に根差すものであり、ビジネスを行う際には常に実践しています。これらの原則は、すべての従業員、臨時社員、製品およびサービス、そしてサプライ・チェーンを含む取引関係者に適用されます。アナログ・デバイスは、[国連のビジネスと人権に関する指導原則](#)、[労働における基本的原則および権利に関するILO宣言](#)、[ならびに国連の世界人権宣言](#)など、広く認められたフレームワークに基づいて行動しています。

アナログ・デバイスの人権に関する要件は、全世界の労働者を対象としており、当社の各種方針に組み込まれています。アナログ・デバイスが定める企業の社会的責任規範（CCSR）およびビジネス行動と倫理に関する規範（「規範」）は、自社の業務およびサプライ・チェーンにおける強制労働、非自主的労働、または児童労働の使用を明確に禁じています。当社の方針に明記されているとおり、アナログ・デバイスは、すべての労働者が人道的に扱われ、迫害のない安全な労働環境、そして威厳と敬意をもって接される労働環境の実現を信条とし、そうした環境を当然のものと考えています。

アナログ・デバイスは、エレクトロニクス業界におけるサプライ・チェーンの責任を推進する世界最大の業界団体である「責任ある企業同盟」（RBA）と、その「[責任ある労働イニシアチブ](#)」の積極的なメンバーです。メンバーの一員として、アナログ・デバイスはRBAの行動規範を採用しています。この規範は、エレクトロニクス業界およびそのサプライ・チェーンにおける適正な労働環境を確保するための基準を定めたものです。RBAの監査プロセスは当社の戦略において、サプライ・チェーンにおける人権保護を担保するための重要な構成要素です。

アナログ・デバイスは、自社従業員および当社のための業務を行うすべての人々が、能力を十分に発揮できるよう、安全で多様性が尊重され、互いを尊重し合える環境で働けるよう努めています。性的いやがらせ、性的虐待、体罰、精神的または肉体的強要、暴言など、粗暴で非人道的な扱いは一切許されており、これらの行為を行うと脅すことも認められていません。

アナログ・デバイスは、労働者と管理者の開かれた対話と直接的な関わり合いが、職場と報酬に関する問題を解決する最も効果的な方法であると考えています。当社はまた、すべての労働者に対し、結社の自由、労働条件や経営方針について経営陣と自由に意見や懸念を共有できる権利を尊重しており、報復や脅迫、嫌がらせを受けることのない環境の確保に努めています。

アナログ・デバイスは、自社のサプライ・チェーンにおける人権保護に取り組んでいます。サプライヤーには、当社の規範、CCSR、およびRBA行動規範を遵守し、事業を展開する各国で適用されるすべての法令や規則を満たすか、それを上回る水準で雇用、環境、安全衛生、倫理に関する先進的な取り組みを維持することが求められます。

アナログ・デバイスの[反奴隷および人身売買に関する声明書](#)には、アナログ・デバイスおよびそのサプライヤーが、人身売買の防止に関する法令と規則、アナログ・デバイスの[ビジネス行動規範と倫理規範](#)ならびに[RBAの行動規範](#)をどのように順守しているかが概説されています。

## 顕著な人権リスク

アナログ・デバイスでは、顧客、サプライヤー、従業員、および国連、SIA、RBA、SEMIなどの組織を含む主要ステークホルダーと定期的に関わりを持ち、半導体産業や当社が事業を行う場所における顕著な人権侵害リスクを特定するように努めています。2024年、アナログ・デバイスは、自社の人権保護体制および関連プログラムの成熟度を評価するため、世界的に認められた人権NPOの協力を得ました。ステークホルダーへのインタビュー、業界の課題に関する知見、ベスト・プラクティスなどから得た情報を基に、以下の重点分野が特定されました。

- 奴隷労働、強制労働、児童労働の根絶
- 採用手数料の支払いを含む債務労働の根絶
- 差別の解消と人権の尊重
- 安全で清潔な作業環境を求める権利
- プライバシーに対する権利
- 職場における人道的扱いに対する権利
- 各市場における生活賃金補償フレームワークの見直し
- 報告プロセスおよび救済プロセスの周知

## 責任あるAI

アナログ・デバイスは長年にわたり、人類の生活と地球環境を改善するための技術の使用に取り組んできました。ソリューションにAIを活用する機会が増える中でも、その責任ある姿勢は変わりません。

### AI対応のインテリジェント・エッジ

アナログ・デバイスは、推論能力を通じてセンサーや接続デバイスの性能を高め、インテリジェント・エッジを強化するために、AIを開発しています。アナログ・デバイスのエッジベース製品の主な機能は、現実世界の物理的な入力を電気信号に変換することです。そこにAIを組み込むことで、こうした信号に基づいてユーザーに的確な選択肢を提示し、製品の機能を更に高めることが可能になります。

従来のAIモデルは高い計算能力を必要としますが、アナログ・デバイスはエッジにおけるAI技術の開発に注力しています。エッジでのローカルなデータの処理と保存、更に低計算レイテンシにより、エッジAIアルゴリズム実行に必要な複雑さや電力要件を最小限に抑えることができます。

### AIのガバナンスと監督

アナログ・デバイスでは、AI能力の開発が進み、製品やサービス、製品開発、業務への活用が広がる中で、その機会とリスクの両面を強く認識しています。当社は、AIのリスク・マネジメントとガバナンスを重視しています。AIガバナンス・プログラムの管理はまだ初期段階にありますが、その基礎に向けた取り組みは既に始まっています。

- 上級管理職が主導する機能横断的な委員会であるアナログ・デバイスの企業リスク・マネジメント委員会は、AIを含む当社全体のリスク・マネジメントを所管しています。
- アナログ・デバイスは、組織全体におけるAIの監督体制を強化するため、2024年に新しくAI担当責任者という役職を設けました。この役職は、アナログ・デバイスのAIポリシーや手順の策定、および最高法務責任者への報告を行います。

- 業務におけるすべてのAI使用には、アナログ・デバイスの技術セキュリティおよびプライバシーに関する厳密なポリシーとプロセス、更に責任あるAI使用について定めた社内AIポリシーが適用されます。
- 当社の監査委員会は、企業リスク・アセスメントとリスク・マネジメントに関するポリシーとプロセスの監督を通じて、AIに関係する主なリスクを監督しています。また、取締役会にはAI戦略に関する更新情報が定期的に報告されます。

アナログ・デバイスの責任あるAIへの取り組みについての詳細は、2024年に公表された[アナログ・デバイスの責任あるAIに関する記述](#)を参照してください。この記述は、当社の製品、製品開発および営業活動における責任あるAIの使用に関する基本理念を定めたものです。

アナログ・デバイスは、AIプログラムの成熟に合わせて、当社の価値観と整合する形でAIを使用できるよう、管理方法や使用方法を継続的に発展させていく予定です。

# 企業倫理

アナログ・デバイセズの文化を決定付けるものは誠実さです。これは、アナログ・デバイスと顧客やコミュニティとの関わりの基礎をなすものです。アナログ・デバイスでは、倫理やコンプライアンスの重要性を継続的に訴えるよう努めています。アナログ・デバイスが築いてきた信頼と尊重の基盤を土台に、当社の価値を守り、倫理的な企業文化を育むことは、すべての従業員の責任です。

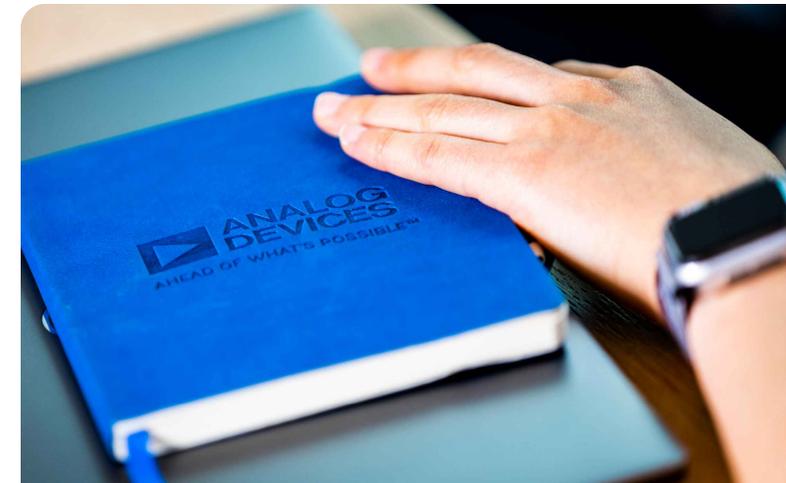
アナログ・デバイセズは、事業活動に誠実さと最大限の倫理的基準を浸透させるという責任を果たすため、方針、取り組み、トレーニングの強化を継続しています。アナログ・デバイセズの規範は、法令を遵守しつつ、当社より深い価値を反映し、倫理的にビジネスを遂行するという当社の姿勢を示すものです。アナログ・デバイセズはこの規範を1年ごとに見直して、倫理およびコンプライアンスに関する意識を向上させるよう努めています。この規範は、アナログ・デバイセズの日常的な意思決定の際のガイドとなる基本的な枠組みです。アナログ・デバイセズおよびその関連会社に勤務するすべての者、つまり、取締役会のメンバー、役員、従業員に加え、アナログ・デバイスにサービスを提供するすべての独立請負業者、コンサルタント、代理店、そしてアナログ・デバイスと取引関係にあるすべての者は、当社が事業を行うすべての国と地域において、アナログ・デバイスとの関係の中で、当社の規範および法令を順守することが求められます。

アナログ・デバイセズでは、贈収賄や腐敗行為を一切認めません。当社は、当社が事業を行うすべての国において、適用される贈収賄・腐敗行為防止法に準拠しています。また、当社の規範では、いかなるときも、いかなる理由であっても、アナログ・デバイセズの業務に関係して賄賂を贈ったり受け取ったりすることを明確に禁じています。世界中のアナログ・デバイセズの従業員は、贈収賄および腐敗行

為防止に関する法律、贈答と接待に関するポリシー、そして正確な記録管理の重要性について理解を深めるため、毎年、贈収賄防止に関する教育を受講しています。アナログ・デバイセズは、従業員とビジネス・パートナーがアナログ・デバイスの方針を遵守するように、また、懸念事項があればそれを容易に報告して対処することができるように、教育と予防を重視しています。

アナログ・デバイセズでは、各従業員の個性と視点を尊重してそれを生かす、受容性の文化を醸成することを目指しています。また、ハラスメントや差別のない、互いを尊重し合える労働環境の維持に努めると共に、すべての個人を尊重することを促進するプロフェッショナルな職場環境の提供に取り組んでいます。当社の期待事項の詳細については、アナログ・デバイセズの[ハラスメント防止方針](#)を参照してください。

アナログ・デバイセズは、倫理、誠実さ、コンプライアンスへの取り組み、方針の改訂関連リソース、トレーニング、アクセシビリティの強化などについて、全従業員に周知を図っています。また、法令や社内規範、方針への違反、あるいは非倫理的行いの疑いや事実に気付いた場合は、内部告発プログラムに記載された報告チャンネルを利用して、躊躇せずに報告することを奨励しています。サプライヤに対しても、当社のCCSRおよび規範を順守すると共に、違反や非倫理的な行いに気付いた場合には、懸念を共有するよう求めています。詳細については、[サプライヤ・リソース](#)を参照してください。



## 戦略的企業責任問題に関する アナログ・デバイスの方針：

- [ビジネス行動と倫理に関する規範](#)
- [企業の社会的責任規範](#)
- [反奴隷および人身売買に関する声明書](#)
- [EEOおよびアファーマティブ・アクション方針](#)
- [グローバル・タックス方針](#)
- [情報セキュリティに関する方針](#)
- [政治献金と政治支出](#)
- [プライバシーポリシー](#)
- [ハラスメント防止方針](#)
- [サプライヤ倫理コミットメント](#)
- [インサイダー取引方針](#)

資料入手先：[investor.analog.com](http://investor.analog.com)および[会社方針](#) | [アナログ・デバイス](#)

## 意識向上とトレーニング

アナログ・デバイスは倫理およびコンプライアンスに対する意識の向上に取り組んでいます。その一環として、世界中の従業員を対象に、集中的かつ包括的なコンプライアンス・トレーニング・プログラムを提供しています。このプログラムは、アナログ・デバイスの尊重と継続的な学習というコア・バリューを強調し、職場での行動を規定する適用法、規則、および会社方針に関する従業員教育に焦点を当て、誠実さの文化を推進することを目的として設計されています。すべてのアナログ・デバイスの従業員は、倫理およびコンプライアンスのコースを受講します。これらには地域固有の役割に基づいた割当てが含まれ、とりわけ、利害の対立、反贈収賄および腐敗行為、インサイダー取引、職場でのハラスメント防止、データ・プライバシーおよびセキュリティ、独占禁止および取引に関わるコンプライアンス、知的財産権、および秘密情報の保護に関連するトピックが含まれています。アナログ・デバイスの従業員には、社内での役割と責任に応じて、より掘り下げた内容の追加トレーニングが行われます。これらのトレーニングでは、ヘルスケアに関するコンプライアンスや政府との契約などに関係する項目が扱われます。トレーニングの完了にあたっては、アナログ・デバイスの規、CCSR、その他該当する方針に従っていることの確認と遵守の意思表示が求められます。

アナログ・デバイスのトレーニング・マテリアルは、主要事業所が所在する地域の言語に翻訳されます。当社はコンプライアンス・トレーニングの成果を積極的にモニタリングしています。

## 内部告発プログラム、報告、調査、是正措置

アナログ・デバイスでは、すべての従業員が尊重され、その存在が正当に評価される職場環境の実現に努めています。当社は透明性を重視し、従業員が正直さと誠実さを示し、懸念を表明することを期待しています。そのため、従業員やその他の人々が懸念事項を報告できるように、匿名での報告を含めて複数のチャンネルを用意しています。これらの報告は、アナログ・デバイスの倫理ホットラインを通じて誰でも行うことができます ([analog.ethicspoint.com](https://analog.ethicspoint.com)からオンラインで報告するか、電話または携帯からアクセス)。アナログ・デバイスの倫理ホットラインは独立したサードパーティによって運営されており、該当する法令に抵触しない限り、匿名で報告できます。電話またはオンラインで報告する際、従業員は翻訳者を要求することができます。主要な事業所では、地域の言語で利用できるグローバル・モバイル・アクセス報告システムも提供されています。従業員が報告を行うためのその他のチャンネルとしては、直属の上司、人事部、アナログ・デバイスの最高法務責任者 (CLO)、ならびに倫理およびコンプライアンス・チーム ([Ethics Email Box](#)) への連絡が挙げられます。

アナログ・デバイスは、倫理およびコンプライアンス・チームによる報告の調査と、適切な是正措置の確実な実施を担保するためのプロセスを整備しています。また、最高法務責任者ならびに倫理およびコンプライアンス・チームは、調査プロセスの透明性を確保し、すべての案件が公正かつ一貫して対処されるよう、世界中の調査を監督しています。

また、取締役会は必要に応じ、調査プロセス、コンプライアンスの傾向および事案を監督します。アナログ・デバイスは、法令、アナログ・デバイスの規範、企業の社会的責任規範、またはその他の企業方針または手順への違反の疑いのある事例を報告した者、またはこれらの行為の確認にあたってアナログ・デバイスを支援した者、もしくは社内調査に参加した者に対する報復を許容しません。アナログ・デバイスは、報復防止方針について従業員を教育し、解雇を含む是正措置を通じて、報復を防止するための予防的措置を講じています。更に、当社はサプライヤに対しても、誠実な報告や内部告発調査プロセスの参加者に対するいかなる報復も禁じることを求めています。

### 内部告発レポートの提出方法



- 直属の上司
- 人事部
- アナログ・デバイスの最高法務責任者



アナログ・デバイスの無料倫理ホットライン



[analog.ethicspoint.com](https://analog.ethicspoint.com)



グローバル・モバイル・アクセス用スキャン



アナログ・デバイスの倫理メール・ボックス



# 倫理的サプライ・チェーン

アナログ・デバイスは、責任ある調達方法の実践と倫理的サプライ・チェーンの確立に取り組んでおり、揺るぎない決意を持って社会的責任、倫理的サプライ・チェーン、継続的改善の実現に臨んでいます。重視しているのは、一貫性と効率を推進する調達戦略です。

アナログ・デバイスは、RBA（[責任ある鉱物イニシアチブ](#)と[責任ある労働イニシアチブ](#)を含む）や、[米国半導体工業会](#)など、サプライ・チェーンに関連する各種団体と連携しています。RBAの監査プロセスは、当社のサプライ・チェーン管理プログラムにおける重要な要素の1つです。

アナログ・デバイスは、RBAの行動規範を自社のCCSRに取り入れています。また、サプライ・チェーン全体において倫理的かつ法令に準拠した業務が行われるよう、サプライヤ向けの基準を定めています。

アナログ・デバイスは、リスクを軽減するため、以下に述べるようなサプライヤの審査および監視のためのツールとプロセスを導入しています。

アナログ・デバイスはサプライヤ向けのウェブサイト [Analog.com/supplier-resources](#) を開設し、アナログ・デバイスのサプライヤへの期待事項や持続可能性に関する方針およびプロセスを容易に入手できるようにしています。

## サプライ・チェーン方針と注意義務履行

アナログ・デバイスは、当社の方針を子会社および関連会社にも拡大し、当社のバリュー・チェーンにおけるすべての下請け会社にもこれらの要求事項を浸透させています。また、世界のサプライ・チェーンにおけるESG目標を管理し推進するために、アナログ・デバイスはサードパーティと提携することも多く、様々な方針、コミットメント、基準、プロセスを策定し、実施しています。

### 企業の社会的責任規範

アナログ・デバイスは、職場および事業活動における社会的、環境的責任を推進するため、国際的に認知された基準を基にした確固たるCCSRを採用しています。アナログ・デバイスのCCSRは、サプライ・チェーンに関わる労働者の権利と人権、安全衛生、環境、倫理、およびマネージメント・システムに関する要求事項を定めています。アナログ・デバイスのCCSRでは、労働者を人道的に扱うことを明確に求めており、児童労働および強制労働を禁止しています。

アナログ・デバイスのサプライヤには、適用される法令、アナログ・デバイスの規範、CCSR、RBA行動規範の要求事項を満たす、または超えるレベルの進歩的な雇用、環境、安全衛生、倫理的行動を維持することが求められます。

### サプライヤ倫理コミットメント

アナログ・デバイスは、世界中のサプライ・チェーンのあらゆる場所において、労働者、環境、企業にとっての価値を持続可能なものとするに取り組んでいます。世界中のサプライヤには、アナログ・デバイスと同じ企業倫理、基準、行動規範を順守することが求められます。

すべての新規サプライヤは、受け入れ時に注意義務履行プロセスを経た上で、アナログ・デバイスのサプライヤ倫理コミットメント（SEC）に署名することが義務付けられています。このSECでは、RBA行動規範およびアナログ・デバイスの倫理基準の順守、ならびにこれらの要求事項を下流のサプライヤにも周知することが求められています。サプライヤは、継続的な順守と継続的改善への取り組みを表明し、パフォーマンス、取り組み内容、将来予測についての明確かつ正確な情報を従業員、サプライヤ、顧客に提供するものとします。

## 責任ある企業同盟（RBA）

アナログ・デバイセズはRBAのメンバーです。当社は、RBAのメンバーとしてRBA行動規範を採用し、これに従うことに同意しており、サプライヤに対しても同様にRBAの規範に従うことを求めています。アナログ・デバイセズの工場施設は、RBAの検証済み評価プログラム（VAP）に基づく定期的な自己評価（SAQ）、およびサードパーティによる監査の対象となっています。また、RBAメンバーシップの要件として、アナログ・デバイセズは、SAQを完了したアナログ・デバイス工場施設の数や、重大な監査所見によってハイリスクと評価されたサプライヤの有無について、RBAに報告しています。

RBAのVAP監査プログラムは、RBA行動規範と適用法令への適合性を評価するものです。監査内容には、詳細な文書レビュー、管理職および従業員へのインタビュー、目視によるサイト検査などが含まれています。アナログ・デバイセズのすべての工場施設は、これまで要求に応じて監査を受けており、今後も必要に応じて引き続き監査を受ける予定です。これは、当社がすべての事業活動において、倫理的かつ責任あるビジネス手法の最高基準を維持することに継続的に取り組んでいる姿勢を反映しています。

アナログ・デバイセズの最新のRBA VAP監査スコアは業界標準と比較されており、当社のスコアは引き続き業界標準を上回っています。

### VAP初回監査／確認監査のスコア：<sup>1</sup>

アナログ・  
デバイス - **192**

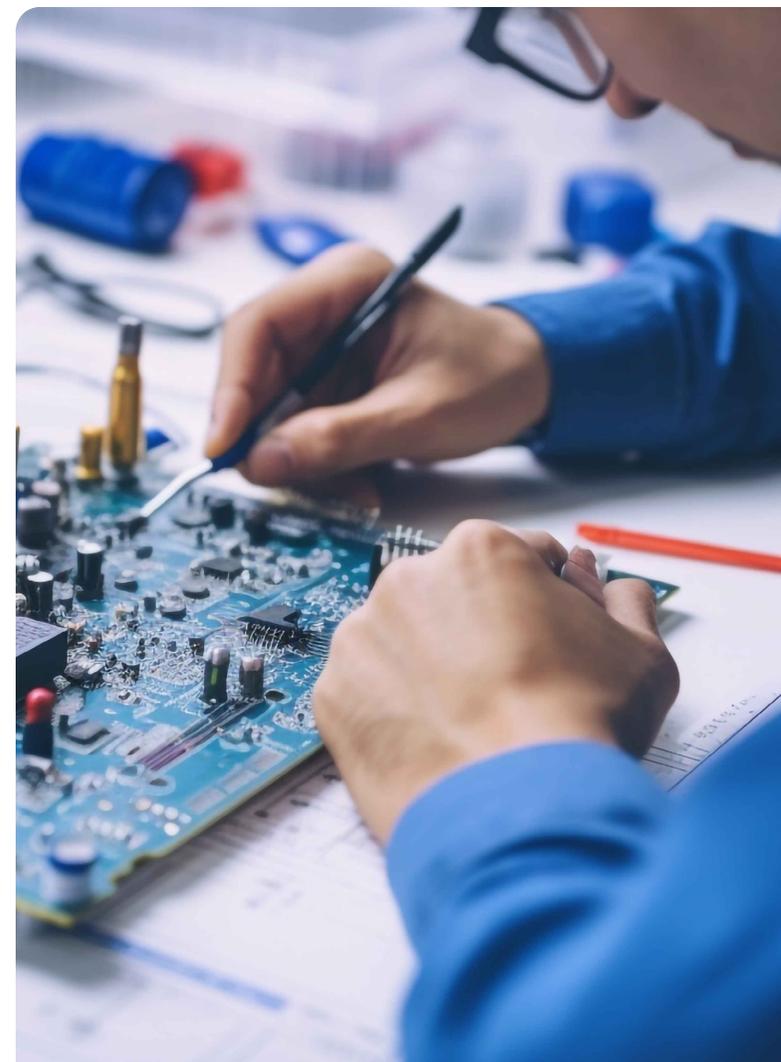
業界標準 - **131**

## サプライヤへの期待事項

アナログ・デバイセズはサプライヤに対し、最大限の誠実さを維持すること、アナログ・デバイセズの期待事項および事業を行う国において適用されるすべての法令、ルール、規制を順守し、それらを上回る基準を満たすことを求めています。アナログ・デバイセズは、公正な雇用慣行、労働方針、人権に関する統計データ、環境への影響、安全衛生に関する事案、是正措置などを含むサプライヤのパフォーマンスを評価し、これらの重要な課題への対応を図っています。

また、これらの評価を各分野で標準化するために、スコアカードを作成しています。このスコアカードには関連するESGトピックが含まれています。

更に、アナログ・デバイセズは、直接サプライヤが毎年実施するRBA SAQを評価し、サプライヤのリスクおよびコンプライアンスの状況を把握しています。一部のサプライヤについては、2年ごとにRBAから承認された独立した第三者機関による検証済み監査プログラム（VAP）によるコンプライアンス監査が実施されます。この機関は、社会的および環境的な側面の監査、およびVAPプロトコルに関して特別なトレーニングを受けています。何らかの不適合が見つかった場合は、再発防止のために、封じ込めおよび是正のための措置が講じられます。RBAは不適合事項が見つかったサプライヤに対して是正計画や予防計画を提供するだけでなく、VAP監査で特定された問題の解消が確認された施設を認定する認定プログラムも提供しています。このプログラムは、企業の責任に対するサプライヤの取り組みを評価・認定することを目的としています。



<sup>1</sup> 2024年12月現在のデータ

## サプライヤの環境への影響

環境の持続可能性に対するアナログ・デバイセズのコミットメントは、サプライヤに順次伝えられ、サプライヤの環境フットプリントを削減しています。アナログ・デバイセズは、CCSRの期待事項に加えて、以下の項目もサプライヤに求めています。

- 温室効果ガス排出量を監視、削減するための計画を策定し、再生可能エネルギーへ移行すること
- 特定有害物質の使用の禁止または制限に従うこと
- すべての排出に関する法律や規則に従うこと
- 廃棄物および水の使用量を制限、または削減すること
- 汚染を防止すること

アナログ・デバイセズは、自社のネット・ゼロ目標の達成を支える取り組みとして、今後もサプライヤと協力し、サプライヤの環境パフォーマンスの更なる向上を支援していきます。

### 責任ある鉱物調達

多くの技術系企業と同様、アナログ・デバイセズは製品の製造過程においてスズ、タンタル、タングステン、および金（3TG）を使用することがあり、一部の製品にはこれらの物質が含まれています。これらの鉱物は世界中で産出されますが、コンゴ民主共和国（DRC）およびその近隣諸国から調達される場合が多いことで知られています。この地域は、人権侵害が横行する武力紛争地域として認識されています。アナログ・デバイセズは、製造サプライ・チェーン内で使用するこれらの鉱物について、この地域の人権侵害や武力紛争に関与、加担する供給源から行わないように努めています。

アナログ・デバイセズの**責任ある鉱物調達方針**は、アナログ・デバイセズおよびアナログ・デバイセズのサプライ・チェーン全体における3TG鉱物の鉱物追跡可能性に関する要件を定義し、準拠した調達を維持するよう努めています。アナログ・デバイセズの責任ある鉱物調達方針の実行を支援するために、アナログ・デバイセズの責任ある鉱物調達方針の実行を支援するため、経済協力開発機構（OECD）のデュー・ディリジェンス・ガイダンスに準拠した手順とプロセスが整備されています。

アナログ・デバイセズは、2009年から責任ある鉱物イニシアチブ（RMI）（旧「紛争のない調達イニシアチブ（CFSI）」）のメンバーであり、RMIの責任ある鉱物保証プロセス（RMAP）を活用して、鉱物の原産国と製錬所または精製所のRMAPステータスを把握しています。RMAPプロセスには、検証済みの製錬所または精製所について、RMI基準への適合状況を判断するためのサードパーティによる独立評価が含まれます。アナログ・デバイセズはRMIイニシアチブの活用、支援、関与を継続しており、現在は法的要件を超えて、責任ある資源調達に影響を及ぼす可能性のある他の鉱物の評価も進めています。

アナログ・デバイセズの契約義務履行プロセス、リスク・マネージメント計画、最新の調査結果に関する詳細は、[Form SD](#)にあるConflict Mineral Reportを参照してください。

### 環境製品コンプライアンス

アナログ・デバイセズの環境方針および環境管理システムは、当社の半導体製品がコンプライアンス義務を満たし、なおかつそれを上回る水準に達することを確実にします。また、アナログ・デバイセズの製品持続可能性プログラムでは、当社の集積回路製品が健康、安全、環境に与える影響を評価し、継続的な改善を図ると共に、懸念物質（REACH、RoHS、ELV）に関する各種規制への準拠を支援し、バリュー・チェーンのあらゆる段階で当社の製品に接する人々を、有害物質から保護します。アナログ・デバイセズは世界中の規制動向を継続的に監視し、当社の最終製品に含まれる材料や環境関連物質についての透明性を確保するため、[オンライン](#)で最新情報を顧客に定期的に提供しています。

# 安全衛生

## アプローチ

従業員と受託業者の健康と安全は最優先の課題です。

アナログ・デバイスの方針は、労働と人権、安全衛生、倫理、管理システム、データ・プライバシーの各分野における自社およびサプライヤに対する当社のアプローチを詳細に説明しています。2024年には、安全意識向上のため、各サイトの代表者と環境安全衛生（EHS）部門の担当者から成る、サイト横断的な安全文化チームを新たに立ち上げました。このチームには、各サイトの代表者と環境安全衛生（EHS）担当者が参加しています。このチームは、すべての製造施設に設置されている従業員安全衛生委員会の継続的な取り組みを補完するものであり、アナログ・デバイスが安全な事業環境を維持する上での支えとなっています。

また、同年には、2023年に発表された包括的なEHSポリシーに基づき、すべてのサイトにおける取り組みを統一するための新たなグローバルEHS標準を制定しました。当社は、四半期ごとのEHSレビュー、隔週開催のEHSリーダーズ・フォーラム、年次戦略会議、四半期ごとの負傷事故調査委員会を通じて、サイト間の連携、標準化、コミュニケーションを継続的に推進しています。

### 安全週間イベント

2024年の安全衛生週間を記念して、フィリピンの当社サイトは、カビテ州ゼネラル・トリアスにあるルイス・Y・フェラー・ジュニア高校と協力し、100名を超える生徒と学校職員を対象に、緊急時の備えと対応に関する対話型のセッションを行いました。この活動は、生徒たちに緊急時に効果的に行動するための重要なスキルと自信を身につけさせることを目的としています。同サイトでは、カビテおよびタギッグの両施設で健康バザーと2回の献血活動も行いました。

更にビーバートのサイトでは、ISO 14001および45001審査の結果を記念して、安全エキスポが開催されました。従業員はこのエキスポを通じて、ISO認証の概要と安全への取り組みにおけるその重要性、サイトの緊急対応チームが職場の安全性向上に果たす役割、そしてビーバートのEHSプログラムが職場の安全確保と懸念事項やニアミスを報告する機会をどのようにして従業員に提供しているのか学びました。

## ISO 14001および45001の企業認証

アナログ・デバイスは、カリフォルニア州サンノゼのオフィスおよびすべての製造施設において、ISO 14001環境マネジメント・システム（EMS）およびISO 45001労働安全衛生マネジメント・システム（OHSMS）の認証を取得しました。2024年には、引き続きISO 14001要求事項への準拠を維持すると共に、ISO45001についても、すべての審査に完全に適合し、認証を継続しました。

### 地域パートナーとの連携による消防および緊急時対応の強化

アナログ・デバイスの各サイトは地域の消防署と協力し、消防安全および緊急時対応プログラムの強化に取り組みました。アイルランドでは、地域の消防署員がサイトを訪れて避難経路、緊急対応チーム（ERT）の待機室、重要な安全設備の設置場所などを確認し、サイトの緊急時対応体制の強化に向けて連携しました。また、フィリピンでは消防局が消防セミナーを開催し、90名を超えるERTメンバーと従業員が参加しました。マレーシアでは、消防・救助局がERT向けに火災緊急訓練を実施しました。

### 安全かつ持続可能な輸送のための取り組み

今年は、安全で持続可能な輸送と通勤を推進するために、様々なプログラムが実施されました。

- マレーシアでは、オートバイの安全運転習慣を促進し、事故を防止するために、ホンダのセーフティ・ライディング・センターと協力して、ロード・ライディング・セーフティというイベントを開催しました。
- タイでは、旧正月休暇中の安全運転を従業員に呼びかけるために、「飲酒運転禁止」キャンペーンが行われました。
- サンノゼでは代替通勤週間が実施され、100名を超える従業員が環境に配慮した通勤手段を利用しました。

## 安全衛生トレーニング

従業員のEHSに対する責任を担う従業員を支援するため、アナログ・デバイセズは、知識やスキルを養う包括的な安全衛生トレーニングを用意しています。製造部門の従業員は雇用時にEHSトレーニングを受けます。当社では、従業員の多様なニーズに応えるため、様々な学習方法を採用しています。EHSトレーニングは複数の言語で提供され、ウェブベースおよびオンサイトの両方のプラットフォームで受講可能です。

トレーニング情報も、危険物管理、電気の安全性、工具の安全性、人間工学に基づく職場設計など、特定のジョブで必要とされる内容に応じて調整されています。2024年、アナログ・デバイセズは、すべての製造施設でEHS基本トレーニングを開始しました。このトレーニングは、一貫したEHS教育と優れた実践事例を世界中で共有することを目的としており、アナログ・デバイセズの製造施設の従業員は受講が義務付けられています。

緊急時の計画は、従業員の安全を守るもう1つの側面です。従業員は、緊急時の対応方法、報告の手順、建物からの安全な避難方法についてトレーニングを受けています。ERTのメンバーには、応急措置、CPR、AEDの使用、血液媒介病原体への対応、化学物質への対応などのトレーニングが行われます。

当社では、ISO規格とコンプライアンスによる可視性の向上、EHS方針の強化、徹底的な調査によりインシデントの再発を防止できていることが、安全衛生に関する実績の継続的な改善につながっていると考えています。アナログ・デバイセズは世界全体で、安全衛生に関する堅牢なプロセス、基準、トレーニングの標準化と促進に取り組んでいます。また、各拠点では、経営陣による積極的な支援のもと、安全性の見える化やEHSの成果の発信に努めています。

## 安全衛生プロセスの管理

アナログ・デバイセズは、2023年にEHSに関する活動やインシデントをより効果的に管理、追跡するための記録システムを導入し、2024年にその導入を完了しました。現在では、傷病の追跡、検査結果の文書化、対応項目の追跡、インシデント管理などを強化する企業向けソフトウェア・ソリューションを使用しており、調査の記録、根本原因分析、是正措置の完了確認も可能です。このシステムにより、アクセス制御された集中管理のもとで負傷、EHS関連イベント、検査、不適合または違反の通知を追跡することが可能になり、当社のEHSプログラムの管理が一層強化されました。

## 2024年実績

アナログ・デバイセズは、安全衛生に関する実績を継続的に向上する取り組みを支援する指標の重要性を認識しています。当社は、業界標準であるインシデント発生率および労働損失日数率の2つの指標を用いて、世界全体での負傷防止実績とその傾向を評価しています。どのように対処し、どこを改善すればよいかを把握するため、指標の確認は定期的に行っています。当社では、インシデント発生率と労働損失日数率を、米国の半導体産業および製造業の水準と比較し、ベンチマークとしています。

2024年、アナログ・デバイセズは、推定値ではなく実際の勤務時間を使用することで、記録対象となる負傷率を求める方法の精度を改善しました。この変更により、記録対象負傷率は0.19に増加しましたが、これは計算方法の変更によるものと考えています。実績において、インシデント発生率および労働損失日数率はいずれも業界平均を上回る良好な水準を達成しました。この率の計算には、すべての正規従業員に加えて臨時従業員も含まれています。負傷の種類はサイト単位で追跡されており、代表的なカテゴリには、転倒、滑落、過労、人間工学上の問題などがあります。

2024年には、アナログ・デバイセズの全サイトにおいて、死亡事故は発生しませんでした。また、グローバル・レポートング・イニシアチブの定義において重大な負傷に該当する事案は3件で、2023年より減少しました。

アナログ・デバイセズでは、安全衛生の実績を継続的に向上するために、EHS専用の手順および規定の整備、定期的な自己評価または自己監査、安全衛生に関する情報発信、負傷件数の追跡、安全上のインシデントの調査、原因および是正措置の特定などをサイトごとに行っています。

### 人間工学に基づく靴の中敷きプログラム

勤務中の快適性を向上し、人間工学に起因する怪我のリスクを軽減するために、キャマスのサイトでは靴の中敷きプログラムを開始しました。この取り組みの一環として、従業員一人ひとりの足の形に合わせて設計された専用の中敷きが全従業員に提供されました。

### アナログ・デバイセズのタイ・チョンブリー工場がプラチナ・クラス賞を受賞

チョンブリーにあるアナログ・デバイセズ工場は2,750万時間の無事故操業という素晴らしい記録を達成し、これにより「タイのゼロ事故キャンペーン2024」(Thailand's Zero Accident Campaign 2024)において、3年連続でプラチナ・クラス賞を受賞しました。

# 取引に関わるコンプライアンスと納税

## 取引に関わる コンプライアンス

アナログ・デバイセズの法務およびリスク最適化部門には、物品およびサービスの輸出入を規制する法令を確実に遵守するための専任のグローバル・トレード・コンプライアンス・チームが設置されています。このチームには、国際取引法および多国間の輸出入規制への対応に特化した複数の専任者が所属しており、各ビジネス・ユニットにコンプライアンス・ポリシーを一貫して適用する体制を整えています。加えて、コンプライアンス・システムの導入、関連文書の管理、影響分析などにも取り組んでいます。このチームは、アナログ・デバイセズのビジネス・グループに対して戦略的な助言と指導を提供し、部門を越えた連携を可能にすることで、国境を超えた販売および製品流通を促進しています。

グローバル・トレード・コンプライアンス・チームは、米国、アジア太平洋地域、ヨーロッパ、中東、アフリカといった各地域を担当する、世界各地の対象分野の専門家によって構成されています。このチームは、製品分類、ライセンス認可の確保、および制裁措置、禁輸国、規制対象組織を含む方針、プロセス、プログラムの策定など、様々な活動を管理しています。これらの措置は、輸出入が禁止されている国や組織との物品、サービス、技術の不正な取引を防止することを目的としています。

アナログ・デバイセズの半導体ウェハは、社内およびサードパーティのメーカーによって製造されています。当社の集積回路製品は、マサチューセッツ州ウィルミントン、ワシントン州キャマス、オレゴン州ビーバートン、アナログ・デバイセズの半導体ウェハは、社内およびサードパーティのメーカーによって製造されています。当社の集積回路製品は、マサチューセッツ州ウィルミントン、ワシントン州キャマス、オレゴン州ビーバートン、アイルランドのリメリックにある自社施設において、当社独自のプロセスにより製造されています。また、サードパーティのウェハ製造工場では、当社独自のプロセスと一般的なプロセスを

組み合わせて製造されています。アナログ・デバイセズは、年間で必要なウェハの約半数を自社製造で賅っており、ディープサブミクロンのリソグラフィ機能や大規模な生産能力が必要な場合には、残りの半分を台湾積体回路製造などのサードパーティ・ウェハ・メーカーから調達しています。

当社の世界規模でのビジネス活動は、米国や外国政府の様々な法律、規則、規制に影響されます。当社はグローバルに事業を展開しているため、財務状況や事業運営に悪影響を及ぼす可能性のある様々なリスクや不確実性にさらされています。これらのリスクには、国際的な経済、政治情勢、当社が事業を展開している国々との地政学的な緊張、規制や法律上の要件における予期せぬ変更や課税、更には関税、輸入割当、みなし輸出規制、その他の貿易障壁といった輸出入規制が含まれます。

## アナログ・デバイス製品の不正転用

ロシアによるウクライナ侵攻を受け、アナログ・デバイセズは米国およびEUの制裁に従い、ロシアおよびウクライナとベラルーシにおけるロシア支持地域での事業活動を停止しました。また、当社製品のこれらの地域への出荷を直ちに中止するよう、代理店に指示しました。アナログ・デバイセズは、当社製品がロシアの軍事装備に使用されることや、当初の意図や認可に反したエンド・アプリケーションに使用されることを一切容認・支持していません。また、米国あるいは国際的な制裁の対象となっている国や団体へのアナログ・デバイス製品の不正転用や、積み替えによる不正輸出を容認または支持することはありません。

アナログ・デバイセズは、半導体業界における不正転用の深刻さを認識、理解しており、当社が従うべき法的義務を超える方針を定めています。

また、当社ではそのポリシーと対応を強化すると共に、高リスク地域や指定された懸念製品における異常な購買パターンや警戒すべき兆候を把握するための、強化された顧客確認手順を導入すべく、機能横断型のチームを設置しました。更に、アナログ・デバイセズはコンプライアンス活動の対象を拡大し、すべての販売パートナーに対する年次監査を導入しました。また、不正流通業者の活動に伴うリスクの軽減に注力する専任チームも拡充しています。

アナログ・デバイセズは、ブローカーや転売業者による半導体部品の不適切な転売を調査する政府機関の取り組みに引き続き協力しており、複数の法執行機関、政府機関、外部機関と連携して適切な措置を講じています。アナログ・デバイセズは、当社製品の安全性と完全性の確保に全力で取り組んでおり、不正な製品転売のリスクを低減するため、今後も必要な措置を講じていきます。



写真：Steven F., 米国

## 納税

アナログ・デバイセズは責任ある納税者であり、法令上の義務に従い、当社が事業を行う各国の税務当局に完全に情報を開示することを旨としています。当社の税務戦略は、ビジネス戦略および持続可能性戦略と密接に連動しており、税務対応は当社の厳格なガバナンス基準に則って管理されています。

当社の納税は、法人所得税、雇用関連税、資産税、その他の各種税金で構成されています。当社は、事業を展開する各国・地域の税法に準拠するよう、適切な方針、管理耐性、ガバナンス・プロセスを維持しています。アナログ・デバイセズの[グローバル・タックス方針](#)は、重要な税務リスクを特定するためのフレームワークとして機能しています。当社はこうしたリスクを、適切に設計され運用されている統制手段、方針、対処方法を通じて管理しており、これらは内部監査により定期的に監査されています。また、これはサーベンス・オクスレー法に従うことを目的としています。このフレームワークは、当社の取締役会、当社の経営陣、および税務部門全体から全面的な支持を受けています。取締役会の監査委員会は、当社の税務戦略を監督し、税務担当者と定期的に打ち合わせを行い、税務方針および各種税法や税規制が当社に及ぼす影響について検討しています。その結果は、透明性があり、国際的に受け入れられている納税原則に従う税構造となって表れています。

アナログ・デバイセズの豊富な経験と情報量を持つ有資格税理士が、税統制フレームワークや毎日の税務会計の管理と監督を実施しています。税部門のメンバーは、インターネットや社外のトレーニング・プログラムを通じ、世界的な税務状況の最新の展開に対応できるようにしています。必要に応じて、税務リスクの管理と税務事項の正確性を確保するために、社外の税務アドバイザーを起用しています。

アナログ・デバイセズは多くの異なる税管区で業務を行っており、連結企業グループ内での国境を越えた支払いを含む振替を頻繁に行っています。こうした国内外の取引に伴う税務上の問題の可能性を回避するため、当社は移転価格税制に依存し、そのような取引が互いに関係のない第三者間で行われる場合と同じ価格構造を使用しています。当社の移転価格は、各国の移転価格規則に準拠し、[OECD移転価格ガイドライン](#)に則っています。アナログ・デバイセズは、価値を創出する地域に適切な納税が行われるよう、移転価格を独立企業間価格で設定することの重要性を認識しています。

アナログ・デバイセズは世界中で事業を展開しているため、当社が業務を行う様々な管区において、利用可能な税制上の優遇措置や税規制を活用しています。当社は、税制上の立場についての透明性維持を目指すことで、各国・各地域の税務当局と公正かつ信頼に基づく関係を築いています。当社の所得税の詳細は、2024年11月2日を期末とする会計年度の年次報告書（Form 10-K）に記載された連結財務諸表の[脚注12](#)を参照してください。

アナログ・デバイセズの税方針および透明性に関する取り組みの詳細については、[グローバル・タックス方針](#)を参照してください。



# プライバシーと情報のセキュリティ

## グローバル・データ保護とプライバシー

アナログ・デバイセズは、EUの一般データ保護規則（GDPR）、中国の個人情報保護法（PIPL）、およびカリフォルニア州の消費者プライバシー法（CCPA）を含む、グローバルなデータ・プライバシー規則を遵守することに尽力しています。アナログ・デバイセズでは、強固なビジネス手法と、個人情報に価値を置く企業文化を育成することを目標としています。私たちは、プライバシー問題に関する意識を高めること、当社のステークホルダーとコミュニケーションを図ること、アナログ・デバイセズのデータ・プライバシー・プログラムについて透明性を確保すること、従業員を教育すること、新規サプライヤおよび技術を評価すること、個人情報を取り扱う際に適切な企業活動を実践していくことで、この目標を達成しようとしています。

アナログ・デバイセズのデータ保護およびプライバシー・プログラムはデータのライフサイクルを中心として構成されており、これには個人情報の収集、使用、共有、削除が含まれています。アナログ・デバイセズは、すべての従業員に対して新たなデータ保護通知を提供し、世界中のマーケティング・チームおよびデータ保護責任者への教育を毎年実施しています。また、データ・プライバシーに関する問い合わせに対応するため、一元化されたプライバシー・メールボックスを積極的に監視し、関連する従業員に対して、新しい法的および組織的要件に焦点を当てたデータ・プライバシー・コンプライアンス・トレーニングを実施しました。

アナログ・デバイセズのデータ・プライバシー・プログラムは、以下の価値を優先しています。

- **透明性**：どのような個人情報が収集され、そのデータがどのように利用されるかについて、各人に通知します。
- **データと情報のセキュリティ**：個人情報を保護するためのツールと手順を導入します。
- **時代を先取りしている点**：データ・プライバシーの世界は目まぐるしく変化しています。アナログ・デバイセズは積極的に法律やトレンドを追跡して常に先手の対策に努め、関係者にも新しい要求や必要な変化についての教育を行います。
- **準備状態**：アナログ・デバイセズはプライバシー・バイ・デザインの原則に基づいてビジネス上の意思決定を行い、製品やサービスの開発を行います。また、データ漏洩を未然に防ぐために積極的な対策を講じており、万が一データが漏洩した場合は迅速に対処します。
- **安心感**：必要なくなった個人情報は削除します。
- **応答性**：当社のチームは、データ・プライバシーに関する質問にいつでも対応します。

アナログ・デバイセズは、データ保護に関する規制活動やトレンドについて報告するために、職種を越えたデータ保護およびプライバシー・チームの会議を四半期ごとに開催しています。



# 企業情報セキュリティ

サイバーセキュリティ・インシデント発生の可能性や影響を最小限に抑えるために、アナログ・デバイスは、当社のネットワーク、デバイス、データを外部および内部の脅威から保護するためのサイバーセキュリティ保護を展開しています。これらの保護措置は、国際的なセキュリティ規則に従って行われています。

アナログ・デバイスの企業情報セキュリティ・プログラムは、国際標準化機構（ISO）や米国国立標準技術研究所（NIST）によって発行されたものを含む業界標準に基づいて作られています。

## プログラム要素

アナログ・デバイスは、以下のNISTにおける6つの要素をすべて採用することで脅威に対処しています。

- 重要な資産と高リスクの脅威を特定
- 年中無休のオペレーション・センターでサイバーセキュリティ検出を実行
- セキュリティ・コントロールおよび改善を定常的に実施
- インシデント対応能力を確保
- サードパーティ・リスク・マネージメント・プログラムを実行し、パートナーのサイバーセキュリティ体制を評価
- 包括的なサイバーセキュリティ方針および手順の整備と維持
- サイバーセキュリティ・インシデント保険による補償の維持

アナログ・デバイスのサイバーセキュリティ・プログラムで特定されたリスクは、当社に影響を及ぼす可能性とその発生の可能性を判定するために分析されます。これらのリスクは定期的に監視され、その状況や重大性に変化がないことを確認しています。また、内部監査に加え、独立した情報システム専門家による定期的な外部審査を行い、当社のセキュリティ・プログラムの有効性を評価し、各種の管理策および基準の妥当性と適合性を確認しています。

## 外部入力

アナログ・デバイスは、脅威の評価とベスト・プラクティスのベンチマークを定期的に行っています。インテリジェンスの共有は、主要なグローバル・セキュリティ・プロバイダ、米国防衛情報共有・分析センター、および業界の同業他社との間で行われており、参加各社が自社のサイバーセキュリティ・プログラムを強化するのに役立っています。

## セキュリティ意識とトレーニング

教育は、当社におけるすべてのサイバーセキュリティ・プログラムの中でも重要なツールです。関係する全従業員を対象に定期的にトレーニング・セッションを提供し、サイバーセキュリティ上の懸念事項を特定して適切なアクションが取れるよう教育しています。このトレーニングには、フィッシング、マルウェア、ソーシャル・メディア、インシデント報告手順などのトピックが含まれます。アナログ・デバイスでは、全社のマネージド・システムやワークステーションにアンチウィルス・ソフトウェアをインストールし、定期的に更新することで、当社のシステムに影響する悪意あるコードを検出し、防御しています。

## 外部認証

サイバーセキュリティ成熟度モデル認証（CMMC）は、秘密の未分類情報を保護できるよう設計された、企業のサイバーセキュリティ実装のための統一標準です。これは米国国防総省（DoD）によって開発された認証で、DoDに納入する30万社の企業に適用される見込であり、早ければ2025年第1四半期からの適格が求められます。このフレームワークは、NIST 800-171で指定された110のコントロールをカバーしています。アナログ・デバイスはCMMC認証の取得を目指しており、連邦官報への最終規則の公示を待っている段階です。

当社のサイバーセキュリティおよび情報セキュリティのリスクと監督に関する追加情報については、2023年10月28日を期日とする会計年度の[年次報告書 \(Form 10-K\)](#) を参照してください。

アナログ・デバイスは、経営主導の機能横断的な運営委員会を通じてサイバーセキュリティのリスクを管理しています。委員長は最高情報セキュリティ責任者が務め、セキュリティ・ガバナンス、サイバー・リスクの調整とモニタリング、潜在的なサイバー・インシデントへの対応、ならびにリスク軽減に向けた主要イニシアブの責任を負っています。

アナログ・デバイスの取締役会には、サイバーセキュリティの専門知識を有する3名のメンバーが在籍しており、情報セキュリティ・プログラムを監督することで取締役会を支援しています。また、経営陣および内部監査部門は、当社のサイバーセキュリティ・プログラムの実施状況について、監査委員会に定期的に報告を行っています。最高情報責任者は、少なくとも1年に1回、サイバーセキュリティを含む情報セキュリティ関連事項およびリスクについて、取締役会全体に報告しています。また、監査委員会には四半期ごとに最新情報を報告します。

# 製品保護

アナログ・デバイスは、当社ソリューションの安全かつ適切な使用を支え、技術革新の加速に貢献するため、製品のセキュリティ、安全性、品質の向上に継続的な投資を行っています。

## 製品のセキュリティ

分散型コンピューティングは、私たちの世界に更なる繋がりをもたらし、広範な情報、プロセス、インフラストラクチャへのアクセスを向上させています。人々、プロセス、資産を安全に保ち、意図したとおりに機能させるためには、適切なレベルの保護を講じることが、これまで以上に重要になっています。脅威は、拡大するデジタル・フットプリントによってもたらされるアクセス、能力、独創性の広がりと共に増え続けています。増大する脅威に対処するため、各種の規制や標準が策定されつつあります。アナログ・デバイスははじめとする多くの企業は、不正使用を積極的に防止し、新たに出現する脅威に迅速に対応しながら、イノベーションを加速させ続けるため、最前線で取り組んでいます。

アナログ・デバイスはセキュリティにおいて顧客第一のアプローチを採用しており、適切なソリューションを提供するために、使用方法やニーズ、組込み時の課題を理解することに努めています。市場と用途が異なれば、必要とされるセキュリティ要件の範囲も異なります。個人の健康情報、国家のセキュリティ問題、あるいはデータ・プライバシーに関する要件など、いかなる課題に取り組む場合であっても、アナログ・デバイスは、使用環境と該当する規制環境の両方を考慮して設計を行います。これにより、幅広いエコシステム間での相互運用性を実現し、新しいソリューションの迅速な展開を可能にしています。

## ガバナンスと予防

アナログ・デバイスの安全な開発プロセスは、標準や規制、脅威モデリングから適切な要件を導き出すことで、新製品がエンド・マーケットに適合し、関連する脅威からも保護されるよう設計されています。また、基準が確実に順守されるように、エンジニア向けに製品セキュリティに関するリソースや教育プログラムを体系的かつアクセスしやすい形で用意しています。

当社ではプロセス制御を重要視しており、幅広い製品ライン全体で高いセキュリティ標準が確実に満たされるようにしています。アナログ・デバイスは、製品のライフサイクル全体にわたって製品を安全に管理できるよう、開発環境を超えたツールを提供しています。これらの機能は、製品の用途に適している場合、顧客アプリケーションでも利用することができます。更に、既知の脆弱性について製品ファミリーを厳重に監視すると共に、ホワイト・ハッカーや顧客を含む関係者が新たな脆弱性を安全に報告できるよう、インシデント対応ポータル機能を拡張しています。アナログ・デバイスのインシデント対応チームは、必要に応じて既知の脆弱性の積極的な修復または緩和に努めています。アナログ・デバイスでは、通知と更新によってこの種の問題に迅速に対応することを目指しています。

アナログ・デバイスは、拡大する脅威環境や規制要件を監視し、将来の新たな脅威から保護する製品とソリューションを積極的に設計します。また、新たな攻撃を検知し、悪用された脆弱性から回復、セキュリティ・プロトコルを迅速に更新するシステムの機能を強化するための技術の確立にも取り組んでいます。



# 公共政策

## アプローチ

アナログ・デバイセズの国際政府渉外および貿易チームは、政策決定者、政府関係者、その他のステークホルダーと連携して、アナログ・デバイセズの利益を代表します。この公共政策への取り組みにより、アナログ・デバイセズは、当社のビジネス、当社を展開する地域社会、そして半導体産業全体に直接影響する問題について、米国および世界各国の政府に対してソート・リーダーシップを発揮しています。

アナログ・デバイセズは、連邦および州レベルで、政府関係者、業界団体、その他の団体と連携し、主要な政府機関に対して、国際貿易、税制、サプライ・チェーンのレジリエンス、先進技術、イノベーション、知的財産権、労働力開発、気候変動、責任ある材料調達といった課題について、啓発や政策提言を行っています。州レベルでの取り組みは、当社の事業拠点が最も集中している州であるマサチューセッツ州、オレゴン州、ワシントン州、カリフォルニア州、ノースカロライナ州に重点が置かれています。

アナログ・デバイセズは米国および世界中の業界団体に加盟しており、半導体業界や当社が事業分野とするその他の業界の利益を代表しています。これらの組織は、主要な公共政策課題についての業界の合意や主張を形成するために機能します。当社が業界団体に加盟していることは、その団体が各問題について取るすべての立場に賛同していることを意味するものではありません。

アナログ・デバイセズは現在、当社CEOが役員を務める米国半導体工業会（SIA）をはじめ、国際半導体製造装置材料協会（SEMI）やその他の業界団体にも加盟し、積極的に活動しています。また、アナログ・デバイセズが大きな影響力を持つ州では、地域の競争力強化、教育機会と雇用機会の向上を目的とした、州・地方レベルの政策に特化した各種団体の取り組みを支援しています。更に、アイルランド、インド、フィリピン、中国など、米国以外の複数の業界団体にも加盟しています。

アナログ・デバイセズの支援活動は、合法的な活動だけを通じて行われています。法の定めに従い、アナログ・デバイセズは、その支援活動に関して、連邦政府、州政府、および地方政府にロビー活動の開示記録を提出しています。中間的な組織を介した直接的な献金を含め、いかなる政党や候補者にも政治献金はありません。この方針は、こうした献金が法的に許される場合でも、世界中に適用されます。当社の公共政策および政府関係業務は、アナログ・デバイセズの国際政府渉外および貿易チームによって包括的に管理されています。取締役会の指名およびコーポレート・ガバナンス委員会は、こうした方針や実務を監督しており、政府関連の方針・活動・取り組みに関して、アナログ・デバイセズの経営陣から四半期ごとに報告を受けています。

## 2024年の支援活動

2024年も、アナログ・デバイセズは引き続き米国内において、連邦議会議員、ホワイトハウス行政機関、各州の知事、州議会議員、および当社が大きな影響力を持つ州の地方自治体長などとの関係強化と関与の拡大に取り組みました。

連邦レベルでは、米国史上最大級の科学技術投資の1つであるCHIPSおよび科学法の実施に向けた政策議論に引き続き関与しています。アナログ・デバイセズは、CHIPSや科学法をはじめ、当社の成長とサプライ・チェーンのレジリエンスを強化する州のプログラムなど、連邦および州の資金提供機会を通じて、引き続き奨励措置の活用を追求しました。

アナログ・デバイセズは、地域エコシステムの強化に向けて、米国立半導体技術センターやマイクロエレクトロニクス・コムズなど、CHIPSに関わる複数の先進的研究開発プログラムにおいて、リーダー的な役割を果たしてきました。また、労働者の育成やブレークスルー技術の商業化に向けた取り組みを支援するために、産業界および大学が主導する複数のコンソーシアムに参加しています。

世界的なスケールで見た場合、公共政策に関してアナログ・デバイセズが焦点を置く領域には、サプライ・チェーンの強靭さ、労働力の開発、条件の公平化、私たちを取り巻く世界を改善する技術の振興が含まれています。アナログ・デバイセズの取り組みには、国境を越えたプロジェクトの推進支援や教育活動、そしてこれらの項目の課題に関する政府関係者との連携も含まれています。



# 付録

- II TCFD
- III SASB
- V GRIインデックス
- XXII GAAP指標と非GAAP指標の対比



写真：Scott B., 米国 US

# TCFD

項目	推奨開示内容	対応または箇所
<p><b>ガバナンス</b> 気候関連リスクと機会に関わる組織のガバナンスを開示する。</p>	<p>a. 気候関連リスクと機会に対する取締役会の監督状況を開示する。</p> <p>b. 気候関連リスクと機会の評価および管理における経営幹部の役割を記載する。</p>	<p>2024年ESGレポート：アナログ・デバイスについて－ガバナンスと監督へのアプローチ－取締役会による監督、<a href="#">17ページ</a>；リスクの監視、<a href="#">18ページ</a>；ADI Horizon－ESGへのアプローチ－ESGの取締役会による監督、<a href="#">22ページ</a>；ESGの管理職による監督、<a href="#">22ページ</a></p> <p>2025年株主総会招集通知：コーポレート・ガバナンス－取締役会による監督－ESGの監視、<a href="#">30ページ</a></p>
<p><b>戦略</b> 気候関連リスクの実際の影響と考え得る影響、組織の事業に関する機会、戦略、および財務計画が重要と見なされる場合は、これらの情報を開示する。</p>	<p>a. 組織が短期、中期、および長期的に特定した気候関連リスクおよび機会を開示する。</p> <p>b. 気候関連リスクおよび機会が、組織の業務、戦略、財務計画に与える影響を開示する。</p> <p>c. 2°Cシナリオ、またはそれ未満のシナリオを含む様々な気候関連シナリオを考慮して、組織の戦略のレジリエンスを説明する。</p>	<p>2024年ESGレポート：ADI Horizon－ESGへのアプローチ－目標へ向けたアナログ・デバイスの歩みの進展、<a href="#">24ページ</a></p> <p>2024年フォーム10-K：項目1A.リスク要因－リスク要因の概要、<a href="#">22～23ページ</a></p> <p>2024年ESGレポート：ADI Horizon－ESGへのアプローチ－目標へ向けたアナログ・デバイスの歩みの進展、<a href="#">24ページ</a></p>
<p><b>リスク・マネジメント</b> 組織が気候関連リスクを特定、評価、管理する方法を開示する。</p>	<p>a. 気候関連リスクの特定と評価を行う組織的なプロセスを開示する。</p> <p>b. 気候関連リスクを管理する組織的なプロセスを開示する。</p> <p>c. 気候関連リスクの特定、評価、管理の各プロセスがどのように組織の全体的なリスク・マネジメントに統合されているかを開示する。</p>	<p>2024年ESGレポート：アナログ・デバイスについて－ガバナンスと監督へのアプローチ－取締役会による監督、<a href="#">17ページ</a>；リスクの監視、<a href="#">18ページ</a>；ADI Horizon－ESGへのアプローチ－目標へ向けたアナログ・デバイスの歩みの進展、<a href="#">24ページ</a></p> <p>2025年株主総会招集通知：コーポレート・ガバナンス－取締役会による監督－ESGの監視、<a href="#">30ページ</a></p>
<p><b>基準と目標</b> 関係する気候関連のリスクと機会を評価し管理するために使用する基準と目標が重要と見なされる場合は、それらの情報を開示する。</p>	<p>a. 組織が、その戦略およびリスク・マネジメント・プロセスに沿って気候関連リスクおよび機会を評価するために使用する指標を開示する。</p> <p>b. スコープ1、スコープ2、および必要に応じてスコープ3の温室効果ガス（GHG）排出量と、関連するリスクを開示する。</p> <p>c. 気候関連リスクと機会、および目標に対する実績を管理するために組織が使用する目標を説明する。</p>	<p>2024年ESGレポート：ADI Horizon－2024年のESGの成果－排出量、<a href="#">31ページ</a>；環境サステナビリティ－環境目標の2024年における進捗状況、<a href="#">36ページ</a>；気候とエネルギー、<a href="#">37～39ページ</a></p>

# SASB

## 産業界：半導体

### 表1. 持続可能性開示項目および会計指標

項目	会計指標	カテゴリ	測定単位	コード	対応	場所
温室効果ガス 排出量	(1) 世界全体の合計スコープ1排出量総計および (2) ペルフルオロ化合物による排出量	定量的	トン (t) CO <sub>2</sub> -e	TC-SC-110a.1	(1) 99,000トンのCO <sub>2</sub> e (2) 非開示	2024年ESGレポート：ADI Horizon – 2024年のESGの成果 – 排出量、 <a href="#">31ページ</a>
	スコープ1排出量を管理するための長期的戦略と短期的戦略または計画、排出量削減目標、およびそれらの目標の達成度分析に関する検討	考察および 分析	該当なし	TC-SC-110a.2		2024年ESGレポート：環境サステナビリティ – 気候とエネルギー、 <a href="#">37~39ページ</a>
製造時の エネルギー・ マネージメント	(1) 合計エネルギー消費量、 (2) 商用電力の比率と (3) 再生可能電力の比率	定量的	ギガジュール (GJ)、パーセ ンテージ (%)	TC-SC-130a.1	非開示	
水資源の管理	(1) 合計取水量、 (2) 合計水消費量、ベースライン水スト レスが「高い」か「極めて高い」地域に おけるそれぞれの比率	定量的	1,000立方メー トル (m <sup>3</sup> )、 パーセンテージ (%)	TC-SC-140a.1	(1) 340万立方メートル (2) 80万立方メートル	2024年ESGレポート：ADI Horizon – 2024年のESGの成果 – 水、 <a href="#">31~32ペー ジ</a>
廃棄物の管理	製造によって生じた有害廃棄物の量、 リサイクル率	定量的	トン (t)、 パーセンテージ (%)	TC-SC-150a.1	有害廃棄物：1,293トン リサイクル有害廃棄物： 284トン リサイクル率：22%	2024年ESGレポート：ADI Horizon – 2024年のESGの成果 – 廃棄物、 <a href="#">32ページ</a>
従業員の安全 衛生	従業員に影響を及ぼす健康上の有害要 因の評価、監視、削減に向けた取り組 みの説明	考察および 分析	該当なし	TC-SC-320a.1		2024年ESGレポート：ガバナンス – 安全 衛生、 <a href="#">76~77ページ</a> <a href="#">企業の社会的責任規範</a>
	従業員の安全衛生に関わる違反行為に 関係する訴訟によって生じた金銭的損 失額の合計	定量的	表示通貨	TC-SC-320a.2	非開示	

項目	会計指標	カテゴリ	測定単位	コード	対応	場所
グローバルかつ高度なスキルを有する人材の採用と管理	以下の従業員の比率 (1) 外国籍従業員 (2) 海外に配属された従業員	定量的	パーセンテージ (%)	TC-SC-330a.1	(1) 非開示 (2) 従業員の12%がEMEA諸国在住、60%がAPAC諸国在住。	2024年ESGレポート：アナログ・デバイスについて－アナログ・デバイスのソリューション－2023末時点の従業員データの概要、 <a href="#">14ページ</a>
製品のライフサイクルマネージメント	IEC 62474の申告物質を含む製品の比率（収益による比率）	定量的	パーセンテージ (%)	TC-SC-440a.1	非開示	
	以下の場合のシステム・レベルのプロセッサ・エネルギー効率： (1) サーバー (2) デスクトップ (3) ラップトップ	定量的	製品カテゴリ	TC-SC-410a.2	非開示	
材料調達	重要材料の使用に関連するリスク・マネージメントについての説明	考察と分析	該当なし	TC-SC-440a.1		2024年ESGレポート：ガバナンス — 倫理的サプライ・チェーン — サプライヤの環境への影響 — 責任ある鉱物調達、 <a href="#">75ページ</a>  <a href="#">紛争鉱物に関する方針</a> <a href="#">責任ある鉱物調達に関する方針</a>
知的財産の保護と公正な競争	反競争的行為に関する規則に関連する訴訟により生じた金銭的損失の合計額	定量的	通貨	TC-SC-520a.1	非開示	

## 表2. 活動指標

活動指標	カテゴリ	測定単位	コード	対応	場所
総生産高	定量的		TC-SC-000.A	非開示	
保有施設での生産比率 (%)	定量的	パーセンテージ (%)	TC-SC-000.B	非開示	2024年フォーム10-K：項目1.事業 - 生産資源、 <a href="#">7ページ</a>

# GRIインデックス

<b>使用宣言</b>	アナログ・デバイセズは、GRIスタンダードを基準として、2023年10月31日から2024年11月2日までの期間に関する情報をGRIコンテンツ・インデックスに基づいて報告しています。
<b>使用したGRI 1</b>	GRI 1：2021年基礎事項

開示番号	開示題目	場所
<b>GRI 2：2021年一般開示事項</b>		
2-1	組織の詳細	<p><b>組織名：</b>Analog Devices, Inc.</p> <p><b>所有権および法的形態：</b>1965年にマサチューセッツ州で設立</p> <p>2024年フォーム10-K：項目1.事業－会社の概要、戦略、ミッション、<a href="#">2ページ</a></p> <p><b>本社所在地：</b>米国マサチューセッツ州ウィルミントン</p> <p><b>事業所所在地：</b>2024年ESGレポート：アナログ・デバイセズについて－アナログ・デバイセズのソリューション－世界各地のアナログ・デバイセズ事業所、<a href="#">13ページ</a></p> <p>2024年フォーム10-K：項目2.資産、<a href="#">25ページ</a></p> <p>2025年株主総会招集通知：株主総会概要－アナログ・デバイセズの主要データ、<a href="#">1ページ</a></p>
2-2	組織の持続可能性報告に含まれている事業体	<p>すべての事業体が含まれており、異なる取り扱いをされているものではありません。</p> <p>2024年フォーム10-K：項目8.財務諸表および補足データ、<a href="#">43～81ページ</a></p>
2-3	報告の期間、頻度、および連絡先	<p><b>報告期間：</b>2024年11月02日までの12ヵ月間</p> <p><b>報告周期：</b>1年</p> <p><b>レポートの発行日：</b>2025年6月</p> <p><b>報告に関する疑問の問合せ先：</b>Mary Farris、ESG責任者</p> <p>2024年ESGレポート：この報告について、<a href="#">2ページ</a></p>
2-4	情報の修正再表示	該当なし

開示番号	開示題目	場所
2-5	外部保証	2024年ESGレポート：環境サステナビリティ－気候とエネルギー、 <a href="#">37～39ページ</a> <a href="#">参考資料</a>
2-6	各種活動、バリュー・チェーン、その他の事業関係	2024会計年度の事業活動、バリュー・チェーン、その他の事業関係に大きな変更はありませんでした。 2024年ESGレポート：アナログ・デバイスについて－企業紹介、 <a href="#">8～9ページ</a> ；アナログ・デバイスのソリューション、 <a href="#">10～15ページ</a> 2024年フォーム10-K：項目1.事業、 <a href="#">2～9ページ</a> 2025年株主総会招集通知：株主総会概要－アナログ・デバイスの主要データ、 <a href="#">1ページ</a>
2-7	従業員	2024年ESGレポート：アナログ・デバイス－アナログ・デバイスのソリューション、 <a href="#">10～15ページ</a> ；ADI Horizon－2024年のESGの成果－従業員データ、 <a href="#">30ページ</a> 2024年フォーム10-K：項目1.事業－人的資本とその育成、 <a href="#">9ページ</a> 2025年株主総会招集通知：株主総会概要－アナログ・デバイスの主要データ、 <a href="#">1ページ</a>
2-8	非正規従業員	アナログ・デバイスは非正規従業員をデータとして報告していませんが、OSHAのガイダンスに従い傷病者のデータには含めています。
2-9	ガバナンスの構造と構成	2024年ESGレポート：アナログ・デバイスについて－ガバナンスと監督へのアプローチ、 <a href="#">16～18ページ</a> ；ADI Horizon－ESGへのアプローチ－ESGの取締役会による監督、 <a href="#">22ページ</a> 2025年株主総会招集通知：株主総会概要－アナログ・デバイスの取締役会とコーポレート・ガバナンス、 <a href="#">4～5ページ</a> ；取締役会－提案1－取締役の選任－取締役の選任－取締役の基準、資格、経験、 <a href="#">9～12ページ</a> ；取締役の略歴、 <a href="#">12～18ページ</a> ；独立性の判定、 <a href="#">18ページ</a> ；コーポレート・ガバナンス－取締役会と委員会の構成－取締役会のリーダーシップ構造、 <a href="#">22ページ</a> ；取締役会の各種委員会、 <a href="#">23～26ページ</a> ；取締役会による監督－ESGの監視、 <a href="#">30ページ</a> <a href="#">コーポレート・ガバナンスのガイドライン</a> ：D. 取締役会の委員会、 <a href="#">10ページ</a>
2-10	最高ガバナンス組織の指名と選任	2025年株主総会招集通知：取締役会－取締役の基準、資格、経験、 <a href="#">9～12ページ</a> ；独立性の判定、 <a href="#">18ページ</a> ；取締役候補者、 <a href="#">19ページ</a> ；追加情報－株主総会招集通知に記載される株主の取締役指名、 <a href="#">92～93ページ</a> <a href="#">コーポレート・ガバナンスのガイドライン</a> B：B. 取締役資格基準－7.新取締役候補者の選任、 <a href="#">6～7ページ</a> ；新取締役としての指名の基準
2-11	最高ガバナンス組織の長	2025年株主総会招集通知：コーポレート・ガバナンス－取締役会と委員会の構成－取締役会のリーダーシップ構造、 <a href="#">22ページ</a>

開示番号	開示題目	場所
2-12	影響管理の監督における最高ガバナンス組織の役割	<p>2024年ESGレポート：アナログ・デバイスについて — ガバナンスと監督へのアプローチ — 取締役会による監督、<a href="#">17ページ</a>； リスクの監視、<a href="#">18ページ</a>； ADI Horizon — ESGへのアプローチ、<a href="#">21～24ページ</a></p> <p>2025年株主総会招集通知：コーポレート・ガバナンス — 取締役会による監督 — ESGの監視、<a href="#">30ページ</a>  <a href="#">コーポレート・ガバナンスのガイドライン</a>：A. 取締役の責任 — 1.会社経営の監督、<a href="#">1～2ページ</a></p> <p><a href="#">情報セキュリティに関する方針</a>  <a href="#">政治献金と政治支出</a></p>
2-13	影響管理に関わる責任の委任	<p>2024年ESGレポート：アナログ・デバイスについて — ガバナンスと監督へのアプローチ — 取締役会における監督、<a href="#">17ページ</a>； リスクの監視、<a href="#">18ページ</a>； ADI Horizon — ESGへのアプローチ、<a href="#">21～24ページ</a>； 環境サステナビリティ — 水 — アプローチ、<a href="#">40ページ</a>； ガバナンス — 人権 — 責任あるAI使用 — AIのガバナンスと監視、<a href="#">70ページ</a>； 企業倫理 — 内部告発プログラム、報告、調査、是正措置、<a href="#">72ページ</a>； 取引に関わるコンプライアンスと納税 — 納税、<a href="#">79ページ</a>； プライバシーと情報のセキュリティ — 企業情報セキュリティ、<a href="#">81ページ</a>； 公共政策 — アプローチ、<a href="#">83ページ</a></p> <p>2024年フォーム10-K：項目1.ビジネス — 環境、社会、ガバナンス、<a href="#">8～9ページ</a>； 項目1C.サイバーセキュリティ — ガバナンス、<a href="#">24ページ</a></p> <p>2025年株主総会招集通知：コーポレート・ガバナンス — 取締役会と委員会の構造 — 取締役会の各種委員会、<a href="#">23～26ページ</a>； 取締役会による監督 — サイバーセキュリティの監視とリスク・マネジメント、<a href="#">29ページ</a>； 人工知能に関わる問題の監視、<a href="#">30ページ</a>； ESGの監視、<a href="#">30ページ</a>； 人材管理の監督、<a href="#">30ページ</a></p> <p><a href="#">コーポレート・ガバナンスのガイドライン</a>：A. 取締役の責任 — 1.会社経営の監督、<a href="#">1～2ページ</a></p> <p><a href="#">世界の環境と安全衛生に関する方針</a>  <a href="#">情報セキュリティに関する方針</a>  <a href="#">政治献金と政治支出</a></p>

開示番号	開示題目	場所
2-14	持続可能性報告における最高ガバナンス組織の役割	<p>アナログ・デバイセズのESGレポートは、内部監査組織によってレビューと確認が行われますが、これには上級管理職チームおよび取締役会の監査委員会への監査報告書の提出が含まれます。</p> <p>アナログ・デバイセズの上級管理職チームと取締役会の指名およびコーポレート・ガバナンス委員会も、正式なレビュー・プロセスに参画しています。</p> <p>アナログ・デバイセズのESGプログラムとその進捗は、四半期ごとに上級管理職チームと取締役会の指名およびコーポレート・ガバナンス委員会委員会に報告されます。</p>
2-15	利害の対立	<p>2025年株主総会招集通知：取締役会 — 提案1 — 取締役の選任 — 独立性の判定、<a href="#">18ページ</a>; コーポレート・ガバナンス — ガバナンスに関するその他の問題 — 特定の関係および関連取引 — 関係者取引に関する方針と手順、<a href="#">35ページ</a></p>
2-16	重要な懸念の伝達	<p>2025年株主総会招集通知：コーポレート・ガバナンス — 取締役会による監督 — 株主その他の利害関係者からの連絡、<a href="#">34ページ</a></p> <p><a href="#">コーポレート・ガバナンスのガイドライン</a>：J. 取締役会と株主、機関投資家、報道機関、顧客等の関係、<a href="#">13ページ</a></p> <p><a href="#">ビジネス行動と倫理に関する規範</a></p>
2-17	最高ガバナンス組織における知識の集約	<p>2025年株主総会招集通知：コーポレート・ガバナンス — 取締役会と委員会の構成 — 取締役の教育およびオリエンテーション・プログラム、<a href="#">26ページ</a>; コーポレート・ガバナンス — 取締役会による監督 — ESGの監視、<a href="#">30ページ</a></p> <p><a href="#">コーポレート・ガバナンスのガイドライン</a>：G. 取締役のオリエンテーションおよび継続的な教育、<a href="#">11～12ページ</a></p>
2-18	最高ガバナンス組織の実績の評価	<p>2025年株主総会招集通知：コーポレート・ガバナンス — 取締役会と委員会の構成 — 取締役会の評価、<a href="#">27ページ</a></p> <p><a href="#">コーポレート・ガバナンスのガイドライン</a>：I. 取締役会の年次実績評価、<a href="#">12ページ</a></p> <p><b>評価の頻度：1年</b></p>
2-19	給与方針	<p>2025年株主総会招集通知：取締役報酬、<a href="#">36～38ページ</a>; 役員報酬 — 報酬の検討と分析、<a href="#">43～62ページ</a>; 報酬の表 — 非適格繰延報酬制度、<a href="#">70～71ページ</a>; 解雇時および経営権変更時の給付金 — 解雇、死亡、または身体障害時に給付が考慮される手当、<a href="#">73～74ページ</a></p> <p><a href="#">コーポレート・ガバナンスのガイドライン</a>：F. 取締役報酬、<a href="#">11ページ</a></p>

開示番号	開示題目	場所
2-20	給与決定のプロセス	<p>2025年株主総会招集通知：コーポレート・ガバナンス－取締役会と委員会の構成－取締役会の各種委員会、<a href="#">23～26ページ</a>; 株主エンゲージメント、<a href="#">31～33ページ</a>; 取締役報酬、<a href="#">36～38ページ</a>; 役員報酬－報酬の検討と分析－事業計画の概要－2024会計年度の実績と留意すべき変化－役員報酬に関する株主エンゲージメント、<a href="#">44ページ</a>; 報酬決定のプロセス、<a href="#">48～49ページ</a>; 役員報酬の構成要素－契約解除、離職防止、および経営権変更に関わる給付－報酬および人材委員会顧問、<a href="#">59～60ページ</a></p> <p><a href="#">コーポレート・ガバナンスのガイドライン</a>：F. 取締役報酬、<a href="#">11ページ</a></p>
2-21	報酬比率	2025年株主総会招集通知：役員報酬－CEOの報酬比率、 <a href="#">75ページ</a>
2-22	持続可能な開発戦略に関するステートメント	2024年ESGレポート：CEO兼取締役会会長からのメッセージ、 <a href="#">5～6ページ</a>

開示番号	開示題目	場所
2-23	方針への取り組み	<p>2024年ESGレポート：環境サステナビリティ－気候とエネルギー－アプローチ、<a href="#">37ページ</a>; 水、<a href="#">40～42ページ</a>; ガバナンス－人権、<a href="#">69～70ページ</a>; 企業倫理、<a href="#">71～72ページ</a>; 倫理的サプライ・チェーン、<a href="#">73～75ページ</a></p> <p>2025年株主総会招集通知：コーポレート・ガバナンス－取締役会の方針と活動、<a href="#">20～21ページ</a>; コーポレート・ガバナンス－取締役会による監督－人工知能に関わる問題の監視、<a href="#">30ページ</a></p> <p><a href="#">汚職防止方針</a></p> <p><a href="#">ハラスメント防止方針</a></p> <p><a href="#">反奴隷および人身売買に関する声明書</a></p> <p><a href="#">ビジネス行動と倫理に関する規範</a></p> <p><a href="#">企業の社会的責任規範</a></p> <p><a href="#">紛争鉱物に関する方針</a></p> <p><a href="#">利害対立の概要</a></p> <p><a href="#">EEOおよびアファーマティブ・アクション</a></p> <p><a href="#">エネルギー方針</a></p> <p><a href="#">世界の環境と安全衛生に関する方針</a></p> <p><a href="#">ギフトおよび接待に関するガイドライン</a></p> <p><a href="#">グローバル・タックス方針</a></p> <p><a href="#">情報セキュリティの概要</a></p> <p><a href="#">プライバシーポリシー</a></p> <p><a href="#">アナログ・デバイセズの責任あるAI使用</a></p> <p><a href="#">責任ある鉱物調達に関する方針</a></p> <p><a href="#">サプライヤ倫理コミットメント</a></p> <p><a href="#">水に関する方針</a></p> <p><a href="#">職場の安全の概要</a></p>

開示番号	開示題目	場所
2-24	方針の実務への組み込み	<p>2024年ESGレポート：環境サステナビリティ－気候とエネルギー－アプローチ、<a href="#">37ページ</a>；水－アプローチ、<a href="#">40ページ</a>；ガバナンス－企業倫理、<a href="#">71～72ページ</a>；倫理的サプライ・チェーン－サプライ・チェーン方針と注意義務履行、<a href="#">73～74ページ</a>；公共政策－アプローチ、<a href="#">83ページ</a></p> <p><a href="#">汚職防止方針</a></p> <p><a href="#">ハラスメント防止方針</a></p> <p><a href="#">反奴隷および人身売買に関する声明書</a></p> <p><a href="#">ビジネス行動と倫理に関する規範</a></p> <p><a href="#">企業の社会的責任規範</a></p> <p><a href="#">紛争鉱物に関する方針</a></p> <p><a href="#">EEOおよびアファーマティブ・アクション方針</a></p> <p><a href="#">エネルギー方針</a></p> <p><a href="#">ギフトおよび接待に関するガイドライン</a></p> <p><a href="#">世界の環境と安全衛生に関する方針</a></p> <p><a href="#">グローバル・タックス方針</a></p> <p><a href="#">プライバシーポリシー</a></p> <p><a href="#">責任ある鉱物調達に関する方針</a></p> <p><a href="#">サプライヤ倫理コミットメント</a></p> <p><a href="#">水に関する方針</a></p> <p><a href="#">職場の安全の概要と方針</a></p>

開示番号	開示題目	場所
2-25	悪影響を是正するためのプロセス	<p>アナログ・デバイセズは、人権に関わる事案を含む不正行為の疑いに関する報告について一貫性と客観性を備えた検証プロセスを適用することに努めています。すべての報告は、公正かつ迅速に確認されます。内部調査が必要と判断された場合には、速やかに調査を実施し、必要に応じて是正措置を講じます。調査は、適用される法令に従い、機密性の維持に最大限配慮して実施されます。</p> <p>アナログ・デバイセズの従業員には、社内外の調査への全面的な協力が求められます。アナログ・デバイセズの最高コンプライアンスおよびリスク管理責任者、ならびに倫理およびコンプライアンス・チームが、世界のすべての調査を監督し、各案件が公正かつ一貫した形で、また透明性をもって取り扱われるようにしています。</p> <p>アナログ・デバイセズは、内部調査と是正措置に関する手法や手順の継続的な改善に取り組んでいます。</p> <p>アナログ・デバイセズは、世界中の調査に関するデータと基準を追跡し、傾向をモニタして、業界基準に基づいて自社のデータを評価しています。また、取締役会は必要に応じ、調査プロセス、コンプライアンスの傾向および事案を監督します。</p>
2-26	助言を求め懸念を提起するためのメカニズム	<p>アナログ・デバイセズでは、すべての従業員が尊重され、その価値が認められる環境を作ることに努めています。アナログ・デバイセズはオープンドア・ポリシーを採用しており、従業員が懸念事項を話しやすくなるようにしています。そのため、従業員やその他の人々が懸念事項を報告できるように、匿名での報告を含めて複数のチャンネルを用意しています。これらの報告は、アナログ・デバイセズの倫理ホットラインを通じて誰でも行うことができます（<a href="http://www.analog.ethicspoint.com">www.analog.ethicspoint.com</a>からオンラインで報告するか、電話または携帯からアクセス）。アナログ・デバイセズの倫理ホットラインは独立したサードパーティによって運営されており、該当する法令に抵触しない限り、匿名で報告できます。この他、組織のビジネス行動について助言を求めたり、懸念を提起しようとする従業員が報告を行ったりするためのチャンネルとしては、直属の上司、人事部、アナログ・デバイセズの最高法務責任者（CLO）、アナログ・デバイセズの倫理およびコンプライアンス・チーム（Ethics Email Boxを使用）などがあります。</p> <p>2024年ESGレポート：ガバナンス－企業倫理、<a href="#">71～72ページ</a></p> <p><a href="#">汚職防止方針</a></p> <p><a href="#">ハラスメント防止方針</a></p> <p><a href="#">反奴隷および人身売買に関する声明書</a></p> <p><a href="#">ビジネス行動と倫理に関する規範</a></p> <p><a href="#">企業の社会的責任規範</a></p> <p><a href="#">紛争鉱物に関する方針</a></p> <p><a href="#">エネルギー方針</a></p> <p><a href="#">プライバシーポリシー</a></p> <p><a href="#">責任ある鉱物調達に関する方針</a></p> <p><a href="#">水に関する方針</a></p> <p><a href="#">プライバシーポリシー</a></p>

開示番号	開示題目	場所
2-27	法規の遵守	<p>報告期間中、罰金や金銭以外の罰が課されるような重要な事例が発生したことは確認されていません。</p> <p>2024年ESGレポート：ADI Horizon — 2024年のESGの成果 — 安全衛生、<a href="#">30ページ</a></p> <p>2024年フォーム10-K：項目8.財務諸表および補足データ — 連結財務諸表に関する注意 — 10.業務への従事と不測の事態、<a href="#">69ページ</a></p>
2-28	各種団体への参加	<p>2024年ESGレポート：アナログ・デバイスについて — アナログ・デバイスのソリューション — 加盟している組織、<a href="#">15ページ</a></p> <p><a href="#">国連グローバル・コンパクト (UNGC)</a></p> <p><a href="#">責任ある企業同盟 (RBA)</a></p> <p><a href="#">責任ある鉱物イニシアチブ (RMI)</a></p> <p><a href="#">責任ある労働イニシアチブ (RLI)</a></p> <p><a href="#">米国半導体工業会 (SIA)</a></p> <p><a href="#">SEMI</a></p> <p><a href="#">Semiconductor Research Corporation</a></p> <p><a href="#">Open RAN Policy Coalition</a></p> <p><a href="#">BSR</a></p> <p><a href="#">技術貿易規制アライアンス (TTRA)</a></p> <p><a href="#">グローバル・セミコンダクター・アライアンス (GSA)</a></p>
2-29	ステークホルダーへの対応のためのアプローチ	2024年ESGレポート：ADI Horizon — ステークホルダーへの対応、 <a href="#">25~26ページ</a>
2-30	包括的労働協約	法律に完全に準拠して、アナログ・デバイスは、労働組合への自由な関与、組合の結成、組合への加入を行う権利や、集合的な代理や交渉を求める権利を尊重します。
<b>GRI 3：2021年の重要なトピック</b>		
3-1	重要なトピックを決定するプロセス	<p>2024年、アナログ・デバイスは外部専門家と協力して、CSRD-D158に準拠したダブル・マテリアリティ・アセスメントを実施しました。このアセスメントでは、投資家、顧客、格付機関、保険会社を含むステークホルダーからの意見を反映しています。また、業界団体 (SEMIやSIA) からの知見やベスト・プラクティスも取り入れています。アナログ・デバイスは、シナリオベースの情報と実際の情報を使用して、考え得る影響を評価します。アナログ・デバイスのセントラルESGチームは、EHS、運用、購買、財務、人事、法務、コンプライアンスなど社内各部門の専門家と定期的に会合を持っています。こうした内外両方から寄せられる意見や情報は、当社の重要なトピックの特定に活用されています。</p> <p>2024年ESGレポート：ADI Horizon — ステークホルダーへの対応、<a href="#">25~26ページ</a>; ESGの優先事項と目標 — ESGに関わる優先事項の設定、<a href="#">27ページ</a></p>

開示番号	開示題目	場所
3-2	重要項目のリスト	<a href="#">2024年ESGレポート：ADI Horizon — ESGの優先事項と目標 — ESGに関わる優先事項の設定、27ページ</a>
3-3	重要なトピックの管理	<p> <a href="#">2024年ESGレポート：ADI Horizon、19～33ページ</a>; <a href="#">環境サステナビリティ、34～45ページ</a>; <a href="#">人々とコミュニティ、46～64ページ</a>; <a href="#">ガバナンス、65～83ページ</a> </p> <p> <a href="#">2024年フォーム10-K：項目1.事業 — 環境、社会、ガバナンス、8～9ページ</a>; <a href="#">人的資本とその育成、9ページ</a>; <a href="#">項目1C.サイバーセキュリティ、23～24ページ</a> </p> <p> <a href="#">2025年株主総会招集通知：コーポレート・ガバナンス — 取締役会による監督 — サイバーセキュリティの監視とリスク・マネージメント、29ページ</a> </p> <p> <a href="#">2022年の米国の福利厚生プログラム</a>  <a href="#">2024年のアイルランドの賃金格差分析</a>  <a href="#">反奴隷および人身売買に関する声明書</a>  <a href="#">企業の社会的責任規範</a>  <a href="#">紛争鉱物報告（2024年のフォームSD）</a>  <a href="#">EEOおよびアファーマティブ・アクション方針</a>  <a href="#">エネルギー方針</a>  <a href="#">情報セキュリティに関する方針</a>  <a href="#">水に関する方針</a> </p> <p>重要トピックの方針と取り組みについては2-23を参照してください。</p>

開示番号	開示題目	場所
<b>GRI 201：2016年の経済的成果</b>		
201-1	創出および分配された直接経済価値	<p><b>収益</b>：2024年ESGレポート：アナログ・デバイスについて－企業紹介－アナログ・デバイスのエンド・マーケット－2024会計年度の主な実績、<a href="#">9ページ</a></p> <p>2024年フォーム10-K：項目7.財務状態および経営成績に関する経営陣の検討および分析－経営成績、29～32ページ；項目8.財務諸表および補足データ、<a href="#">43～81ページ</a></p> <p>2025年株主総会招集通知：株主総会概要－アナログ・デバイスの主要データ、1ページ；役員報酬－報酬の検討と分析－事業計画の概要－2024会計年度の実績と留意すべき変化－2024会計年度の主な実績、<a href="#">43ページ</a></p> <p><b>営業経費</b>：2024年フォーム10-K：項目8.財務諸表および補足データ、<a href="#">43～81ページ</a></p> <p><b>従業員の賃金および福利厚生</b>：2024年ESGレポート：人々とコミュニティ－人材－報酬と福利厚生、<a href="#">55～56ページ</a></p> <p><b>資本提供者への支払い</b>：2024年フォーム10-K：項目8.財務諸表および補足データ、<a href="#">43～81ページ</a></p> <p><b>国別の政府への支払い</b>：2024年フォーム10-K：項目8.財務諸表および補足データ、<a href="#">43～81ページ</a></p> <p><b>コミュニティ投資</b>：2024年ESGレポート：ADI Horizon－2024年のESGの成果－慈善活動、<a href="#">33ページ</a></p>
201-2	気候変動による経済的影響およびその他のリスクと機会	2024年フォーム10-K：項目1A.リスク要因－リスク要因の概要、 <a href="#">22～23ページ</a>
201-3	定められた給付計画上の義務とその他の年金制度	2024年フォーム10-K：項目8.財務諸表および補足データ－連結財務諸表に関する注意－11.年金制度、 <a href="#">70～74ページ</a>
201-4	政府から受けた財政支援	2024年フォーム10-K：項目8.財務諸表および補足データ－連結財務諸表に関する注意－2.重要会計方針の概要－g.助成金会計、 <a href="#">52ページ</a>
<b>GRI 203：2016年の経済への間接的影響</b>		
203-1	実施されたインフラ投資とサービス	2024 ESGレポート：人々とコミュニティ－アナログ・デバイス基金、 <a href="#">57～64ページ</a>
203-2	経済への著しい間接的影響	2024年ESGレポート：ADI Horizon－2024年のESGの成果－慈善活動、 <a href="#">33ページ</a> ；人々とコミュニティ－アナログ・デバイスの目標、文化、優先度－受容性によるイノベーションの推進－コミュニティ・アウトリーチとパートナーシップ、 <a href="#">51ページ</a> ；アナログ・デバイス基金、 <a href="#">57～64ページ</a> <a href="#">2024年のアイルランドの賃金格差分析</a>

開示番号	開示題目	場所
<b>GRI 207：2019年の税</b>		
207-1	税への対処	2024年ESGレポート：ガバナンス－取引に関わるコンプライアンスと納税－納税、 <a href="#">79ページ</a> <a href="#">グローバル・タックス方針</a>
207-2	税ガバナンス、管理、リスク・マネージメント	2024年ESGレポート：ガバナンス－企業倫理－内部告発プログラム、報告、調査、是正措置、 <a href="#">72ページ</a> ；取引に関わるコンプライアンスと納税－納税、 <a href="#">79ページ</a> <a href="#">グローバル・タックス方針</a>
207-3	税に関連する懸念事項のステークホルダー・エンゲージメントおよび管理	2024年ESGレポート：ガバナンス－取引に関わるコンプライアンスと納税－納税、 <a href="#">79ページ</a> <a href="#">グローバル・タックス方針</a>
207-4	国ごとの報告	2024年フォーム10-K： <a href="#">別紙21</a>
<b>GRI 302：2016年のエネルギー</b>		
302-1	組織内でのエネルギー消費	燃料と電気の両方に関する活動データを定期的に収集し、検討を行いました。燃料データは、CDPが提供する換算係数を用いてエネルギー単位で表示されています。 2024年ESGレポート：ADI Horizon－2024年のESGの成果－エネルギー、 <a href="#">31ページ</a>
302-2	組織外でのエネルギー消費	非開示
302-3	エネルギー原単位	エネルギー原単位比（エネルギー/収益）= 0.00006 MWH/\$ エネルギー原単位のデータは、会社の収益に対する合計エネルギー消費量で表されます。この計算に含まれるエネルギー源は、アナログ・デバイセズの製造施設によって消費された燃料と電気です。
302-4	エネルギー消費量の削減	非開示
302-5	製品とサービスに必要なエネルギーの削減	非開示
<b>GRI 303：2018年の水と排水</b>		
303-1	共有資源としての水との関わり	アナログ・デバイセズは、水量測定、水収支計算、および水道料金分析を使用し、内部的な手順を使って包括的な水データを収集しています。また、各製造施設のベースライン水ストレスは、世界資源研究所（WRI）が作成して一般に公開している、アクエダクト・リスク・アセスメント・ツール（Aqueduct Risk Assessment Tool）を使用することによって決定しています。 2024年ESGレポート：ADI Horizon－2024年のESGの成果－水、 <a href="#">31～32ページ</a> ；環境サステナビリティ－水、 <a href="#">40～42ページ</a>

開示番号	開示題目	場所
303-2	排水関連の影響の管理	2024年ESGレポート：環境サステナビリティ－水－アプローチ、 <a href="#">40ページ</a>
303-3	取水量	2024年ESGレポート：ADI Horizon－2024年のESGの成果－水、 <a href="#">31～32ページ</a> ；環境サステナビリティ－水－目標達成状況－取水量とリサイクル率、 <a href="#">41ページ</a>  2024年のESGの成果に報告された数値（単位：100万ガロン） （その他のパラメータは未計算）
303-4	排水量	2024年ESGレポート：ADI Horizon－2024年のESGの成果－水、 <a href="#">31～32ページ</a>  2024年のESGの成果に報告された数値（単位：100万ガロン） （その他のパラメータは未計算）
303-5	水消費	2024年ESGレポート：ADI Horizon－2024年のESGの成果－水、 <a href="#">31～32ページ</a>  2024年のESGの成果に報告された数値（単位：100万ガロン）
<b>GRI 305：2016年の排出量</b>		
305-1	直接（スコープ1）GHG排出量	アナログ・デバイスズは、自社の管理下にあるスコープ1およびスコープ2排出量を監視しています。これらの排出量の測定と算出は、気候変動に関する政府間パネル（IPCC）第5次評価報告の地球温暖化係数（GWP）を利用し、世界資源研究所（WRI）と持続可能な発展のための世界経済人会議（WBCSD）の温室効果ガス・プロトコル企業排出量算定および報告基準に従って行われます。プロセス排出量は、エレクトロニクス産業に適用される国別温室効果ガス・インベントリのIPCCティア2aガイドラインに基づいて計算しています。米国内のサイトについては、米国環境保護庁（EPA）が策定した温室効果ガス・インベントリのための気候リーダーシップ排出係数に基づく場所別排出係数を使用し、米国外のサイトについては国際エネルギー機関（IEA）の排出係数を使用しています。可能な場合は、サプライヤから直接提供される市場ベースの排出係数を使用します。それが不可能な場合は、利用可能な残余ミックス係数を用いて場所別排出係数を調整するか、市場ベースの係数としてそのまま使用します。アナログ・デバイスズのGHGインベントリに含まれるガスは、CO <sub>2</sub> 、CH <sub>4</sub> 、N <sub>2</sub> O、HFCs、PFCs、SF <sub>6</sub> 、NF <sub>3</sub> です。  2024年ESGレポート：ADI Horizon－2024年のESGの成果－排出量、 <a href="#">31ページ</a> <a href="#">GHGの排出方法</a>
305-2	エネルギー間接（スコープ2）GHG排出量	2024年ESGレポート：ADI Horizon－2024年のESGの成果－排出量、 <a href="#">31ページ</a>  <a href="#">GHGの排出方法</a>

開示番号	開示題目	場所
305-3	その他の間接（スコープ3）GHG排出量	2024年ESGレポート：ADI Horizon – 2024年のESGの成果 – 排出量、 <a href="#">31ページ</a> ; 環境サステナビリティ – 気候とエネルギー、 <a href="#">37~39ページ</a>  <a href="#">GHGの排出方法</a>
305-4	GHG排出原単位	2024年ESGレポート：環境サステナビリティ – 気候とエネルギー、目標達成状況、 <a href="#">38ページ</a>
305-5	GHG排出量の削減	2024年ESGレポート：環境サステナビリティ – 気候とエネルギー、 <a href="#">37~39ページ</a>
305-6	オゾン層破壊物質（ODS）の排出量	現在、アナログ・デバイセズの製造施設はクラス1 ODSを使用していません。
305-7	窒素酸化物（NOx）、硫黄酸化物（SOx）、およびその他の主要な大気汚染物質	非開示
<b>GRI 306：2020年の廃棄物</b>		
306-1	廃棄物の発生と廃棄物関連の重大な影響	2024年ESGレポート：環境サステナビリティ – 廃棄物 – アプローチ、 <a href="#">43ページ</a>
306-2	廃棄物関連の重大な影響の管理	発生する廃棄物の量と適用される管理方法は、内部リソースまたは廃棄物管理サービス・プロバイダによる質量または体積の直接計測値、もしくはは数量を使って決定されます。廃棄物原単位のデータは、会社の収益に対する合計廃棄物量で表されます。  2024年ESGレポート：環境サステナビリティ – 廃棄物、 <a href="#">43~44ページ</a>
306-3	発生廃棄物量	2024年ESGレポート：ADI Horizon – 2024年のESGの成果 – 廃棄物、 <a href="#">32ページ</a> ; 環境サステナビリティ – 廃棄物 – 目標達成状況 – 発生廃棄物と移行率、 <a href="#">44ページ</a>
306-4	処分を回避した廃棄物	2024年ESGレポート：ADI Horizon – 2024年のESGの成果 – 廃棄物、 <a href="#">32ページ</a> ; 環境サステナビリティ – 廃棄物 – 目標達成状況 – 発生廃棄物と移行率、 <a href="#">44ページ</a>
306-5	処分した廃棄物	2024年ESGレポート：ADI Horizon – 2024年のESGの成果 – 廃棄物、 <a href="#">32ページ</a>
<b>GRI 401：2016年の雇用</b>		
401-1	新規雇用者と従業員退職率	2024年ESGレポート：アナログ・デバイスについて – アナログ・デバイセズのソリューション – 2024会計年度末時点の従業員データの概要 – 世界の性別新規雇用者数、 <a href="#">14ページ</a>  2024年フォーム10-K：項目1.事業 – 人的資本とその育成、 <a href="#">9ページ</a>

開示番号	開示題目	場所
401-2	フルタイム従業員には支払われるが、臨時従業員やパートタイム従業員には支払われない給付金	<p>2024年ESGレポート：人々とコミュニティ－人材－報酬と福利厚生、<a href="#">55～56ページ</a></p> <p>2024年フォーム10-K：項目1.事業－人的資本とその育成、<a href="#">9ページ</a>；項目8.財務諸表および補足データ－連結財務諸表に関する注意－3.株式ベース報酬と株主資本－従業員株式購入プラン、<a href="#">63ページ</a>；11.年金制度、<a href="#">70～74ページ</a></p> <p>2025年株主総会招集通知：役員報酬－報酬の検討と分析－役員報酬の構成要素－その他の報酬－退職金その他の従業員給付、<a href="#">58ページ</a></p>
401-3	育児休暇	非開示
<b>GRI 403：2018年の労働安全衛生</b>		
403-1	労働安全衛生マネージメント・システム	<p>このシステムは法的な要求によるものではなく、自主的に定めたものです。</p> <p>2024年ESGレポート：ガバナンス－安全衛生－ISO 14001および45001の企業認証、<a href="#">76ページ</a></p> <p>2024年フォーム10-K：項目1.事業－環境、社会、ガバナンス、<a href="#">8～9ページ</a></p>
403-2	ハザード特定、リスク評価、インシデント調査	<p>2024年ESGレポート：ガバナンス－安全衛生、<a href="#">76～77ページ</a></p> <p><a href="#">企業の社会的責任規範</a></p>
403-3	産業保健サービス	<p>2024年ESGレポート：ガバナンス－安全衛生、<a href="#">76～77ページ</a></p> <p><a href="#">企業の社会的責任規範</a></p>
403-4	労働安全衛生における労働者の参加、協議、コミュニケーション	<p>2024年ESGレポート：ガバナンス－安全衛生－アプローチ、<a href="#">76ページ</a></p>
403-5	労働安全衛生における労働者のトレーニング	<p>2024年ESGレポート：ガバナンス－安全衛生－安全衛生トレーニング、<a href="#">77ページ</a></p> <p><a href="#">企業の社会的責任規範</a></p>
403-6	労働者の健康の増進	<p>2024年ESGレポート：人々とコミュニティ－人材－報酬と福利厚生－米国内における追加的な福利厚生プログラムのハイライト、<a href="#">56ページ</a></p> <p>2024年フォーム10-K：項目1.事業－人的資本とその育成、<a href="#">9ページ</a></p> <p><a href="#">2022年の米国内福利厚生プログラム</a></p>
403-7	事業の関係性によって直接結びつけられる労働安全衛生への影響の防止および軽減	<p>2024年ESGレポート：ガバナンス－安全衛生、<a href="#">76～77ページ</a></p>

開示番号	開示題目	場所
403-8	労働安全衛生マネジメント・システムの適用対象となる労働者	アナログ・デバイセズは、2023年、カリフォルニア州サンノゼにあるすべての製造施設およびオフィスについて、ISO 14001環境マネジメント・システム（EMS）およびISO 45001労働安全衛生マネジメント・システム（OHSMS）の認証を取得しました。2024年、引き続きISO 14001要求事項への準拠を維持すると共に、ISO45001についても、すべての審査に完全に適合し、認証を継続しました。
403-9	労働災害	2024年ESGレポート：ADI Horizon – 2024年のESGの成果 – 安全衛生、 <a href="#">30ページ</a> ; ガバナンス – 安全衛生 – 2024年実績、 <a href="#">77ページ</a> 。報告の業務上の負傷件数には、従業員のみが含まれています。
403-10	業務上疾病	2024年ESGレポート：ADI Horizon – 2024年のESGの成果 – 安全衛生、 <a href="#">30ページ</a> ; ガバナンス – 安全衛生 – 2024年実績、 <a href="#">77ページ</a>
<b>GRI 404：2016年のトレーニングと教育</b>		
404-1	従業員1人あたりの年間平均トレーニング時間	2024年ESGレポート：人々とコミュニティ – 人材 – 人材開発 – あらゆる人のための学習、 <a href="#">53ページ</a>
404-2	従業員のスキル向上のためのプログラムと移行支援プログラム	2024年ESGレポート：人々とコミュニティ – アナログ・デバイセズの目標、文化、優先度 – アナログ・デバイセズが優先する項目 49；人材 – 人材開発、 <a href="#">53～54ページ</a>
404-3	定期的に能力およびキャリア開発レビューを受けている従業員のパーセンテージ	全従業員を対象に、達成度、行動、業績に関する正式な評価が年に1回実施されています。
<b>GRI 405：2016年の多様性および公平な機会</b>		
405-1	ガバナンス組織と従業員の多様性	2024年ESGレポート：アナログ・デバイセズについて – アナログ・デバイセズのソリューション – 2024会計年度末時点の従業員データの概要、 <a href="#">14ページ</a> ; ガバナンスと監督へのアプローチ、 <a href="#">16～18ページ</a> ; ADI Horizon – 2024年のESGの成果 – 多様性、平等、受容性、 <a href="#">30ページ</a> ; 人々とコミュニティ – アナログ・デバイセズの目標、文化、優先度 – 受容性によるイノベーションの推進、 <a href="#">50～51ページ</a> 2024年フォーム10-K：項目1.事業 – 人的資本とその育成、 <a href="#">9ページ</a> 2025年株主総会招集通知：株主総会概要 – アナログ・デバイセズの取締役会とコーポレート・ガバナンス – 取締役会の概要、 <a href="#">5ページ</a> ; 取締役会 – 提案1 – 取締役の選任 – 取締役の基準、資格、経歴、 <a href="#">9～12ページ</a> <a href="#">2024年のアイルランドの賃金格差分析</a>
405-2	基本給および給与の男女比	2024年ESGレポート：人々とコミュニティ – 人材 – 報酬と福利厚生 – 平等な賃金、 <a href="#">55ページ</a>

開示番号	開示題目	場所
<b>GRI 408：2016年の児童労働</b>		
408-1	児童労働事案に関する顕著なリスクにさらされている企業やサプライヤ	<p>アナログ・デバイス社は、自社およびサプライヤの事業に強制労働、非自主的労働、または児童労働を使用することを禁じています。アナログ・デバイスはRBAのメンバーであり、その行動規範を採用しています。</p> <p>2024年ESGレポート：ガバナンス－人権、<a href="#">69～70ページ</a>; 倫理的サプライ・チェーン、<a href="#">73～75ページ</a>  <a href="#">反奴隷および人身売買に関する声明書</a></p>
<b>GRI 409：2016年の強制労働</b>		
409-1	強制労働事案に関する顕著なリスクにさらされている企業やサプライヤ	<p>アナログ・デバイス社は、自社およびサプライヤの事業に強制労働、非自主的労働、または児童労働を使用することを禁じています。アナログ・デバイスはRBAのメンバーであり、その行動規範を採用しています。</p> <p>2024年ESGレポート：ガバナンス－人権、<a href="#">69～70ページ</a>; 倫理的サプライ・チェーン、<a href="#">73～75ページ</a>  <a href="#">反奴隷および人身売買に関する声明書</a></p>
<b>GRI 415：2016年の公共政策</b>		
415-1	政治献金	<p>中間的な組織を介した直接的な献金を含め、いかなる政党や候補者にも政治献金は行っていません。この方針は、こうした献金が法的に許される場合でも、世界中に適用されます。</p> <p>2024年ESGレポート：ガバナンス－公共政策－アプローチ、<a href="#">83ページ</a>  <a href="#">政治献金と政治支出</a></p>
<b>GRI 418：2016年の顧客プライバシー</b>		
418-1	顧客のプライバシー侵害と顧客データのプライバシー喪失に関して確認された苦情	<p>当社では過去3年間、重大なセキュリティ侵害は発生していません。そのため、そのような侵害による純費用は生じていません。更に、過去3年間、情報セキュリティ侵害の和解の下で処罰を受けたり、何らかの金額を支払ったりしたことはありません。</p> <p>2024年フォーム10-K：項目1C. サイバーセキュリティ、<a href="#">23～24ページ</a></p>

# GAAP指標と非GAAP指標の対比

株主総会招集通知に含まれている非GAAP財務指標は、一般に認められた会計原則（GAAP）に従っておらず、また、それに代わるものでもない財務指標であって、他社が使用する非GAAP指標とは異なります。更に、これらの非GAAP指標は、包括的な会計の規則や原則のセットに基づくものではありません。

これらの非GAAP指標は、経営陣が継続的な事業活動によるアナログ・デバイスの業績を過去の報告期間と比較して評価したり、将来の報告期間における予算立案やリソース割り当てを行ったりする目的で、内部的に使用します。これらの非GAAP指標は、様々な報告期間におけるアナログ・デバイスの中核事業とその傾向を、経営陣が継続的に評価する際の助けにもなります。経営陣は、アナログ・デバイスの収益結果や将来の見通しについてアナリストや投資者と対話する際にも、主要業績指標としてこれらの非GAAP指標を使用しています。また、これらの非GAAP指標は、経営陣がアナログ・デバイスを運営する際に用いる営業成績を投資家に提供するものであり、投資家やアナリストがアナログ・デバイスの中核事業を評価する上で有用であると考えています。また、非GAAP流動性指標のフリー・キャッシュ・フローは、資本支出後の現金の量に関する情報を提供してくれ、更に借入債務の返済、投資、買収資金への充当、その他の一定用途にも使用できるので、経営陣は、これが内部的にも投資者に対しても便利だとも考えています。

アナログ・デバイスは、非GAAP指標には重大な制約があると考えています。それは、これらの指標が、GAAPに従って定義されたアナログ・デバイスの営業成績に関するすべての量を反映する訳ではなく、GAAPに従って表したアナログ・デバイスの決算とは別個の存在だと考えたり、それらの決算に代わる存在だと考えたりするべきではないという点です。アナログ・デバイスが非GAAP指標を使用することと、そのために特定の項目を含めたり除外したりするための方法は、必ずしも将来において期待される営業成績を示したり、アナログ・デバイスが将来の報告期間において実際にはこれらの項目を記録しないということを示したりするものではありません。投資家は、会社の非GAAP財務指標を、対応するGAAP指標と照らし合わせて考える必要があります。

**フリー・キャッシュ・フロー**：営業活動によって得られたネット・キャッシュであり、GAAPに従って定義され、資産、工場、および設備への繰入れ（正味額）を差し引いたものです。フリー・キャッシュ・フロー収益パーセンテージは、フリー・キャッシュ・フローを収益で割った値です。

**買収関連経費**：現在および過去の報告期間における買収の結果として生じた経費には、主に、負債、在庫、資産、工場および設備、ならびに買収関連無形資産償却の評価替えに関連する経費が含まれており、更に、無形資産には購入した技術や顧客関係などの取得無形資産が含まれていません。経費には、マキシムの買収に関する株式ベース報酬の置き換えに関連する評価替えも含まれます。これらのコストは特定の取引に係るものであって、現在のアナログ・デバイスの財務能力を反映するものではないので、非GAAP指標から除外されています。

**特別経費（正味）**：マキシム買収に伴う統合化の一部として生じた正味経費で、施設の閉鎖、製造施設の統合、契約解除、その他の加速型株式ベース報酬に関わる経費、およびその他のコスト削減努力または組織再編イニシアチブに関連するものです。これらの項目の結果として現在進行中の経費削減努力は別として、これらの経費と将来的にアナログ・デバイスの事業展開の間に直接的な相互関係はないので、非GAAP指標からは除外しました。

**税関連項目**：上記の非GAAP項目に関する所得税効果、連邦法人所得税減税請求に関連する特定の税項目による所得税控除、および過去の会計期間に関連するその他の所得税控除。これらの税関連項目の所得税効果はアナログ・デバイスの現在の営業成績に関わる税費用とは関係がないので、非GAAP指標から除外しました。

## GAAP指標と非GAAP指標の対比の結果（未監査）

（千ドル単位、ただし株単価を除く）

	2024年11月2日で終わる12ヵ月
<b>粗利益</b>	<b>\$5,381,343</b>
粗利益率	57.1%
買収関連経費	1,022,488
<b>調整後の粗利益</b>	<b>\$6,403,831</b>
調整後の粗利益率	67.9%
<b>営業利益</b>	<b>\$2,032,798</b>
営業利益	21.6%
買収関連経費	1,782,813
特別経費（正味）	37,258
<b>調整後営業利益</b>	<b>\$3,852,869</b>
調整後営業利益率	40.9%
<b>希薄化EPS</b>	<b>\$3.28</b>
買収関連経費	3.56
特別経費（正味）	0.07
税関連項目	(0.53)
<b>調整後希薄化EPS</b>	<b>\$6.38</b>

# 営業活動によって得られたネット・キャッシュとフリー・キャッシュ・フローの対比（未監査）

（千ドル単位）

	2024年11月2日で終わる12ヵ月
収益	\$9,427,157
<b>営業活動によって得られたネット・キャッシュ</b>	<b>\$3,852,529</b>
収益に対する%	41%
資本支出	\$(730,463)
<b>フリー・キャッシュ・フロー<sup>1</sup></b>	<b>\$3,122,066</b>
収益に対する%	33%

<sup>1</sup>フリー・キャッシュ・フローは、営業活動によって得られたネット・キャッシュから資本支出を差し引いた額として定義されます。



AHEAD OF WHAT'S POSSIBLE™

One Analog Way  
Wilmington, MA 01887  
1-800-262-5643  
[www.analog.com](http://www.analog.com)